

2015

平成27年度入学者選抜

# 広島大学 学生募集要項

一般入試（前期日程・後期日程）

- 総合科学部
- 文学部
- 教育学部
- 法学部
- 経済学部
- 理学部
- 医学部
- 歯学部
- 薬学部
- 工学部
- 生物生産学部

インターネットで出願できます。



広島大学

# 目 次

広島大学のアドミッション・ポリシー	1
入学者選抜等関係日程	2
一般入試学生募集要項	3
1 募集人員	3
2 選抜方式	4
3 出願資格	4
4 出願手続	5
(1) 出願方法	5
(2) 出願期間	5
(3) 出願手続、郵送が必要な出願書類及び提出方法等	6
(4) 出願に関する注意事項	14
(5) 学部別の出願上の注意事項	14
5 受験票の発送	14
6 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談	15
7 試験場案内	15
8 個別学力検査等日程	18
【前期日程】	18
【後期日程】	19
9 入学者選抜方法等	20
10 実施教科・科目等に関する注意事項	20
平成 27 年度入学者選抜における旧教育課程履修者に対する経過措置 (大学入試センター試験関係) 一般入試 (前期日程・後期日程)	24
11 入学者選抜の実施教科・科目及び配点等	25
<総合科学部>	26
<文学部>	27
<教育学部>	28
<法学部>	35
<経済学部>	36
<理学部>	37
<医学部>	39
<歯学部>	42
<薬学部>	44
<工学部>	45
<生物生産学部>	48
12 受験者の宿泊について	49
13 受験者の注意事項	49
14 入学試験に関する問合せ	50
15 入試情報サービス	50
16 合格者発表	51
17 入学手続	51
18 欠員補充	54
学部・学科等のアドミッション・ポリシー	55
学生生活のサポート	76
経済支援について	76
広島大学フェニックス奨学制度	77
学生宿舎及び住居について	78
入学志願票等記入上の注意	79
【前期日程用】新教育課程履修者のみ該当 大学入試センター試験受験教科・科目チェック確認表	84
【後期日程用】新教育課程履修者のみ該当 大学入試センター試験受験教科・科目チェック確認表	86
【前期日程用】旧教育課程履修者のみ該当 大学入試センター試験受験教科・科目チェック確認表	88
【後期日程用】旧教育課程履修者のみ該当 大学入試センター試験受験教科・科目チェック確認表	90
平成 27 年度広島大学学生募集に伴う試験成績(個人情報)の開示について	92
実技検査種目届 【前期日程】 / 【後期日程】	93
実技実績調査書 【後期日程】	94
広島大学位置図	裏表紙裏面
学部等照会先	裏表紙

各学部・学科等の定める受験を要する教科・科目について、十分に確認してください。

## 広島大学のアドミッション・ポリシー

広島大学は、挑戦する意欲を持ち、行動を起こす人材を育てます。  
また、自ら考え、判断し、表現することができる創造性豊かな人材の育成に努めます。

広島大学は、次のような人の入学を期待しています。

- 豊かな心を持ち平和に貢献したいと願う人
- 知の探求・創造・発展に意欲のある人
- 専門知識・技術を身につけ、社会の発展に貢献したい人
- 多様な文化・価値観を学び、地域・国際社会で活躍したい人

各学部・学科等では、それぞれの教育目的・目標に沿ったアドミッション・ポリシーを明示して、個性を尊重する多様な選抜を実施しています。

広島大学は、このようにして受け入れた人たちと共に「世界トップレベルの特色ある総合研究大学」を目指します。

学部・学科等のアドミッション・ポリシーは、55 ページから掲載しています。

## 入 学 者 選 抜 等 関 係 日 程

	前期日程	後期日程
大学入試センター試験 試験日	平成 27 年 1 月 17 日(土)・18 日(日)	
一般入試 出願期間	1 月 26 日(月)から 2 月 4 日(水)午後 5 時まで(必着)	
第 1 段階選抜実施の 有無(医学部医学科 【前期日程】のみ)	2 月 6 日(金)までに広島大学ホームページに掲載	
受験票発送予定日	2 月 9 日(月) ※ 2 月 16 日(月)までに到着しない場合は、2 月 17 日(火)以降に、出願した学部 の入試担当(裏表紙参照:注1)へ連絡してください。	
学生宿舎入居願提出 期間(希望者のみ)	1 月 19 日(月)から 2 月 6 日(金)まで(必着) 78 ページ参照	
試験日	<p style="text-align: center;">2 月 25 日(水)・26 日(木)</p> <p>※ 26 日(木)まで試験を実施する募集単位は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育学部第四類(生涯活動教育系)音楽文化系コース(受験者数によって 25 日(水)で試験が終了する場合があります)</li> <li>○医学部医学科</li> <li>○医学部保健学科作業療法学専攻</li> <li>○歯学部歯学科</li> <li>○歯学部口腔健康科学科口腔保健学専攻</li> <li>○歯学部口腔健康科学科口腔工学専攻</li> </ul>	<p style="text-align: center;">3 月 12 日(木)・13 日(金)</p> <p>※ 13 日(金)まで試験を実施する募集単位は、歯学部歯学科のみです。</p>
合格者発表	3 月 6 日(金) 12 時 (予定)	3 月 20 日(金) 12 時 (予定)
入学手続書類送付日	<p style="text-align: center;">3 月 6 日(金)</p> <p>※ 3 月 9 日(月)午前中までに到着しない場合は、合格した学部の入試担当(裏表紙参照:注2)に連絡してください。</p>	<p style="text-align: center;">3 月 20 日(金)</p> <p>※ 3 月 23 日(月)午前中までに到着しない場合は、合格した学部の入試担当(裏表紙参照:注2)に連絡してください。</p>
入学手続期間	<p>3 月 6 日(金) から 3 月 13 日(金)午後 5 時まで(必着)</p> <p>※ やむを得ない事情により 3 月 13 日(金)午後 5 時までに郵送による入学手続ができない場合に限り、<u>3 月 13 日(金)午後 5 時までに合格した学部の入試担当(裏表紙参照:注2)に電話連絡の上</u>、3 月 14 日(土)又は 3 月 15 日(日)の午前 9 時から午後 5 時までに、持参による入学手続を認めることがあります(郵送不可)。この場合、3 月 13 日(金)午後 3 時までに入学料を銀行等で納入しておく必要があります。</p>	<p>3 月 20 日(金) から 3 月 26 日(木)午後 5 時まで(必着)</p> <p>※ やむを得ない事情により 3 月 26 日(木)午後 5 時までに郵送による入学手続ができない場合に限り、<u>3 月 26 日(木)午後 5 時までに合格した学部の入試担当(裏表紙参照:注2)に電話連絡の上</u>、3 月 27 日(金)の午前 9 時から午後 5 時までに、持参による入学手続を認めることができます(郵送不可)。この場合、3 月 26 日(木)午後 3 時までに入学料を銀行等で納入しておく必要があります。</p>

注 1 法学部及び経済学部の夜間主コースは、各学部の昼間コースが照会先になります。

注 2 法学部及び経済学部の夜間主コースは、各学部の夜間主コースが照会先になります。

# 一般入試学生募集要項

## 1 募集人員

学 部	学 科 類 (系) コ ー ス 専 攻	入学 定員	募 集 人 員								
			一般入試		A O 入 試			対象別 評価方式	フェニックス 方式	推 薦 入 試	
			前期日程	後期日程	I 型	II 型	III 型				
総合科学部	総合科学科	130	100	18	12			帰国生 若干名	若干名		
文学部	人文学科	140	95	20			25		若干名		
教育学部	第一類 (学校教育系)	初等教育教員養成コース	180	(112)	(28)		10				
		特別支援教育教員養成コース		(20)	(3)		7				
	第二類 (科学文化教育系)	自然系コース	88	55	14	(17)	(4)	6			
		数理系コース				(14)	(3)	5			
		技術・情報系コース				(10)	(3)	4		若干名	
		社会系コース				(14)	(4)	4			
	第三類 (言語文化教育系)	国語文化系コース	84	58	(15)	-	7			若干名	
英語文化系コース		(19)			-	8		若干名			
日本語教育系コース		(24)			-	11		若干名			
第四類 (生涯活動教育系)	健康スポーツ系コース	88	51	14	(16)	(6)	10		若干名		
	人間生活系コース				(16)	(3)	3		若干名		
	音楽文化系コース				(14)	(3)	5		若干名		
	造形芸術系コース				(5)	(2)	5		若干名		
第五類 (人間形成基礎系)	教育学系コース	55	36	(20)	(5)	5					
	心理学系コース			(16)	(4)	5					
計		495	332	68	54	41					
法学部	法学科	昼間コース	140	110	30						
		夜間主コース	40	10	5		5		社会人 20	若干名	
経済学部	経済学科	昼間コース	150	110	25		15 ←	A選抜 13, B選抜 2			
		夜間主コース	60	27	8		15		社会人 10	若干名	
理学部	数学科	47	26	14	7						
	物理科学科	66	36	20	10						
	化学科	59	39	10	10 ←		化学クラブ利用含む				
	生物科学科	34	27	-	7 ←		一般型 5, 科学オリンピック型 2				
	地球惑星システム学科	24	15	4	5 ←		日本地学オリンピック利用含む				
	計	230	143	48	39						
医学部	医学科	120	75	20		5				20	
	保健学科	看護学専攻	60	52	-		8		広島県コース 18, 岡山県コース 2		
		理学療法専攻	30	27	-		3		一般型 5, 専門型 3		
		作業療法専攻	30	26	-		4				
		小計	120	105	-		15				
計	240	180	20		20				20		
歯学部	歯学科	53	33	15		5					
	口腔健康科学科	口腔保健学専攻	20	15	-		5				
		口腔工学専攻	20	12	5		3				
		小計	40	27	5		8				
計	93	60	20		13						
薬学部	薬学科	38	33	-		5					
	薬科学科	22	15	-		7					
	計	60	48	-		12					
工学部	第一類 (機械システム工学系)	105	92	8		5					
	第二類 (電気・電子・システム・情報系)	135	112	13		10					
	第三類 (化学・バイオ・プロセス系)	115	92	8	15						
	第四類 (建設・環境系)	135	120	10	5						
	計	490	416	39	20	15		A型(専門型) 2, B型(研究者養成型) 4, C型(一般型) 9			
生物生産学部	生物生産学科	90	65	10		15			若干名		
総 計		2,358	1,696	311	125	151	25	30		20	

※教育学部の一般入試募集人員は、各類ごとに定めており、表中の( )の数は、各コースの合格予定者数を示します。

※歯学部歯学科の一般入試(前期日程)の募集人員には、私費外国人留学生入試の募集人員若干名を含みます。

(注) A O 入試の総合評価方式、対象別評価方式の社会人入試及び医学部医学科推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は、一般入試(前期日程)の募集人員に含めます。

## 2 選抜方式

本学は、分離分割方式(「前期日程」及び「後期日程」)により、個別学力検査等を実施します。

国立大学志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、合計二つの大学・学部に出願することができます。

したがって、試験日程グループ間について「前期－前期」、「後期－後期」の併願はできません。

本学は、「前期日程」の学部・学科等と「後期日程」の学部・学科等とは、すべて併願ができます。

なお、「後期日程」を実施しない募集単位もありますので、注意してください。

## 3 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ各学部・学科等が定める平成 27 年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目(26～48 ページ参照)を受験した者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成 27 年 3 月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 27 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号)第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成 27 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者  
これらの者は、次のとおりです。
  - ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 27 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 27 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
  - ③ 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 27 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
  - ④ 文部科学大臣の指定した者
  - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)により高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和 26 年文部省令第 13 号)により大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び平成 27 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、平成 27 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
  - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 27 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

注 1 **大学入試センター試験については、志望する学部・学科等が指定した教科・科目を受験していなければ出願資格を満たしていないことになり、出願できませんので注意してください。**

注 2 上記「出願資格」(3)の⑥に基づき入学資格審査を希望する者は、以下の方法及び期間により、手続をしてください。

申請方法：

ア 本学ホームページ「入学資格の個別審査について」の内容により行ってください。

イ 上記アが困難な場合は、入学センター(電話：082-424-6174)に問合せってください。

申請期間：平成 27 年 1 月 19 日(月)から 1 月 21 日(水)午後 5 時まで(必着)

## 4 出願手続

### (1) 出願方法

以下の二つのいずれかの方法により、出願できます。

- ① **インターネット出願**（志願情報等をインターネットで入力し、調査書等の必要書類を郵送する方法）
- ② **志願票等記入による出願**（募集要項添付の所定の志願票等に必要事項を記入し、調査書等の必要書類と一緒に郵送する方法）

郵送が必要な出願書類を封筒に入れ、簡易書留郵便（インターネット出願の場合）又は書留郵便（志願票等記入による出願の場合）で郵送してください。

#### 〈 注 意 〉

インターネット出願において、出願登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。以下の出願期間内に到着するように、**簡易書留郵便**で必要な書類を郵送する必要があります。

### (2) 出願期間

- ① **インターネット出願（郵送又は持参のいずれか）** 5～11, 14 ページを参照

郵送が必要な出願書類等の提出期間	平成 27 年 1 月 26 日（月）～ 2 月 4 日（水） 午後 5 時まで（ <b>必着</b> ） これ以降に到着した場合は、2 月 3 日（火）までの 消印があるものに限り受け付けます。（注 1）
出願登録及び入学検定料支払期限	平成 27 年 1 月 26 日（月）～ 2 月 4 日（水） 午後 5 時まで（注 2）

- ② **志願票等記入による出願（郵送又は持参のいずれか）** 5, 12～14 ページを参照

出願書類の提出期間	平成 27 年 1 月 26 日（月）～ 2 月 4 日（水） 午後 5 時まで（ <b>必着</b> ） これ以降に到着した場合は、2 月 2 日（月）までの 消印があるものに限り受け付けます。（注 1）
-----------	--

### ③ 注意事項（① ②共通）

- （注 1） 本入試において、① **インターネット出願**と② **志願票等記入による出願**では消印有効の日付が異なります。注意してください。
- （注 2） 郵便事情を考慮し、出願書類の提出期間内に間に合うように手続してください。
- （注 3） 出願書類を持参する場合は、午前 9 時から午後 5 時まで受け付けます。  
ただし、土曜日及び日曜日は、受け付けません。
- （注 4） 出願書類の受領確認は電話でお答えすることができません。日本郵便ホームページ（<http://www.post.japanpost.jp/index.html>）の追跡サービスで確認してください。

#### 出 願 状 況 の 情 報 提 供

平成 27 年 1 月 27 日（火）から本学ホームページで全学部・学科等の出願状況をお知らせします。

広島大学ホームページアドレス <http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>

(3) 出願手続、郵送が必要な出願書類及び提出方法等

I-① 【インターネット出願】 出願登録及び入学検定料支払方法

必要な情報について、インターネットを利用して登録します。

インターネット出願のページは、広島大学入試情報のホームページからアクセスできます。

アクセスページ

広島大学入試情報

http://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/



インターネット出願の流れ図

1 広島大学入試情報にアクセス  
「世界標準 インターネット出願」バナーをクリック

2 インターネット出願トップページへ遷移  
スクロールして、ページ下にある学部入試（一般、AO、推薦、私費外国人留学生入試）の「出願登録する」ボタンを選択してクリック



PC・タブレット画面

スマートフォン画面

3 一般入試（前期日程・後期日程）の「出願登録する」ボタンをクリック

4 「利用規約・個人情報の取扱いに関する同意条項」に同意後、志望情報・個人情報等を入力



スマートフォンからも簡単に入力できます。

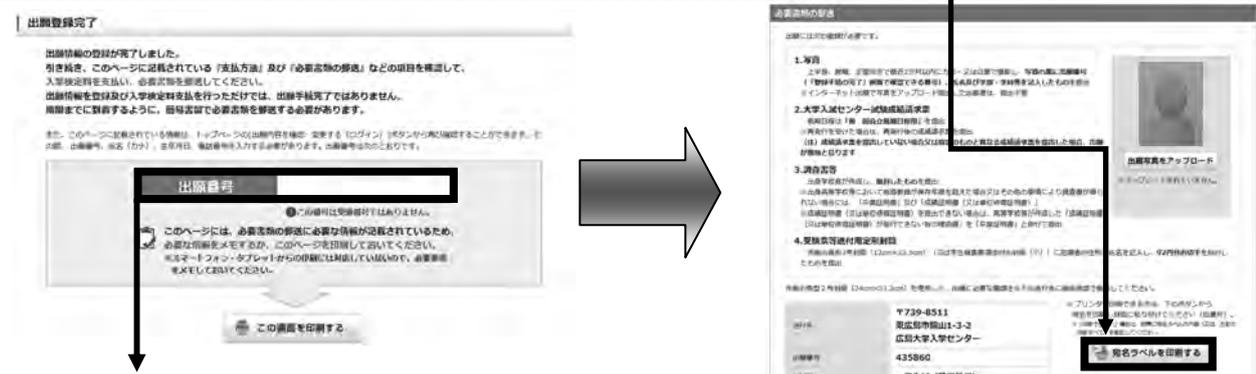
5 必要書類の確認を行う（写真のアップロードも可能）

6 決済情報入力（支払方法の選択）を行う



**7 出願登録を完了する（郵送が必要な書類を送付するための宛名ラベルを印刷できます）**

なお、スマートフォン（タブレット）からは画面及び宛名ラベルなどについて印刷機能は使用できません。必要事項はメモしておいてください。



**出願番号（6桁）**が表示されますのでメモしてください。

- インターネット出願の操作等に関する不明点等は、次の連絡先に問合せてください。

<b>インターネット出願ヘルプデスク</b>	<b>受付時間 午前 10 時から午後 6 時まで (年末年始 (12/30~1/4) を除く)</b>	<b>TEL 050-3786-5124</b>
------------------------	--	--------------------------

- 一般入試の出願全体に関する不明点等は、次の連絡先に問合せください。

<b>広島大学入学センター</b>	<b>受付時間 午前 9 時から午後 5 時まで (土日、祝日及び年末年始 (12/27~1/4) を除く)</b>	<b>TEL 082-424-2993</b>
-------------------	--	-------------------------

**入学検定料：17,000 円（法学部及び経済学部の夜間主コースは、10,000 円）**

個人情報入力後に、決済情報を入力する画面で以下の支払方法から一つを選択し、支払手続を行ってください。  
なお、手続後に郵送で領収書等を送付する必要はありません。

また、支払手数料は、志願者負担となります。手続の詳細は次ページを参照してください。

(注意) インターネット出願において、学生募集要項に封入されている入学検定料振込依頼書は使用できません。

- 1 クレジットカード (VISA・MasterCard・JCB・AMERICAN EXPRESS)
- 2 コンビニ (セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、サークルKサンクス、デイリーヤマザキ、スリーエフ、セイコーマート)
- 3 金融機関 ATM 【Pay-easy】
- 4 ネットバンキング

**■入学検定料に係る注意事項**

以下 (1)、(2) の場合を除き、出願受付後はいかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還しません。以下 (1)、(2) の場合に該当することが判明次第、返還手続の方法等を本人へ通知します。

- (1) 出願受付後に大学入試センター試験の受験を要する教科・科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合には、既納の入学検定料のうち 13,000 円 (法学部及び経済学部の夜間主コースについては 7,800 円) を返還します。
- (2) 医学部医学科の「前期日程」において第 1 段階選抜を実施した場合、不合格者には既納の入学検定料のうち 13,000 円を返還します。

また、次の (3)、(4) の場合は、既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還しますので、「返還請求の理由」、「氏名」、「郵便番号」、「住所」、「連絡先電話番号」を明記した書面 (様式は任意) にインターネット出願の場合は「出願番号」を明記したメモを同封、志願票等記入による出願の場合は「入学検定料振込証明書」を添付の上、平成 27 年 2 月 27 日 (金) までに下記送付先に郵送又は FAX してください。

その後、本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので、記入・捺印の上、下記送付先に郵送してください。

- (3) 出願書類を提出しなかった、又は受付されなかった場合
- (4) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

送付先：〒739-8511 東広島市鏡山一丁目 3 番 2 号 広島大学経理グループ TEL 082-424-7811 FAX 082-424-6962

## インターネット出願の入学検定料支払の詳細

「決済情報を入力」で選択・入力した支払方法により、支払手続を行ってください。詳しい支払方法については、出願登録完了後の「支払方法」ページにより確認してください。

一度支払われた入学検定料は返還しません。ただし、本学生募集要項前ページの入学検定料欄「■入学検定料に係る注意事項」に該当する場合は、その記載内容に従ってください。

**入学検定料の他に、別途必要な支払手数料は志願者の負担となります。**

**日本国外からは、クレジットカード決済のみ利用できます。**

### ○ クレジットカード 日本国内/国外で利用可能

**出願登録完了と同時に決済が行われます。**

右のロゴマークがあるクレジットカードで支払うことができます。

出願前にクレジットカードを準備してください。

**なお、クレジットカードの名義は、志願者と同一である必要はありません。**

**支払方法は一括払いのみです。**クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。

名称	ロゴマーク
VISA	
MasterCard	
JCB	
AMERICAN EXPRESS	

### ○ コンビニ 日本国内のみ利用可能

**現金での支払となります。**

<支払手続概要>

セブンイレブン	レジで「払込票番号(※1)」を店員に伝えるか、印刷した「払込票」を渡して現金で支払(※2) (※1) 出願登録完了画面の「払込票を表示する」ボタンをクリックした後記載されている、支払に必要な番号 (※2) マルチコピー機は使用しません
ローソン、ミニストップ	「Loppi」で手続後、レジにて現金で支払
ファミリーマート	「Fami ポート」で手続後、レジにて現金で支払
サークルKサンクス	「K ステーション」で手続後、レジにて現金で支払
デイリーヤマザキ、スリーエフ	レジで「オンライン決済」と店員に伝えて手続後、レジにて現金で支払
セイコーマート	「クラブステーション」で手続後、レジにて現金で支払

### ○ 金融機関 ATM【Pay-easy】 日本国内のみ利用可能

支払可能金融機関にある Pay-easy マーク の付いている ATM で支払うことができます。

■支払可能金融機関は下記ページの「ATM 利用可能一覧」で確認できます。

[http://www.well-net.jp/multi/financial\\_list/index.html](http://www.well-net.jp/multi/financial_list/index.html)

(利用可能な金融機関の一例)

広島銀行、福岡銀行、ゆうちょ銀行、みずほ銀行、りそな銀行、三井住友銀行

<支払手続概要>

・ATMで「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続してください



### ○ ネットバンキング 日本国内のみ利用可能

都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。事前に金融機関にて申込みが必要です。

また、楽天銀行、ジャパンネット銀行、じぶん銀行、住信 SBI ネット銀行でも支払うことができます。この場合、事前に金融機関にて口座の開設が必要です。

<支払手続概要>

- 1 出願登録完了画面を開く
- 2 [ネットバンキングでの支払に進む]ボタンを押す
- 3 ネットバンキングの契約をしている金融機関を選択し、ログイン後手続してください

**I-② 【インターネット出願】 郵送が必要な出願書類等**

出 願 書 類		摘 要
A	写 真	縦 4 cm×横 3 cm, 上半身, 脱帽, 正面向きで最近 3 か月以内にカラー又は白黒で撮影し, 写真の裏に出願番号(「登録手続の完了」画面で確認できる番号), 氏名及び学部・学科等を記入したものを提出してください。 (注) 出願登録時に写真をアップロードした志願者は, 提出不要です。
B	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 成 績 請 求 票	「前期日程」に出願する場合は, 「 <b>前</b> 国公立前期日程用」を提出してください。 「後期日程」に出願する場合は, 「 <b>後</b> 国公立後期日程用」を提出してください。 なお, 大学入試センター試験成績請求票の再発行を受けた場合は, 再発行後の成績請求票を提出してください。 <b>(注) 成績請求票を提出していない場合, 又は指定のものとは異なる成績請求票を提出した場合, 出願が無効となります。注意してください。</b>
C	調 査 書 等	1 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成 27 年 3 月までに卒業見込みの者は, 文部科学省所定の様式により, 出身学校長が作成し, <b>厳封したもの</b> を提出してください。 なお, 出身高等学校等において指導要録が保存年限を超えた場合又はその他の事情により調査書が得られない場合には, 「卒業証明書」及び「成績証明書(又は単位修得証明書)」を調査書の代わりに提出してください。成績証明書(又は単位修得証明書)を提出できない場合は, 高等学校等が作成した「成績証明書(又は単位修得証明書)が発行できない旨の理由書」を「卒業証明書」と併せて提出してください。 また, 改姓名等により現在の氏名と書類の氏名が異なる場合は, 戸籍抄本等の公的機関が発行した書類の写を添付してください。 2 上記以外の者の調査書等については, 次ページ(注)のとおりとします。
D	受 験 票 等 送 付 用 定 形 封 筒	市販の長形 3 号定形封筒(12cm×23.5cm)又は学生募集要項添付の封筒(小)に志願者の住所, 氏名を記入し, 92 円分の切手を必ず貼ってください。出願書類を持参する場合も, 提出してください。

**教育学部第四類の該当コース及び該当者のみ**

出 願 書 類		摘 要
E	楽 譜 (受験する曲の楽譜)	教育学部第四類(生涯活動教育系)音楽文化系コースの志願者のうち該当する者は, 33, 34 ページの【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】を参照し, 受験する曲の楽譜を提出してください。 なお, 声楽で受験する場合は実際に演奏する調の楽譜(ピアノ伴奏付), 器楽のうち管弦打楽器で受験する場合はパート譜のみ提出してください(楽譜には氏名, 高校名等, 個人が特定される内容は記入しないでください)。
F	実 技 実 績 調 査 書 (及び証明資料)	教育学部第四類(生涯活動教育系)健康スポーツ系コース(「後期日程」のみ)を志願する者は, 33 ページの【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】を参照し, 実技実績調査書(※)に記入の上, 提出してください。 また, 記入した実技実績を証明する資料を併せて提出してください。

(※) 実技実績調査書の様式はインターネット出願書式ダウンロードページからダウンロードしたものを印刷して利用する他, 本学生募集要項添付用紙(94 ページ)を利用することもできます。  
印刷サイズは A4 版としてください。紙質は問いません。

## (注)「高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込み」以外の調査書等について

- 1 高等専門学校第3学年修了者及び修了見込みの者並びに文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者の調査書(学校長が作成し、厳封したもの)については、文部科学省所定の様式に準じて作成したものを提出してください。
- 2 高等学校卒業程度認定試験合格者及び大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書(合格証明書とは異なります)をもって調査書に代えることができます。  
なお、一部の科目を高等学校で修得した者は在学期間中の調査書、成績証明書又は単位修得証明書のいずれか一つを併せて提出してください。  
また、合格に必要な残りの試験科目に相当する科目の単位を平成27年3月31日までに高等学校等で修得見込みの者は、文部科学省が発行する合格見込成績証明書の原本を提出してください。
- 3 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び修了見込みの者は、卒業(修了)証明書及び成績証明書をもって調査書に代えることができます。  
なお、外国において学校教育における12年の課程を修了した者等に準ずる者で文部科学大臣の指定したものは、検定試験(例:大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GED test」等)実施機関の長が発行した検定の合格証書又は当該教育施設の長が発行した教育施設の当該課程の修了(見込)を証明する書類を提出してください。  
また、日本国の高等学校等に在学したことがある場合には、在学高等学校等の調査書(学校長が作成し、厳封したもの)を併せて提出してください。
- 4 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者は、成績証明書をもって調査書に代えることができます。
- 5 国際バカロレア資格を取得した者は、国際バカロレア資格証書の写と国際バカロレア(IB)最終試験6科目の成績評価証明書を提出してください。
- 6 アビトゥア資格を取得した者は、アビトゥア資格取得者に授与される一般的大学入学資格証明書を提出してください。
- 7 フランス共和国のバカロレア資格を取得した者は、バカロレア資格試験成績証明書を提出してください。
- 8 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者は、広島大学入学資格認定書の写を提出してください。
- 9 出願資格に該当する者で前ページ及び上記に記載が無い場合は、出願資格を証明できる書類を提出してください。

※1 出願書類のうち英語以外の外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。

志願者本人が翻訳しても構いません。この場合、厳封は不要です。

※2 改姓名等により現在の氏名と書類の氏名が異なる場合は、戸籍抄本等の公的機関が発行した書類の写を添付してください。

**I-③ 【インターネット出願】 郵送が必要な出願書類等の提出方法及び提出先**

**1 送付用封筒の準備**

「前期日程」，「後期日程」の両方に出願する場合は，それぞれの日程用の封筒を用意してください。

登録完了画面から宛名ラベルを印刷し，市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）又は学生募集要項添付の封筒（大）（※1）の表（宛名）面に貼付してください。封筒貼付用宛名ラベルを印刷することを強く推奨しますが，印刷できない場合は，市販の角形 2 号封筒（※2）に宛名ラベルの内容（広島大学入学センターの郵便番号・住所・宛先，出願番号，入試区分，出願学部・学科等，志願者郵便番号及び住所，志願者氏名）を記載してください。

**簡易書留**の表示も縦書・赤字で記入（又は，郵便局窓口で押印を依頼）してください。

（※1） 学生募集要項添付の封筒（大）を利用する場合，宛名ラベルの余白を封筒の大きさに合わせて適宜切り取ってください。

（※2） 宛名ラベルを印刷できない場合は送付先等が異なるので，学生募集要項添付の封筒（大）は使用しないでください。

【印刷見本】

【印刷できない場合の記載見本】

切手

739-8511  
東広島市鏡山 1-3-2  
広島大学入学センター 御中

簡易書留

出願番号：\*\*\*\*\*  
入試区分：一般入試（〇〇日程）  
出願学部・学科等：▽▽学部▽▽学科▽▽専攻・コース▽▽系  
▽▽専攻・コース▽▽系  
〒〇〇〇-〇〇〇〇  
△△県□□市◇◇町1-2-3  
マンション△△101号室  
☆☆ ☆☆



〒739-8511  
東広島市鏡山 1-3-2  
広島大学入学センター 御中

簡易書留

出願番号：\*\*\*\*\*  
入試区分：一般入試（〇〇日程）  
出願学部・学科等：▽▽学部▽▽学科▽▽専攻・コース▽▽系  
志願者住所：〒〇〇〇-〇〇〇〇  
△△県□□市◇◇町1-2-3  
マンション△△101号室  
志願者氏名：☆☆ ☆☆

**2 郵送が必要な出願書類等の確認**

提出書類・確認事項等		対象	確認欄
写真（縦 4 cm×横 3 cm） （注）上半身，脱帽，正面向きで最近 3 か月以内にカラー又は白黒で撮影し，写真の裏に出願番号，氏名及び学部・学科等を記入したもの	紛失しないように，一つの小さい袋や封筒に入れて提出することを推奨します。	全員（出願登録時に写真をアップロードした志願者は不要）	
大学入試センター試験成績請求票 「前」 国公立前期日程用」又は 「後」 国公立後期日程用」		全員	
調査書等			
受験票等送付用定形封筒 ※			
上記以外の出願書類	楽譜（受験する曲の楽譜） 実技実績調査書（及び証明資料）	教育学部第四類（生涯活動教育系）の該当コース及び該当者のみ	

※ 「受験票等送付用定形封筒」は，長形 3 号定形封筒（12cm×23.5cm）に 92 円分の切手を貼り，表（宛名）面に志願者の住所氏名を「様」の敬称とともに記入してください。  
学生募集要項添付の封筒（小）を使用することもできます。

**3 簡易書留郵便で送付**

上記「1」で作成した封筒へ「2」の必要書類をすべて揃えて封入の上，5 ページの「郵送が必要な出願書類等の提出期間」内に「1」の見本に記載の住所へ，簡易書留郵便で郵送又は持参してください。

Ⅱ-① 【志願票等記入による出願】 郵送する書類等（入学検定料支払方法を含む）

出 願 書 類		摘 要
ア	入 学 志 願 票 等	<p>1 入学志願票・受験票・写真票・大学入試センター試験成績請求票の連続用紙が所定用紙になっています。必要事項を記入の上、<b>写真及び大学入試センター試験成績請求票を貼付し、切り離さずに提出してください。</b></p> <p>2 記入については、79～83 ページの「入学志願票等記入上の注意」を参照してください。</p>
イ	入 学 検 定 料 振 込 証 明 書 貼 付 用 紙	<p>1 入学検定料の振込について  <b>17,000 円（法学部及び経済学部の夜間主コースは、10,000 円）</b>            所定の用紙「<b>広島大学入学検定料振込依頼書（A 票）</b>，<b>入学検定料領収書（B 票）</b>，<b>入学検定料振込証明書（C 票）</b>」の太ワクの中に、<b>志願者氏名、フリガナ及び志願者住所（A 票のみ）を必ず記入</b>して、切り離さずに持参の上、上記の金額を都市銀行、地方銀行等の本支店で振り込んでください。<b>振込手数料は、振込人負担となります。</b>            ゆうちょ銀行及び郵便局（以下「ゆうちょ銀行」という）から振り込む場合は、ゆうちょ銀行所定の振込依頼書に転記する等、別途手続が必要となります。詳細は入学検定料振込依頼書等の A～C 票をゆうちょ銀行窓口で提示の上、相談してください。            なお、<b>ゆうちょ銀行を含む各銀行 ATM からは振り込めません。</b></p> <p>2 提出方法について            入学検定料振込後、<b>入学検定料振込証明書（C 票）</b>を所定の貼付用紙に貼りつけて提出してください。  <b>受付金融機関出納印のないものは無効です。</b></p> <p>■ 入学検定料に係る注意事項は、7 ページの「入学検定料」欄に記載している内容と同一です。</p>
ウ	住 所 票 (合格通知書等送付用)	<p>所定の用紙に、志願者の住所、氏名等を記入してください。            エは、資料送付を希望される方のみ記入してください。</p>
エ	住 所 票 (資料送付用)	
カ	調 査 書 等	<p>9 ページの該当する出願書類の「摘要」欄に記載している内容と同一です。</p>
キ	受 験 票 等 送 付 用 定 形 封 筒	
ク	実 技 検 査 種 目 届 (「前期日程」用) (「後期日程」用)	<p>教育学部第四類（生涯活動教育系）健康スポーツ系コース、音楽文化系コース、造形芸術系コース（「後期日程」のみ）を志願する者は、32～34 ページの【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】を参照の上、「前期日」程又は「後期日程」の該当する実技検査種目届（93 ページ）を提出してください。</p>
ケ	楽 譜 (受験する曲の楽譜)	<p>教育学部第四類（生涯活動教育系）音楽文化系コース、健康スポーツ系コース（「後期日程」のみ）で該当する者のみ</p>
コ	実 技 実 績 調 査 書 (及び証明資料)	<p>9 ページの該当する出願書類の「摘要」欄に記載している内容と同一です。</p>

※1 出願書類のうち英語以外の外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。志願者本人が翻訳しても構いません。この場合、厳封は不要です。

※2 改姓名等により現在の氏名と書類の氏名が異なる場合は、戸籍抄本等の公的機関が発行した書類の写を添付してください。

## Ⅱ-② 【志願票等記入による出願】 出願（郵送）書類提出方法及び提出先

志願者は、12 ページ「Ⅱ-①」の出願書類を一括して本学所定の封筒（「前期日程」用又は「後期日程」用）に入れ、出願する学部（下記【志願票等記入による出願】提出先を参照）へ提出してください。

- 出願書類等は、郵送（書留）又は持参により提出してください。
- 出願書類は「前期日程」用と「後期日程」用の2種類あります。  
出願する日程の書類を使用してください。
- 「前期日程」、「後期日程」の両方に出願する場合も、それぞれの日程の封筒に入れて、提出してください。

なお、出願書類等は次の順序で重ねて、本学所定の封筒に入れてください。  
クリップ止めやクリアファイルへの挿入は不要です。

※  
書類を重ねる順序

○調査書等（厳封のまま）

○入学志願票等（入学志願票・受験票・写真票・  
大学入試センター試験成績請求票の連続用紙）  
※切り離さずに提出してください。

○入学検定料振込証明書 貼付用紙  
○住所票（合格通知書等送付用）  
○住所票（資料送付用）  
※切り離さずに提出してください。

○受験票等送付用定形封筒

教育学部第四類（生涯活動教育系）で該当する場合、書類を添付してください。  
○実技検査種目届 ○楽譜（受験する曲の楽譜） ○実技実績調査書（及び証明資料）

### 【志願票等記入による出願】提出先

学 部	担 当	提 出 先 の 住 所	問 合 せ 先
総 合 科 学 部	入試担当	〒739-8521 東広島市鏡山一丁目7番1号	TEL 082-424-6315 FAX 082-424-8246
文 学 部		〒739-8522 東広島市鏡山一丁目2番3号	TEL 082-424-6613 FAX 082-424-0315
教 育 学 部		〒739-8524 東広島市鏡山一丁目1番1号	TEL 082-424-6725 FAX 082-424-7108
法 学 部 （夜間主コースを含む）		〒739-8525 東広島市鏡山一丁目2番1号	TEL 082-424-7215 FAX 082-424-7220
経 済 学 部 （夜間主コースを含む）		〒739-8525 東広島市鏡山一丁目2番1号	TEL 082-424-7217 FAX 082-424-7220
理 学 部		〒739-8526 東広島市鏡山一丁目3番1号	TEL 082-424-7315 FAX 082-424-2464
医 学 部		〒734-8553 広島市南区霞一丁目2番3号	TEL 082-257-5049 FAX 082-257-5278
歯 学 部		〒734-8553 広島市南区霞一丁目2番3号	TEL 082-257-5614 FAX 082-257-5278
薬 学 部		〒734-8553 広島市南区霞一丁目2番3号	TEL 082-257-5777 FAX 082-257-5278
工 学 部		〒739-8527 東広島市鏡山一丁目4番1号	TEL 082-424-7524 FAX 082-424-5461
生 物 生 産 学 部		〒739-8528 東広島市鏡山一丁目4番4号	TEL 082-424-7915 FAX 082-424-6480

#### (4) 出願に関する注意事項（インターネット出願及び志願票等記入による出願 共通）

- ① 国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）の推薦入試合格者で入学手続を行った者又は当該大学の許可を得ずに入学を辞退した者は、個別学力検査等を受験しても合格者にはなりません。

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org>）参照

- ② 国公立大学・学部のAO入試に合格し、入学手続を行った者又は当該大学の許可を得ずに入学を辞退した者は、個別学力検査等を受験しても合格者にはなりません。
- ③ 国公立大学・学部の「前期日程」試験に合格し、入学手続を行った者は、「後期日程」試験を受験しても合格者にはなりません。

また、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

- ④ 出願書類に不備がある場合は、受け付けないことがあります。
- ⑤ 出願書類受付後の記載事項の変更は、認めません。
- ⑥ 受付された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑦ 入学者選抜を通じて取得した個人情報（氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等）は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続のほか、本学池の上学生宿舎入居者選考を行うために利用します。ただし、池の上学生宿舎入居者選考には、出願書類により取得した個人情報のみ利用します。合格者の入学後、取得した個人情報は学生支援関係（履修指導、奨学金申請、授業料免除申請等）業務及び調査・研究（入試の改善や志願者動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外へ取得した個人情報の提供は行いません。なお、個人情報については、適切な取扱いに関する契約を締結した上で、コンピュータ処理をするため、関連業務を外部の事業者へ委託することがあります。

#### (5) 学部別の出願上の注意事項（インターネット出願及び志願票等記入による出願 共通）

学 部	注 意 事 項
総合科学部	「前期日程」、「後期日程」とも文科系、理科系のいずれか一方を出願時に選択し、受験することになります。
教育学部	第一類(学校教育系)初等教育教員養成コース及び特別支援教育教員養成コースの「前期日程」、「後期日程」に志願する者は、文科系、理科系のいずれか一方を出願時に選択し、受験することになります。
経済学部	昼間コースの「後期日程」に志願する者は、文科系、理科系のいずれか一方を出願時に選択し、受験することになります。
医学部	保健学科の「前期日程」に志願する者は、文科系、理科系のいずれか一方を出願時に選択し、受験することになります。

## 5 受験票の発送

- (1) 「広島大学入学試験受験票」は、平成27年2月9日（月）に本人あて発送します。2月16日（月）までに到着しない場合は、2月17日（火）以降に、出願した学部の入試担当（裏表紙参照：法学部及び経済学部の夜間主コースは、各学部の昼間コース）へ連絡してください。
- (2) 「広島大学入学試験受験票」及び「大学入試センター試験受験票」は、個別学力検査等の受験及び入学手続の際に必要ですので、大切に保管してください。

## 6 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等，受験上及び修学上の配慮を必要とする者は，次の事項を記載した申請書（様式は定めません）を志望する学部の入試担当（裏表紙参照）に事前に電話連絡した上で提出し，相談してください。

### (1) 相談の期限

点字による受験等の特別な準備を必要とする者については，平成27年1月9日（金）までに相談してください。

その他の配慮を必要とする者は，原則として平成27年1月23日（金）までに相談してください。

なお，相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので，できるだけ早い時期に相談してください。

### (2) 申請書の記載内容

	内 容	備 考
①	志願者の氏名，住所，電話番号	
②	出身学校名	
③	志望学部，学科，コース等名	
④	志願予定の試験日程	一般入試「前期日程」及び一般入試「後期日程」の別を記載してください。いずれの日程も志願予定の場合は，二つの日程を併記してください。
⑤	障害等の種類・程度	医師の診断書又は障害者手帳（写）を添付してください。大学入試センター試験の受験上の配慮を申請した者は，申請時に添付した診断書の写を添付してもかまいません。
⑥	受験上の配慮を希望する事項	大学入試センターから「受験上の配慮事項決定通知書」の交付を受けた者は，その写を添付してください。
⑦	修学上の配慮を希望する事項	
⑧	出身学校でとられていた配慮	
⑨	日常生活の状況	

## 7 試験場案内

試験は，「前期日程」，「後期日程」とも，以下のキャンパスで実施予定です。

ただし，志願者数等により試験場を変更することがありますので，平成27年2月9日（月）に本学から発送する「受験案内」（受験票等送付用定形封筒に同封）により，必ず確認してください。



#### 【霞キャンパス各試験場】

住所：広島市南区霞  
医学部，歯学部，薬学部

法学部・経済学部の夜間主コースも，東広島キャンパスで試験を実施します。

#### 【東広島キャンパス各試験場】

住所：東広島市鏡山

総合科学部，文学部，教育学部，  
法学部（昼間コース・夜間主コース），  
経済学部（昼間コース・夜間主コース），  
理学部，工学部，生物生産学部

## 東広島キャンパス試験場（東広島市鏡山一丁目）

**試験実施学部：** 総合科学部, 文学部, 教育学部, 法学部(昼間コース・夜間主コース), 経済学部(昼間コース・夜間主コース), 理学部, 工学部, 生物生産学部

経路:

JR山陽本線「西条駅」前からバス「広島大学」行き,  
又は山陽新幹線「東広島駅」前からバス「広島大学」  
行きを利用(いずれも所要時間約 20 分)

※ 試験当日は, 臨時便が運行する予定です。

運行スケジュール等は各試験日の 1 週間前までに,  
本学ホームページのトップページ→「お知らせ」に  
掲載します。



- ・文学部
  - ・教育学部
  - ・法学部(昼間コース・夜間主コース)「後期日程」のみ
  - ・経済学部(昼間コース・夜間主コース)
  - ・理学部
- 「**広大中央口**」バス停 下車

キャンパス建物配置図



(注) 法学部(昼間コース・夜間主コース)「前期日程」の個別学力検査は, 総合科学部講義棟で実施します。

- ・総合科学部
  - ・法学部(昼間コース・夜間主コース)「前期日程」のみ(注)
- 「**広大西口**」バス停 下車

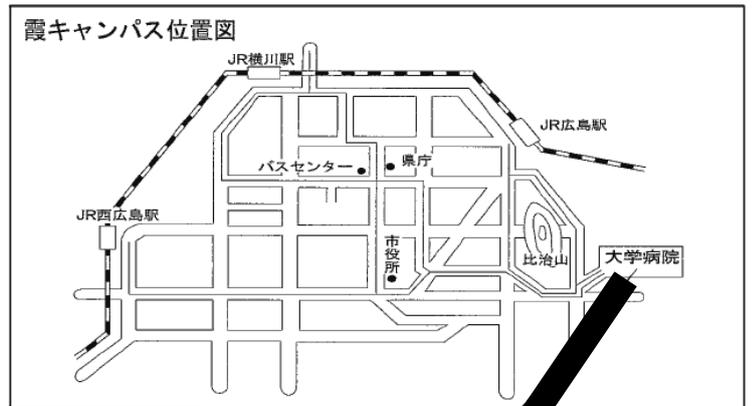
- ・工学部
  - ・生物生産学部
- 「**大学会館前**」バス停 下車

**霞キャンパス試験場（広島市南区霞一丁目2番3号）**

**試験実施学部：医学部，歯学部，薬学部**

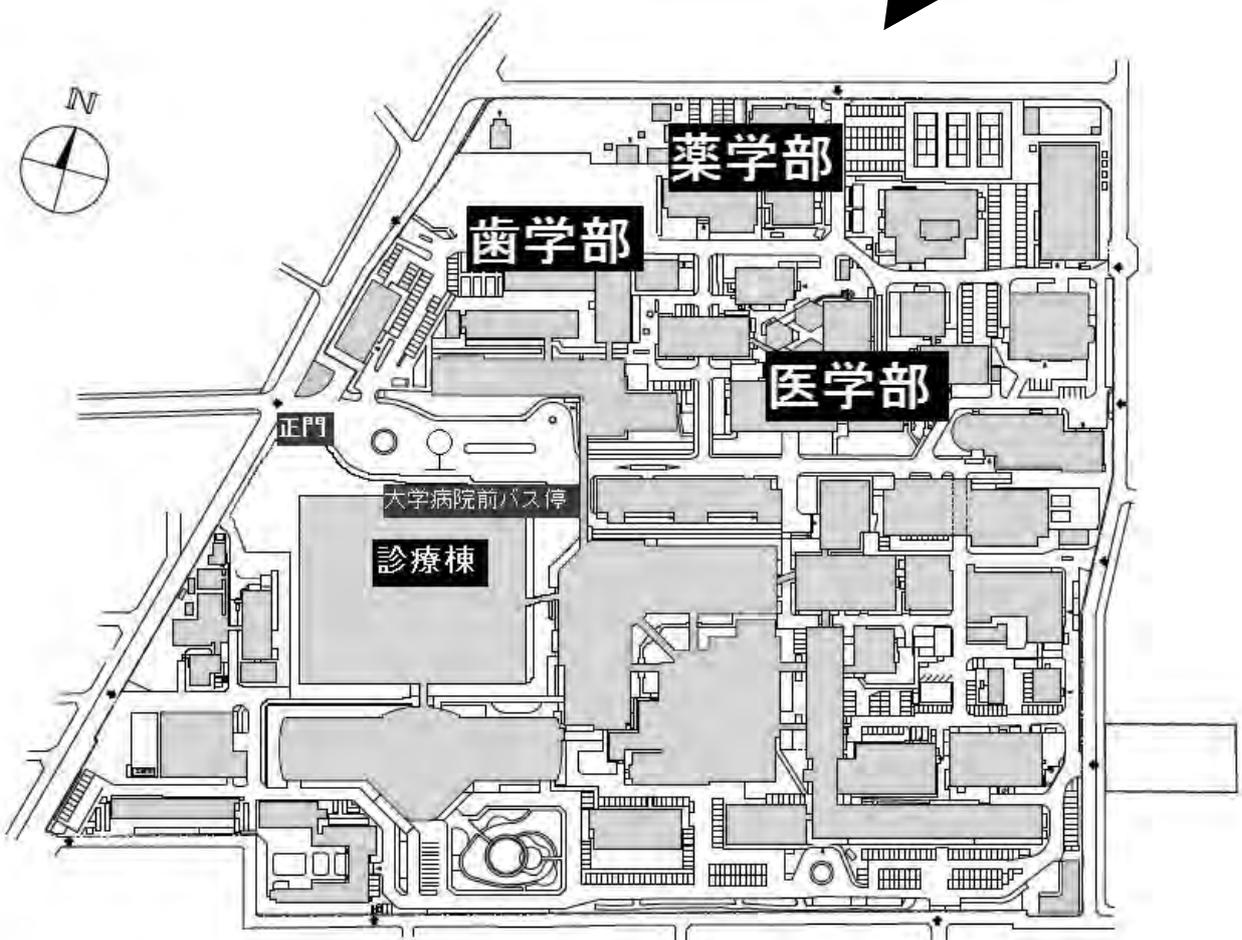
経路：

- ・JR山陽本線・山陽新幹線「広島駅」前から  
バス「大学病院」行で，終点下車  
(所要時間約 20 分)
  - ・JR山陽本線「横川駅」前から  
バス「大学病院」行で，終点下車  
(所要時間約 40 分)
  - ・JR山陽本線「西広島駅」前から  
バス「己斐～旭町 循環線(大学病院経由)」で，  
「大学病院」下車(所要時間約 30 分)
- ※ 試験当日の臨時便は運行しない予定です。



各路線バスの詳細は，以下の URL のリンク先で参照できます。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/access/kasumi/>



## 8 個別学力検査等日程

### 【前期日程】

試験日	教科(学部・学科等)	試験時間 ※(素点)	備考
2月25日(水)	数 学	9:00～11:00 (200点)	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・ 数学B(数列, ベクトル)」を 指定する学部・学科等
		9:00～11:30 (200点)	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)」 を指定する学部・学科等
	小 論 文 (総合科学部 文科系)	12:00～14:30	
	国 語	12:30～14:30 (200点)	
	理 科	12:30～13:30 (100点)	1科目を指定する学部・学科等
		12:30～14:30 (200点)	2科目を指定する学部・学科等
	外 国 語	15:20～17:20 (200点)	
実 技 (教育学部 第四類(生涯活動教育系) 健康スポーツ系コース 音楽文化系コース 造形芸術系コース)	9:00～	音楽文化系コースは, 26日まで 行います。 ただし, 受験者数によっては, 25日で終了することもあります。	
2月26日(木)	面 接 (医学部 医学科 保健学科作業療法学専攻 歯学部 歯学科 口腔健康科学科口腔保健学専攻 口腔健康科学科口腔工学専攻)	9:00～	

※ 「前期日程」の素点については, 複数の学部・学科等で試験教科として利用している教科のみ表示しており, 合否判定にあつては, 各学部・学科等の配点に換算します(26～48ページの「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」欄を参照)。

【後期日程】

試験日	学部	学科等	教科等	試験時間	
3月12日(木)	総合科学部	総合科学科	文科系	外国語 面接	9:00～10:40 12:00～
			理科系	外国語 数学	9:00～10:40 12:00～14:00
	文学部	人文学科		面接	9:00～
	教育学部	第一類 (学校教育系)	初等教育教員養成コース	小論文	9:00～11:00
			特別支援教育教員養成コース		
		第二類 (科学文化教育系)	自然系コース	面接	9:00～
			教理系コース		
			技術・情報系コース		
		第四類 (生涯活動教育系)	健康スポーツ系コース	実技	9:00～
			音楽文化系コース		
			造形芸術系コース		
		第五類 (人間形成基礎系)	人間生活系コース	小論文	9:00～11:00
			教育学系コース 心理学系コース	小論文	9:00～11:00
	法学部	法学科	昼間コース	総合問題	9:00～11:30
			夜間主コース		
	経済学部	経済学科	昼間コース	小論文	9:00～11:00
			夜間主コース		
	理学部	数学科	数学	9:00～11:30	
		物理科学科	総合問題	9:00～11:30	
		化学科	理科	9:00～11:30	
		地球惑星システム学科	面接	9:00～	
医学部	医学科	面接	9:00～		
歯学部	歯学科	小論文	13:00～15:00		
	口腔健康科学科口腔工学専攻	面接	9:00～		
工学部	第一類(機械システム工学系)	面接	9:00～		
	第二類(電気・電子・システム・情報系)				
	第三類(化学・バイオ・プロセス系)				
	第四類(建設・環境系)				
生物生産学部	生物生産学科	面接	9:00～		
3月13日(金)	歯学部	歯学科	面接	9:00～	

※ 「後期日程」の素点については、各学部・学科等により異なります(26～48ページの各学部の【実施教科・科目及び配点等】欄を参照)。

## 9 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験と本学が実施する個別学力検査等の結果及び調査書を総合して行います。

### (1) 個別学力検査等

大学入試センター試験利用教科・科目及び個別学力検査等の実施教科・科目並びにこれらの配点については、26～48 ページの各学部の【実施教科・科目及び配点等】を参照してください。

志望する学部・学科等により受験科目及び配点が異なりますので注意してください。

なお、大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目等に関しては、本ページ及び次ページ以降に記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

### (2) 2 段階選抜

医学部医学科の「前期日程」において、志願倍率が 10 倍を超える場合には、大学入試センター試験の成績（成績は「10 実施教科・科目等に関する注意事項」(2) と同様の取扱いとする）の合計点（900 点満点）により、第 1 段階の選抜を実施することがあります。第 1 段階選抜実施の有無については、平成 27 年 2 月 6 日（金）までに広島大学ホームページに掲載します。

また、第 1 段階選抜合格者には「広島大学入学試験受験票」及び受験案内を、第 1 段階選抜不合格者には不合格通知書及び入学検定料払戻請求書を、平成 27 年 2 月 9 日（月）に本人あて発送します。

※ 受験票又は不合格通知書等が平成 27 年 2 月 16 日（月）までに到着しない場合は、2 月 17 日（火）以降に、医学部入試担当（TEL 082-257-5049）へ連絡してください。

なお、医学部医学科の「後期日程」、医学部保健学科の「前期日程」及びその他の学部・学科等においては、「前期日程」、「後期日程」とも 2 段階選抜は行いません。

### (3) 合格者予定数

総合科学部の「前期日程」及び「後期日程」、医学部保健学科の「前期日程」については、文科系で受験した者と理科系で受験した者から、募集人員の約半数ずつを合格者とします。

## 10 実施教科・科目等に関する注意事項

出願書類受付後に、志望する学部・学科等が指定する平成27年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目の不足等(地理歴史・公民及び理科において、2科目を受験した場合、第1解答科目を各学部・学科等が指定した科目の中から選択していなければ、出願無資格となります)による出願無資格者であることが判明した者は、個別学力検査等の受験はできません。この場合、入学検定料の一部を返還することとなります。

出願資格を満たしていないことが判明次第、本人へ通知します。

なお、本学の平成27年度入学者選抜においては、平成26年度以前の大学入試センター試験の成績は利用しません。

また、新教育課程履修者と旧教育課程履修者を以下のとおり定義します。

新教育課程履修者 (※) (数学, 理科)	① 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。)に平成 24 年 4 月に入学し、数学, 理科に関し新教育課程を履修し、平成 27 年 3 月卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に平成 24 年 4 月に進級し、数学, 理科に関し新教育課程を履修し、平成 27 年 3 月卒業見込みの者
旧教育課程履修者 (※)	上記以外の者 * 高等学校等卒業者, 高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者, 大学入学資格検定合格者, 高等専門学校第 3 学年修了者又は修了見込者, 外国の学校等修了者又は修了見込者, 在外教育施設修了者又は修了見込者, 及び高等学校等を平成 27 年 3 月卒業見込みであるが、入学は平成 24 年 3 月以前の者など、上記に該当しない者

(※)「新教育課程」とは、平成 25 年 4 月 1 日から適用された高等学校学習指導要領（平成 21 年文部科学省告示第 34 号）に基づく教育課程及び平成 21 年 3 月 9 日文部科学省告示第 38 号の特例により定められた教育課程をいい、「旧教育課程」とは、従前の高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいいます。

## (1) 総合科学部, 教育学部, 経済学部及び医学部の「学科等」欄について

文科系, 理科系の区分は受験上の区分になりますので, いずれか一方を選択し受験してください。

なお, 高等学校における文科系, 理科系の区分ではありません。

また, 入学後の教育プログラム・教育領域の配属にも関係しません。

## (2) 大学入試センター試験について

### ① 大学入試センター試験における英語の得点の取扱いについて

筆記試験とリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き, 筆記試験及びリスニングの両方を受験している場合のみ, 英語を受験したことになります)。

筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点を0.8倍(200点満点)に圧縮したものを英語の得点とし, 各学部・学科等が定めている配点に換算します。

ただし, 重度難聴者などでリスニングが免除となった場合は, 筆記試験(200点満点)の得点を圧縮せず, そのまま英語の得点とし, 各学部・学科等が定めている配点に換算します。

### ② 数学の「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」の科目を選択解答できる者は, 高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者に限ります。

### ③ 数学において, 2科目を受験した場合の取扱いについては, 受験を要する科目数を1科目と指定している場合, 高得点の解答科目を採用します。

### ④ 地理歴史・公民において, 2科目を受験した場合の取扱いについては, 受験を要する科目数を1科目と指定している場合, 第1解答科目の得点を採用しますので, 第1解答科目は必ず学部・学科等の指定した科目の中から選択してください。

### ⑤ 理科のうち「物理, 化学, 生物, 地学」(以下, 「基礎を付していない科目」という)又は旧教育課程から出題される「物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰ」において, 2科目を受験した場合の取扱いについては, 受験を要する科目数を1科目と指定している場合, 第1解答科目の得点を採用しますので, 第1解答科目は必ず学部・学科等の指定した科目の中から選択してください。

### ⑥ 理科において, 『「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎」(以下, 「基礎を付した科目」という)から2科目又は「基礎を付していない科目」から2科目』を選択できる場合の「基礎を付していない科目」の取扱いは, 「基礎を付していない科目」2科目の合計点(200点満点)を0.5倍(100点満点)に圧縮したものを理科の得点とし, 各学部・学科等が定めている配点に換算します。

なお, 利用科目については, 各学部の【実施教科・科目及び配点等】により確認してください。

### ⑦ ⑥のほか, 歯学部口腔健康科学科口腔保健学専攻における理科の取扱いは, 歯学部の【実施教科・科目及び配点等】の備考欄により確認してください。

## 旧教育課程履修者に対する大学入試センター試験についての経過措置

### ⑧ 数学において, 1科目を課す学部・学科等にあつては, 「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 旧教育課程から出題される「旧数学Ⅰ・旧数学A」及び「旧数学Ⅱ・旧数学B」のうちから1科目を選択してください。

また, 2科目を課す学部・学科等にあつては, 「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 旧教育課程から出題される「旧数学Ⅰ・旧数学A」及び「旧数学Ⅱ・旧数学B」のうちから2科目を選択してください。

### ⑨ 理科において, 「基礎を付した科目」又は「基礎を付していない科目」を課す学部・学科等にあつては, 「基礎を付した科目」, 「基礎を付していない科目」及び旧教育課程から出題される「物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰ」のうちから選択してください。

また, 「基礎を付していない科目」を課す学部・学科等にあつては, 「基礎を付していない科目」及び旧教育課程から出題される「物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰ」のうちから選択してください。

なお, ⑧及び⑨の利用科目は各学部によって異なります。「平成27年度入学者選抜における旧教育課程履修者に対する経過措置(大学入試センター試験関係) 一般入試(前期日程・後期日程)」(24～25ページ)及び各学部の【実施教科・科目及び配点等】(26～48ページ)により確認してください。

### (3) 個別学力検査の出題範囲・出題方法等について

以下の表、各学部の【実施教科・科目及び配点等】及び【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】を参照してください。

なお、平成27年度個別学力検査において、数学と理科については、旧教育課程履修者に配慮した出題とします。詳細は、以下の該当欄を参照ください。

#### 【前期日程】

教科・科目等		出題範囲・出題方法等
国語		「国語総合(近代以降の文章), 現代文」又は「国語総合, 現代文, 古典」の範囲から出題します。
数学(4科目)		新教育課程の「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B(数列, ベクトル)」と旧教育課程の「旧数学Ⅰ, 旧数学Ⅱ, 旧数学A, 旧数学B(数列, ベクトル)」の共通の範囲から出題します。
数学(5科目)		新教育課程の「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B(数列, ベクトル)」と旧教育課程の「旧数学Ⅰ, 旧数学Ⅱ, 旧数学Ⅲ, 旧数学A, 旧数学B(数列, ベクトル), 旧数学C(行列とその応用, 式と曲線)」の共通の範囲から出題します。
理科	物理基礎・物理	新教育課程の「物理基礎・物理」(「物理基礎」と「物理」を併せた範囲)と旧教育課程の「物理Ⅰ・物理Ⅱ(注1)」の共通の範囲から出題します。
	化学基礎・化学	新教育課程の「化学基礎・化学」(「化学基礎」と「化学」を併せた範囲)と旧教育課程の「化学Ⅰ・化学Ⅱ(注2)」の共通の範囲から出題します。
	生物基礎・生物	新教育課程の「生物基礎・生物」(「生物基礎」と「生物」を併せた範囲)と旧教育課程の「生物Ⅰ・生物Ⅱ(注3)」の共通の範囲から出題します。
	地学基礎・地学	新教育課程の「地学基礎・地学」(「地学基礎」と「地学」を併せた範囲)と旧教育課程の「地学Ⅰ・地学Ⅱ(注4)」の共通の範囲から出題します。
外国語		英語は、「リーディング・ライティング」の2科目の範囲から出題します。ドイツ語, フランス語及び中国語については, 英語に準じます。
その他		各学部の【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】を参照してください。

(注1) 「物理Ⅰ・物理Ⅱ」の範囲。ただし、「物理Ⅱ」における「物質と原子」, 「原子と原子核」の内容を主として含む出題の場合には, 選択問題とします。なお, 旧教育課程の「物理Ⅱ」の範囲にあつては, 学習指導要領において, 「生徒の興味・関心等に応じていずれかを選択することができる」とされた項目については, 選択方法による不利が生じないように, 出題方法等に配慮します。

(注2) 「化学Ⅰ・化学Ⅱ」の範囲。ただし、「化学Ⅱ」における「生活と物質」, 「生命と物質」の内容を主として含む出題の場合には, 選択問題とします。なお, 旧教育課程の「化学Ⅱ」の範囲にあつては, 学習指導要領において, 「生徒の興味・関心等に応じていずれかを選択することができる」とされた項目については, 選択方法による不利が生じないように, 出題方法等に配慮します。

(注3) 「生物Ⅰ・生物Ⅱ」の範囲。ただし、「生物Ⅱ」における「生物の分類と進化」, 「生物の集団」の内容を主として含む出題の場合には, 選択問題とします。なお, 旧教育課程の「生物Ⅱ」の範囲にあつては, 学習指導要領において, 「生徒の興味・関心等に応じていずれかを選択することができる」とされた項目については, 選択方法による不利が生じないように, 出題方法等に配慮します。

(注4) 「地学Ⅰ・地学Ⅱ」の範囲。

**【後期日程】**

各学部の【実施教科・科目及び配点等】及び【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】を参照してください。

なお、平成27年度個別学力検査において、以下の数学と理科に関係する科目等は、旧教育課程履修者に配慮した出題とします。詳細は、以下の該当欄を参照ください。

**【後期日程】 数学と理科に関係する科目等の旧教育課程履修者への配慮**

科目等	学部・学科・系	出題範囲・出題方法等
数学(5科目)	総合科学部 総合科学科 理科系	新教育課程の「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B(数列，ベクトル)」と旧教育課程の「旧数学Ⅰ，旧数学Ⅱ，旧数学Ⅲ，旧数学A，旧数学B(数列，ベクトル)，旧数学C(行列とその応用，式と曲線)」の共通の範囲から出題します。
数学(5科目)	理学部 数学科	
総合問題	理学部 物理科学科	38ページの【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】の該当欄を参照してください。
理科	理学部 化学科	

## 平成27年度入学者選抜における旧教育課程履修者に対する経過措置(大学入試センター試験関係) 一般入試(前期日程・後期日程)

数学及び理科の2教科に関して、平成27年度大学入試センター試験のすべての受験者は新学習指導要領に基づく教科・科目の内容による試験を受験することが原則です。

ただし、旧教育課程履修者に対して、次のような経過措置を講じます。希望者は新教育課程の科目の代わりに、本経過措置に基づいて受験することもできます。

(注1) 旧教育課程履修者は、理科において、新・旧の異なる教育課程の科目を組み合わせで選択解答することはできません。

(注2) 理科において、2科目を受験した場合の取扱いについては、21ページを参照してください。

(注3) 数学の「工業数理基礎」、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」の科目の選択は、志望する学部・学科等の新教育課程の【実施教科・科目及び配点等】(26～48ページ)に記載されている場合に可能です。これらの科目を選択解答できる者については、21ページを参照してください。

○ 選択可能、△ 志望する学部・学科等の指定の組合せにより選択可能

(※) 受験上の区分です。

学部	学科等	系等	選抜区分	大学入試センター試験の受験を要する科目に対応する旧教育課程の科目						
				旧数学Ⅰ・ 旧数学A	旧数学Ⅱ・ 旧数学B	物理Ⅰ	化学Ⅰ	生物Ⅰ	地学Ⅰ	
総合科学部	総合科学科	文科系 (※)	前期 後期	○	○			○ 1科目選択		
		理科系 (※)	前期 後期	○	○			○ 2科目選択		
文学部	人文学科		前期 後期	○	○			○ 1科目選択		
教育学部	第一類 (学校教育系)	初等教育教員養成コース 文科系 (※)	前期 後期	○	○			○ 1科目選択		
		初等教育教員養成コース 理科系 (※)	前期 後期	○	○			○ 2科目選択		
		特別支援教育教員養成コース 文科系 (※)	前期 後期	○	○			○ 1科目選択		
		特別支援教育教員養成コース 理科系 (※)	前期 後期	○	○			○ 2科目選択		
	第二類 (科学文化教育系)	自然系コース	前期 後期	○	○			○ 2科目選択		
		数理系コース	前期 後期	○	○			○ 2科目選択		
		技術・情報系コース	前期 後期	○	○			○ 2科目選択		
		社会系コース	前期 後期	○	○			○ 1科目選択		
	第三類 (言語文化教育系)	国語文化系コース	前期	○	○			○ 1科目選択		
		英語文化系コース	前期	○	○			○ 1科目選択		
		日本語教育系コース	前期	○	○			○ 1科目選択		
	第四類 (生涯活動教育系)	健康スポーツ系コース	前期 後期		○ 1科目選択			○ 1科目選択		
		人間生活系コース	前期 後期	○	○			○ 1科目選択		
		音楽文化系コース	前期 後期		○ 1科目選択			○ 1科目選択		
		造形芸術系コース	前期 後期		○ 1科目選択			○ 1科目選択		
	第五類 (人間形成基礎系)	教育学系コース	前期 後期	○	○			○ 1科目選択		
		心理学系コース	前期 後期	○	○			○ 1科目選択		
	法学部	法学科	昼間コース	前期		○ 1科目選択			○ 1科目選択	
				後期	△ 0又は1科目選択					
			夜間主コース	前期		○ 1科目選択			○ 1科目選択	
後期				△ 0又は1科目選択						
経済学部	経済学科	昼間コース	前期	○	○			○ 1科目選択		
		昼間コース 文科系 (※)	後期	○	○			○ 1科目選択		
		昼間コース 理科系 (※)	後期	○	○			○ 1科目選択		
		夜間主コース	前期 後期	○	○			○ 1科目選択		

学部	学科等	系等	選抜区分	大学入試センター試験の受験を要する科目に対応する旧教育課程の科目					
				旧数学Ⅰ・ 旧数学A	旧数学Ⅱ・ 旧数学B	物理Ⅰ	化学Ⅰ	生物Ⅰ	地学Ⅰ
理学部	数学科		前期					○ 2科目選択	
			後期	○	○			○ 1科目選択	
	物理科学科		前期	○	○			○ 2科目選択	
			後期					○ 1科目選択	
	化学科		前期	○	○			○ 2科目選択	
後期									
生物科学科		前期	○	○			○ 2科目選択		
		後期							
地球惑星システム学科		前期	○	○			○ 2科目選択		
		後期					○ 1科目選択		
医学部	医学科		前期	○	○			○ 2科目選択	
			後期						
	保健学科	看護学専攻 文科系 (※)	前期	○	○			○ 1科目選択	
			前期	○	○			○ 2科目選択	
			前期	○	○			○ 1科目選択	
			前期	○	○			○ 2科目選択	
			前期	○	○			○ 1科目選択	
前期	○	○			○ 2科目選択				
歯学部	歯学科		前期	○	○			○ 2科目選択	
			後期						
	口腔健康科学科	口腔保健学専攻	前期		○ 1科目選択			○ 1又は2科目選択	
			後期						
口腔工学専攻		前期	○ 1又は2科目選択				○ 1又は2科目選択		
		後期							
薬学部	薬学科		前期	○	○			○ 2科目選択	
			後期						
薬科学科			前期	○	○			○ 2科目選択	
			後期						
工学部	第一類(機械システム工学系)		前期	○	○	○	○		
			後期						
	第二類(電気・電子・システム・情報系)		前期	○	○			○ 2科目選択	
			後期			○	○	○ 1科目選択	
	第三類(化学・バイオ・プロセス系)		前期	○	○			○ 2科目選択	
			後期			○	○	○ 1科目選択	
	第四類(建設・環境系)		前期	○	○			○ 2科目選択	
			後期			○	○	○ 1科目選択	
生物生産学部	生物生産学科		前期	○	○			○ 2科目選択	
			後期						

## 11 入学者選抜の実施教科・科目及び配点等

次ページ以降の各学部の記載内容により確認してください。

大学入試センター試験の教科・科目を次のとおり一部略記しています。( )内は正式名称です。

教科名	科目名
国(国語)	国(国語)
地歴(地理歴史)	世B(世界史B), 日B(日本史B)
公民	現社(現代社会), 倫(倫理), 政経(政治・経済), 倫・政経(倫理, 政治・経済)
数(数学)	数Ⅰ・数A(数学Ⅰ・数学A), 数Ⅱ・数B(数学Ⅱ・数学B), 工(工業数理基礎), 簿(簿記・会計), 情報(情報関係基礎)
理(理科)	物基(物理基礎), 化基(化学基礎), 生基(生物基礎), 地学基(地学基礎), 物(物理), 化(化学), 生(生物)
外(外国語)	英(英語), 独(ドイツ語), 仏(フランス語), 中(中国語), 韓(韓国語)

個別学力検査等の科目名を次のとおり一部略記しています。( )内は正式名称です。

教科名	科目名
国(国語)	
数(数学)	
理(理科)	
外(外国語)	独(ドイツ語), 仏(フランス語), 中(中国語)

# 総合科学部

## 【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
		教科	科目名等	を	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
総合系	前期 2月25日	国	国	を1	外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中	センター試験 個別学力検査 計	200	200	200	100	200			900
		地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経	から2	その他	小論文							600	600	1200
		数	数I・数A	を1				200	200	200	100	800	600		2100
	後期 3月12日	数	数II・数B, 工, 簿, 情報	から1	外	リーディング	センター試験 個別学力検査 計	200	200	200	100	200			900
		理	物基, 化基, 生基, 地学基	から2	その他	面接							600	※	600
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1				200	200	200	100	800			1500
学理科系	前期 2月25日	国	国	を1	数	数学I・数学II・数学III・数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験 個別学力検査 計	200	100	200	200	200			900
		地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経	から1	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学		から2			400	800			1200
		数	数I・数A	を1				200	100	600	1000	200			2100
	後期 3月12日	数	数II・数B, 工, 簿, 情報	から1	数	数学I・数学II・数学III・数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験 個別学力検査 計	200	100	200	200	200			900
		理	物, 化, 生, 地学	から2	外	リーディング					400	200			600
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1				200	100	600	200	400			1500

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。  
 2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。  
 3 ※印が付してある面接は、段階評価を行います。  
 4 「前期日程」, 「後期日程」とも文科系, 理科系のいずれか一方を出願時に選択し, 受験することになります。受験上の区分であり, 高等学校等における文科系, 理科系の区分と異なります。入学後の教育領域の配属にも関係しません。  
 5 「前期日程」, 「後期日程」とも文科系で受験した者と理科系で受験した者から募集人員の約半数ずつを合格者とします。

## 【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日程	学科等	科目等	内 容	評 価	
前期日程	総合科学科	文科系	小論文	論理的な思考力や独創性及び読解力について総合的に判断し, あわせて基本的な文章の表現力や記述力についても加味し, これらを総合的に評価します。	点数化して評価
後期日程	総合科学科	文科系	面接	総合科学部で学ぶことの意義, さらには意欲について確認し, あわせて当面する諸問題に対する各自の問題意識や論理的思考力について問い, その対応の仕方・態度などを踏まえて総合的に評価します。	段階評価

## 【合否判定の基準】

日程	学科等	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	文科系	大学入試センター試験及び個別学力検査等の総合点で判定します。合格最低点での同点者は合格とします。
	理科系	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。合格最低点での同点者は合格とします。
後期日程	文科系	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点に, 面接評価を加味した順位で判定します。面接を重要視します。合格最低順位での同順位者は合格とします。
	理科系	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。合格最低点での同点者は合格とします。

# 文学部

## 【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計		
人文学部	前期 2月25日	国	国	を1	国 外	国語総合・現代文・古典 リーディング・ライティング, 独, 仏, 中	センター試験	200	400	200	100	200		1100	
		地歴・公民	世B, 日B, 地理B, ※現社, 倫, 政経, 倫・政経	から2				から1	個別学力検査	400				400	800
		数	教I・数A	を1					計	600	400	200	100	600	
	後期 3月12日	理	物基, 化基, 生基, 地学基	から2 又は から2	その他	面接	センター試験	200	200	200	100	200		900	
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1				個別学力検査						100	100
			[5又は6教科8科目]					計	200	200	200	100	200	100	1000

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。  
 2 ※印を付してある公民欄については、公民を2科目選択することはできません。  
 3 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

## 【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日程	学科等	科目等	内 容	評 価
後期日程	人文学部	面接	勉学に対する意欲・志向について質問し、個性の豊かさ、応答の仕方・態度を通して総合的に評価します。	点数化して評価

## 【合否判定の基準】

日程	学科等	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	人文学部	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。
後期日程	人文学部	大学入試センター試験及び個別学力検査等の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

# 教育学部

## 【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等															
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点合計						
第一類（学校教育系）	前期 2月25日	文科系	国	国語	を1	国	国語総合・現代文・古典	センター試験		200	200	200	100	200				900			
			地歴・公民	世B, 日B, 地理B, ※現社, 倫・政経	から2	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列, ベクトル)		個別学力検査(注1)	(1)	400		400							800	
				数	数Ⅰ・数A		を1			外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中	(2)	400			400					
					数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報		から1				(3)		400		400						
			理	物基, 化基, 生基, 地学基	から2	その他	小論文		計	(1)	600	200	600	100	200					1700	
				物, 化, 生, 地学	から2					(2)	600	200	200	100	600						
	物, 化, 生, 地学	から2		(3)	200			200		600	100	600									
	後期 3月12日	理科系	外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	その他	小論文	センター試験		200	200	200	100	200				900			
			計	[5又は6教科8科目]	から1	個別学力検査								300			300				
					計		200	200	200	100	200	300			1200						
			前期 2月25日	理科系	国	国語	を1	国	国語総合・現代文・古典	センター試験		200	100	200	200	200				900	
地歴・公民					世B, 日B, 地理B, 現社, 倫・政経	から1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列, ベクトル)	個別学力検査(注1)		(1)	400		400						800	
	数	数Ⅰ・数A			を1	外		リーディング・ライティング, 独, 仏, 中			(2)	400			400						
		数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報			から1			(3)				400		400							
理	物, 化, 生, 地学	から2			その他	小論文	計	(1)	600		100	600	200	200				1700			
	物, 化, 生, 地学	から2						(2)	600		100	200	200	600							
	物, 化, 生, 地学	から2	(3)	200				100	600	200	600										
後期 3月12日	理科系	外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	その他	小論文	センター試験		200	100	200	200	200				900				
		計	[5教科7科目]	から1	個別学力検査								300		300						
				計		200	100	200	200	200	300			1200							

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。  
 2 ※印を付している公民欄については、公民を2科目選択することはできません。  
 3 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。  
 4 初等教育教員養成コースの「前期日程」、「後期日程」とも文科系、理科系のいずれか一方を出願時に選択し、受験することになります。受験上の区分であり、高等学校等における文科系、理科系の区分と異なります。入学後の教育プログラムの内容にも関係しません。  
 (注1) 前期日程の個別学力検査は、(1) [国語, 数学], (2) [国語, 外国語], (3) [数学, 外国語] の三つの組合せから出願時に一つを選択してください。

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点合計				
第一類（学校教育系）	文科系	前期 2月25日	国	国	を1	国	国語総合・現代文・古典	センター試験	200	200	200	100	200				900		
			地歴・公民	世B, 日B, 地理B, ※現社, 倫・政経	から2		数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列, ベクトル)	個別学力検査	400		400							800
			数	数Ⅰ・数A	を1				計	600	200	600	100	200					1700
		後期 3月12日	数	数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報	から1	その他	小論文	センター試験	200	200	200	100	200					900	
			理	物基, 化基, 生基, 地学基 物, 化, 生, 地学	から2 又は から2			個別学力検査						300				300	
			外	英, 独, 仏, 中, 韓 [5又は6教科8科目]	から1			計	200	200	200	100	200	300				1200	
	理科系	前期 2月25日	国	国	を1	国	国語総合・現代文・古典	センター試験	200	100	200	200	200				900		
			地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫・政経	から1		数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列, ベクトル)	個別学力検査	400		400						800	
			数	数Ⅰ・数A	を1				計	600	100	600	200	200				1700	
		後期 3月12日	数	数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報	から1	その他	小論文	センター試験	200	100	200	200	200				900		
			理	物, 化, 生, 地学	から2			個別学力検査						300			300		
			外	英, 独, 仏, 中, 韓 [5教科7科目]	から1			計	200	100	200	200	200	300			1200		

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。  
2 ※印を付している公民欄については、公民を2科目選択することはできません。  
3 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。  
4 特別支援教育教員養成コースの「前期日程」, 「後期日程」とも文科系, 理科系のいずれか一方を出願時に選択し, 受験することになります。受験上の区分であり, 高等学校等における文科系, 理科系の区分と異なります。入学後の教育プログラムの内容にも関係しません。

学科等	区分 日程	大学入試センター試験 の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計			
第二類 (科学文化教育系)	自然系 コース	前期 2月 25日	国	国	を1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200				900	
			地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経	から1	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学	個別学力検査			300	500						800
			数	数Ⅰ・数A	を1			計	200	100	500	700	200					1700
	数理系 コース	後期 3月 12日	数	数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報	から1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200				900	
			理	物, 化, 生, 地学	から2	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学	個別学力検査			600	200					800	
			外	英, 独, 仏, 中, 韓 [5教科7科目]	から1			計	200	100	800	400	200				1700	
	自然系 コース	後期 3月 12日	その他			面接	センター試験	200	100	200	200	200					900	
							個別学力検査								300	300		
							計	200	100	200	200	200			300	1200		
	技術・情報系 コース	前期 2月 25日	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・ 数学B(数列, ベクトル)		数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・ 数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200				900	
			理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学	から1			個別学力検査			400	400					800	
							計	200	100	600	600	200				1700		
技術・情報系 コース	後期 3月 12日	その他			面接	センター試験	200	100	100	200	100					700		
						個別学力検査								500	500			
						計	200	100	100	200	100			500	1200			
社会系 コース	前期 2月 25日	国	国	を1	国	国語総合・現代文・古典	センター試験	200	200	200	100	200				900		
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, ※現社, 倫・政経	から2	外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中	個別学力検査	400				400				800		
		数	数Ⅰ・数A	を1			計	600	200	200	100	600				1700		
	後期 3月 12日	理	数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報	から1	その他	面接	センター試験	200	200	200	100	200				900		
社会系 コース	後期 3月 12日	理	物基, 化基, 生基, 地学基 又は 物, 化, 生, 地学	から2 から2			個別学力検査							300	300			
		外	英, 独, 仏, 中, 韓 [5又は6教科8科目]	から1			計	200	200	200	100	200		300	1200			

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。  
2 ※印を付している公民欄については、公民を2科目選択することはできません。  
3 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

学科等	区分 日程	大学入試センター試験 の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	を	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計	
第三類（言語 文化教育系）	前期 2月 25日	国	国	を1	国	国語総合・現代文・古典	センター試験	200	200	200	100	200				900	
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, ※現社, 倫・政経	から2	外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中		から1									
		教	数I・数A	を1					個別学力検査	400				400			
	後期 3月 12日	理	物基, 化基, 生基, 地学基	から2 又は から2				計	600	200	200	100	600				1700
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1				センター試験	200	200	200	100	200				900
			[5又は6教科8科目]					個別学力検査	200				600				800
第四類（生涯 活動教育系）	前期 2月 25日	国	国	を1	その他	実技	センター試験	200	100	100	100	200				700	
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経	から1					個別学力検査						400		400
		教	数I・数A, 数II・数B, 工, 簿, 情報	から1					計	200	100	100	100	200		400	
	後期 3月 12日	理	物基, 化基, 生基, 地学基	から2 又は から2		その他	実技	センター試験	200	100	100	100	200				700
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1				個別学力検査							700		700
			[5教科6科目]					計	200	100	100	100	200		700		1400
前期 2月 25日 ～ (26日)	その他				その他	実技	センター試験	200	100	100	100	200				700	
							個別学力検査							400		400	
							計	200	100	100	100	200		400		1100	
後期 3月 12日	その他				その他	実技	センター試験	200	100	100	100	200				700	
							個別学力検査							500		500	
							計	200	100	100	100	200		500		1200	

(備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。  
2 ※印を付している公民欄については、公民を2科目選択することはできません。  
3 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。  
(注) 第四類(生涯活動教育系)音楽文化系コースについては、受験者数によって25日で試験が終了する場合があります。  
なお、造形芸術系コースについては、25日のみで試験が終了します。

学科等	区分 日程	大学入試センター試験 の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計	
第四類（生涯活動教育系）	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数	国	を1	国 数	国語総合・現代文・古典	センター試験	200	200	200	100	200				900
			世B, 日B, 地理B, ※現社, 倫・政経	から2		数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・ 数学B(数列, ベクトル)	個別学力検査	400		400						800
			数Ⅰ・数A	を1			計	600	200	600	100	200				1700
	後期 3月 12日	数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 理 外	数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報	から1	その他	小論文	センター試験	200	200	200	100	200				900
			物基, 化基, 生基, 地学基 物, 化, 生, 地学	から2 又は から2			個別学力検査						300			300
			英, 独, 仏, 中, 韓	から1			計	200	200	200	100	200	300			1200
第五類（人間形成基礎系）	前期 2月 25日	[5又は6教科8科目]	国 外	国語総合・現代文・古典	から1	センター試験	200	200	200	100	200				900	
				リーディング・ライティング, 独, 仏, 中			個別学力検査	400			400					800
							計	600	200	200	100	600				1700
	後期 3月 12日		その他	小論文	センター試験	200	200	200	100	200					900	
					個別学力検査						300			300		
				計	200	200	200	100	200	300			1200			

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。  
2 ※印を付している公民欄については、公民を2科目選択することはできません。  
3 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

### 【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日程	類(系)コース	科目等	内 容	評 価
前期 日程	第 四 類 (生涯活動教育系)	健康スポーツ系 コース	<p>次の①から1種目, ②から2種目, ③から1種目を選択して受験してください。</p> <p>①器械運動, 陸上競技, 水泳  ②バレーボール, バスケットボール, サッカー, テニス(ソフトテニスを除く)  ③柔道, 剣道, ダンス</p> <p>(注意)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>一度届け出た受験種目の変更は認めません。</li> <li>実技検査に適する服装等(シューズは屋内用と屋外用, 防寒着), 用具(競技に必要な個人装備)及びバッグ(会場移動に必要)を各自で用意してください。</li> <li>陸上競技用スパイクシューズとサッカー用スパイクシューズは認めません。</li> <li>剣道の検査で使用する用具(防具・竹刀等)は, すべて大学で用意します。</li> <li>雨天の場合には, 陸上競技, テニスの検査は体育館(板コート)で実施します。</li> <li>万一の病気, けが等に備えて健康保険証を持参してください。</li> </ol>	点数化して評価

日程	類 (系) コース	科目等	内 容	評 価	
前期 日程	第 (生涯活動教育系) 類	音楽文化系 コース	<p>次の①②を受験してください。</p> <p>① コールユーブンゲンの視唱 (大阪開成館発行, No. 48-85 から1曲を当日指定します)</p> <p>② 以下のA又はBから1種目を選択してください。</p> <p>A 演奏 下記より一つを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 声楽: 自由曲を1曲</li> <li>・ ピアノ: L. v. Beethoven ソナタ第1番へ短調作品2の1から第27番短調作品90までの27曲より, ソナタ形式による任意の楽章を1曲</li> <li>・ ヴァイオリン: 任意のヴァイオリン協奏曲より急速楽章を1曲</li> <li>・ その他の楽器: 自由曲を1曲</li> </ul> <p>B 作曲 当日与えられたモチーフによるピアノ小品の作曲 (試験時間は2時間)</p> <p>(注意)</p> <p>(1) ①のコールユーブンゲンについては, 固定ト唱法又は移動ト唱法で歌ってください。</p> <p>(2) ② Aの演奏について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 受験する楽器の種類は問いません。ただし, ピアノ, 電子オルガン, ティンパニ, マリンバ以外の楽器は各自持参してください。</li> <li>なお, 電子オルガンはヤマハステージア ELS-01C 又は EL-900m, マリンバはKOROGI1500F 又はヤマハ YM-400C を使用していただきます。</li> <li>* 受験する曲の楽譜を提出してください。</li> <li>なお, 声楽で受験する場合は実際に演奏する調の楽譜 (ピアノ伴奏付), 器楽のうち管弦打楽器で受験する場合はパート譜のみ提出してください (楽譜には氏名, 高校名等, 個人が特定される内容は記入しないでください)。</li> <li>* 声楽以外は無伴奏で演奏してください。</li> <li>なお, 声楽の伴奏は大学で担当します。</li> <li>* 器楽で受験する場合は, 繰り返しを省略してください。</li> <li>* 演奏は暗譜とします。</li> </ul> <p>(3) 受験楽器と入学後開講される授業科目は必ずしも対応していません。</p> <p>(4) 実技の集合時刻, 場所等については受験票送付時に通知します。</p> <p>(5) 試験当日は上履きを持参してください。</p> <p>(6) 試験当日は15分間の練習時間を設けます。</p>		
		造形芸術系 コース	<p>鉛筆デッサン (石膏像を含む静物)</p> <p>(注意)</p> <p>1 試験時間は5時間です。</p> <p>2 筆記用具以外の材料・用具は, すべて大学で用意します。</p>		
後期 日程	第 (学校教育系) 類	初等教育 教員養成 コース	<p>学校教育及び初等教育に関する基本的な事項について問い, 問題意識, 問題解決能力, 論理的な文章の表現能力, さらに将来初等教育に携わる者としての意欲・態度を総合的に評価します。</p>	点数化 して評価	
		特別支援教育 教員養成 コース	<p>障害のある子どもの教育に携わるための基礎となる, 人とかかわり方や人を理解する態度・姿勢, 問題意識や問題解決能力等について問い, 総合的に評価します。</p>		
	第 (科学文化教育系) 類	自然系 コース	面接		<p>理科の基礎的知識と科学的思考力, 自然科学への興味と学習意欲, 及び理科の教育に対する関心と意欲などを総合的に評価します。</p>
		数理系 コース			<p>「教育」や「学び」についての関心・意欲, 数学についての基本的内容の理解・思考力・表現力, 数学への関心・学習意欲などを総合的に評価します。</p>
		技術・情報系 コース			<p>技術的素養 (情動的素養を含む) や数学的素養, 教育への関心・意欲について問い, 思考力, 表現力等を含めて総合的に評価します。</p>
社会系 コース	<p>高等学校地理歴史科及び公民科の学習を基礎にした問題について試問し, 総合的に評価します。</p>				
第 (生涯活動教育系) 類	健康スポーツ系 コース	実技	<p>次のうちから1種目のみ選択して受験してください。</p> <p>陸上競技, バレーボール, バスケットボール, サッカー, 柔道, 剣道, ダンス, 水泳</p> <p>※ 選択する種目について, 実技実績調査書の提出を求めます。高等学校在学中に競技履歴がある場合は, 最も評価できるものについて, 三つまで, その大会名 (大会のレベルは問いません) を実技実績調査書に記入し, それを証明する資料の提出を併せて求めます。</p> <p>なお, 実技実績調査書及びそれを証明する資料については参考資料として取扱い, 評価の対象としません。</p> <p>(注意)</p> <p>1 一度届け出た受験種目の変更は認めません。</p> <p>2 実技検査に必要な服装 (防寒着を含む), 用具 (剣道の防具・竹刀やスパイクシューズ等競技に必要な個人装備) 及びバッグ (会場移動に必要) を各自で用意してください。</p> <p>3 陸上競技の一部の検査 (トラック種目及び跳躍種目) は, 全天候型グラウンドで実施します。</p> <p>4 雨天の場合には, サッカーの検査は体育館 (板コート) で実施します。</p> <p>5 万一の病気, けが等に備えて健康保険証を持参してください。</p>		
	人間生活系 コース	小論文	<p>人間生活系コースの学問を学ぶ上で必要な基礎学力を問う問題を出題し, 総合的に評価します。</p>		

日程	類(系)コース	科目等	内 容	評 価
後 期 日 程	第(生涯活動教育系)	音楽文化系 コ ー ス	<p>次の①②を受験してください。</p> <p>① 平成20年3月告示中学校学習指導要領に記載されている任意の歌唱共通教材1曲の弾き歌い          &lt;対象とする曲目&gt;          「赤とんぼ」三木露風/作詞 山田耕筰/作曲, 「荒城の月」土井晩翠/作詞 滝廉太郎/作曲, 「早春賦」吉丸一昌/作詞 中田章/作曲, 「夏の思い出」江間章子/作詞 中田喜直/作曲, 「花」武島羽衣/作詞 滝廉太郎/作曲, 「花の街」江間章子/作詞 團伊玖磨/作曲, 「浜辺の歌」林古溪/作詞 成田為三/作曲</p> <p>② 以下のA又はBより1種目を選択してください。          A 演奏 声楽又は任意の楽器による自由曲を1曲          B 作曲 当日与えられたモチーフによるピアノ小品の作曲 (試験時間は2時間)</p> <p>(注意)</p> <p>(1) ①の弾き歌いについて          * 伴奏楽器は任意とします。ピアノ、ギター、アコーディオンなど、楽器の種類は問いません。          * 使用楽譜は任意とします。原譜、簡易伴奏譜、コード伴奏譜、自作伴奏譜など、形式は問いません。          なお、出願時に使用する楽譜を提出してください(楽譜には氏名、高校名等、個人が特定される内容は記入しないでください)。          * 1番の歌詞のみ歌ってください。          * 楽譜を見ながら演奏しても構いません。</p> <p>(2) ②Aの演奏について          * 受験する楽器の種類は問いません。ただし、ピアノ、電子オルガン、ティンパニ、マリンバ以外の楽器は各自持参してください。          なお、電子オルガンはヤマハステージア ELS-01C 又は EL-900m, マリンバは KOROGI1500F 又はヤマハ YM-400C を使用していただきます。          * 受験する曲の楽譜を提出してください。          なお、声楽で受験する場合は実際に演奏する調の楽譜(ピアノ伴奏付), 器楽のうち管弦打楽器で受験する場合はパート譜のみ提出してください(楽譜には氏名、高校名等、個人が特定される内容は記入しないでください)。          * 声楽以外は無伴奏で演奏してください。          なお、声楽の伴奏は大学で担当します。          * 器楽で受験する場合は、繰り返しを省略してください。          * 演奏は暗譜とします。</p> <p>(3) 受験楽器と入学後開講される授業科目は必ずしも対応していません。          (4) 実技の集合時刻、場所等については受験票送付時に通知します。          (5) 試験当日は上履きを持参してください。          (6) 試験当日は15分間の練習時間を設けます。</p>	点 数 化 し て 評 価
		造形芸術系 コ ー ス	<p>次の①②③④の分野のうちから一つのみ選択して受験してください。</p> <p>① 絵画(鉛筆による石膏像デッサン(幾何形体を含まない))          ② 彫刻(粘土による立体表現)          ③ デザイン(ポスターカラーによる平面構成)          ④ 工芸(透明水彩絵具による色彩表現)</p> <p>(注意)</p> <p>1 試験時間は、すべて3時間です。          2 一度届け出た分野の変更は認めません。          3 筆記用具以外の材料・用具は、すべて大学で用意します。</p>	
	第(人間形成基礎系)	教育学系 コ ー ス  心理学系 コ ー ス	小論文	論文や評論や図表などを題材とする問題を出題し、読解力、洞察力、論理的思考力、着想の独自性、文章表現力などを総合的に評価します。

### 【合否判定の基準】

日程	類(系)	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	第一類(学校教育系) 第二類(科学文化教育系) 第三類(言語文化教育系) 第四類(生涯活動教育系) 第五類(人間形成基礎系)	大学入試センター試験及び個別学力検査等の総合点で判定します。 第一類(学校教育系) 初等教育教員養成コース及び特別支援教育教員養成コースは、文科系・理科系の区別なく総合点で判定します。 合格最低点での同点者は、合格とします。
後期日程	第一類(学校教育系) 第二類(科学文化教育系) 第四類(生涯活動教育系) 第五類(人間形成基礎系)	大学入試センター試験及び個別学力検査等の総合点で判定します。 第一類(学校教育系) 初等教育教員養成コース及び特別支援教育教員養成コースは、文科系・理科系の区別なく総合点で判定します。 合格最低点での同点者は、合格とします。

# 法学部

## 【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	総合問題	配点合計					
法 学 科	昼間コース 2月25日	国	国	を1	国	国語総合(近代以降の文章)・現代文	センター試験	200	200	100	100	200		800				
			地歴・公民	世B, 日B, 地理B, ※現社, 倫, 政経, 倫・政経			から2	外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中	から1	個別学力検査	200				200		400
											計	400	200	100	100	400		1200
	夜間主コース	数	数 I・数A, 数 II・数B, 工, 簿, 情報	から1	国	国語総合(近代以降の文章)・現代文	センター試験	200	200	100	100	200		800				
			理	物基, 化基, 生基, 地学基 物, 化, 生, 地学			から2 又は から2	個別学力検査	300							300		
								計	500	200	100	100	200		1100			
	科 昼間コース 3月12日	国	国	を1	その他	総合問題	センター試験(注)	① 200 ② 200	100			200 200		500				
			地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経			から1	個別学力検査							300	300		
								計	① 200 ② 200	100		100		200 200	300 300	800		
	夜間主コース	数	数 I・数A, 数 II・数B, 工, 簿, 情報	から1	その他	総合問題	センター試験(注)	① 200 ② 200	100			200 200		500				
			外	英, 独, 仏, 中, 韓			から1	個別学力検査							300	300		
								計	① 200 ② 200	100		100		200 200	300 300	800		

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。  
 2 ※印を付してある公民欄については、公民を2科目選択することはできません。  
 3 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

(注)大学入試センター試験の地歴・公民, 数学で複数の科目を受験している場合, 次の2パターンのいずれか高得点となる組合せを採用します(各科目の取扱いは, 「実施教科・科目等に関する注意事項」で確認してください)。

- ① 国語1科目, 地歴・公民1科目, 外国語1科目  
 ② 国語1科目, 数学1科目, 外国語1科目  
 なお, 配点欄の①②は上記2パターンに対応しています。

## 【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日程	学科等	科目等	内 容	評 価
後期日程	法 学 科 昼間コース 夜間主コース	総合問題	高等学校全般的学習を前提として, 論文・評論等を題材とし, 法学・政治学・社会学を中心とした社会科学系の学問を学ぶ上で必要な読解力, 論理的思考力, 文章表現力等をみます。 併せて英語の読解力をみる設問を含みます。	点数化して評価

## 【合否判定の基準】

日程	学科等	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	法 学 科 昼間コース 夜間主コース	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 ただし, 判定上順位を定める必要がある場合は, 個別学力検査の得点が高い者を上位者とします。
後期日程	法 学 科 昼間コース 夜間主コース	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 ただし, 判定上順位を定める必要がある場合は, 個別学力検査の得点が高い者を上位者とします。

# 経済学部

## 【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	配点合計		
経済学科	昼間コース	前期 2月25日	国	を1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	200	200	100	200		900	
			地歴・公民	世B, 日B, 地理B, ※現社, 倫, 政経, 倫, 政経 } から2	外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中 } から1	個別学力検査			400		400		800	
			計				200	200	600	100	600		1700		
		夜間主コース	後期 3月12日	数	数Ⅰ・数A を1	外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中 } から1	センター試験	200	200	200	100	200		900
				数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 } から1	個別学力検査							400		400	
				計	200			200	200	100	600		1300		
	昼間コース	後期 3月12日	理	物基, 化基, 生基, 地学基 から2 又は 物, 化, 生, 地学 から2	その他	小論文	センター試験	800	600	100	100	600		2200	
			外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1	個別学力検査							400	400		
			計			800	600	100	100	600	400	2600			
			理科系	[5又は6教科8科目]	センター試験	100	100	800	600	600		2200			
			個別学力検査							400	400				
			計	100	100	800	600	600	400	2600					
夜間主コース	後期 3月12日	その他		その他	小論文	センター試験	400	400	400	300	400		1900		
		個別学力検査								400	400				
		計	400	400	400	300	400	400	2300						

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。  
 2 ※印を付している公民欄については、公民を2科目選択することはできません。  
 3 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。  
 4 昼間コースの「後期日程」に志願する者は、文科系、理科系のいずれか一方を出願時に選択し、受験することになります。受験上の区分であり、高等学校等における文科系、理科系の区分と異なります。入学後の教育プログラムの配属にも関係しません。

## 【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日程	学科等	科目等	内 容	評 価
後期日程	経済学科 昼間コース 夜間主コース	小論文	論文・評論等を題材とし、経済学を学ぶ上での適性をみる問題を出題し、総合的に評価します。	点数化して評価

## 【合否判定の基準】

日程	学科等	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	経済学科 昼間コース 夜間主コース	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。ただし、判定上順位を定める必要がある場合は、個別学力検査の得点が高い者を上位者とします。
後期日程	経済学科 昼間コース 夜間主コース	大学入試センター試験及び個別学力検査等の総合点で判定します。昼間コースは、文科系・理科系の区別なく総合点で判定します。ただし、判定上順位を定める必要がある場合は、個別学力検査等の得点が高い者を上位者とします。

# 理学部

## 【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	総合 問題	面接	配点 合計
数 学 科	前期 2月 25日	国	国を1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200			900
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫・政経 }から1	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学 }から2	個別学力検査			500	250	250			1000
		数	数Ⅰ・数Aを1 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 }から1	外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中 }から1	計	200	100	700	450	450			1900
物 理 学 科		理	物, 化, 生, 地学 から2	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200			900
		外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [5教科7科目]	理	物理基礎・物理を1 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学 }から1	個別学力検査			300	300	300			900
				外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中 }から1	計	200	100	500	500	500			1800
化 学 科				数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200			900
				理	化学基礎・化学を1 物理基礎・物理, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学 }から1	個別学力検査			300	300	300			900
				外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中 }から1	計	200	100	500	500	500			1800
生 物 学 科				数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200			900
				理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学 }から2	個別学力検査			250	400	250			900
				外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中 }から1	計	200	100	450	600	450			1800
地 球 惑 星 シ ス テ ム 学 科						センター試験	200	100	200	200	200			900
						個別学力検査			300	300	300			900
						計	200	100	500	500	500			1800

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。  
 2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	総合問題	面接	配点合計
数学科	後期 3月 12日	数	数Ⅰ・数A を1 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 } から1 物, 化, 生, 地学 から1 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [3教科4科目]	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験			200	100	200			500
						個別学力検査			500					500
						計			700	100	200			1000
物理科学科				その他	総合問題	センター試験			200	200	200			600
						個別学力検査						600		600
						計			200	200	200	600		1200
地球惑星システム学科				その他	面接	センター試験			200	200	200			600
						個別学力検査							200	200
						計			200	200	200		200	800
化学科		数	数Ⅰ・数A を1 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 } から1 物, 化, 生, 地学 から2 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [3教科5科目]	理	化学に関する論述問題を主とする	センター試験			200	200	200			600
						個別学力検査				400				400
						計			200	600	200			1000

(備考) 1 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

### 【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日程	学科等	科目等	内 容	評 価		
後期日程	物理科学科	総合問題	物理（化学の基礎的内容を含む）と数学を合わせた複合問題により物理と数学の応用力をみます。 物理は、新教育課程の「物理基礎・物理」と旧教育課程の「物理Ⅰ・物理Ⅱ」、 数学は、新教育課程の「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（数列、ベクトル）」と旧教育課程の「旧数学Ⅰ、旧数学Ⅱ、旧数学Ⅲ、旧数学A、旧数学B（数列、ベクトル）、旧数学C（行列とその応用、式と曲線）」の共通の範囲から出題します。	点数化して評価		
			化学科		理 科	主として化学（化学基礎・化学）に関する論述問題を課し、基礎学力、科学的思考力等を評価します。 化学は、新教育課程の「化学基礎・化学」と旧教育課程の「化学Ⅰ・化学Ⅱ（注）」の共通の範囲から出題します。 （注）「化学Ⅱ」における「生活と物質」、「生命と物質」の内容は、含みません。
			地球惑星システム学科		面 接	地球惑星科学に関心を持った経緯、大学入学後に勉強したい内容、これからの地球惑星科学に期待すること、について5分程度で発表してもらい、それに基づいて面接を行います。 面接の結果は、地球や惑星への関心、学習意欲、科学的思考力、コミュニケーション能力等を総合的に評価します。

### 【合否判定の基準】

日程	学科等	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	数 学 科	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点の高い順に順位を付け合否を判定します。 ただし、合格者を決定する際の合格最低点での同点者の取扱いは次のとおりとします。 個別学力検査の数学の得点の高い方を上位とし、総合点と個別学力検査の数学の得点がいずれも同点の場合については、同順位とします。 合格最下位順位と同順位者については合格とします。
	物 理 科 学 科	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 個別学力検査における理科2科目の得点を、「物理基礎・物理」を2、その他の科目を1の割合で合計します。 合格最低点での同点者は、合格とします。
	化 学 科 生 物 科 学 科 地 球 惑 星 シ ス テ ム 学 科	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は、合格とします。
後期日程	数 学 科	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点の高い順に順位を付け合否を判定します。 ただし、合格者を決定する際の合格最低点での同点者の取扱いは、次のとおりとします。 個別学力検査の数学の得点の高い方を上位とし、総合点と個別学力検査の数学の得点がいずれも同点の場合については、同順位とします。 合格最下位順位と同順位者については、合格とします。
	物 理 科 学 科 化 学 科	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は、合格とします。
	地 球 惑 星 シ ス テ ム 学 科	大学入試センター試験及び個別学力検査等（面接）の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は、合格とします。

# 医学部

## 【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等																									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計																		
医 学 科	前期 2月 25日 ・ 26日	国	国 を1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200		900																		
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経 } から1											理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物 } から2	個別 学力 検査	A配点		300	1200	300	※	1800								
数	数Ⅰ・数A を1	外	リーディング・ライティング	B配点		600	600	600	600	※	1800																				
理	数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 } から1											その他	面接	A配点	200	100	500	1400	500			2700									
外	物, 化, 生 から2 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [5教科7科目]			B配点	200	100	800	800	800														2700								
	後期 3月 12日	国	国 を1									その他	面接	センター試験	200	100	200	200	200		900										
	地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経 } から1	個別 学力 検査								100											100									
	数	数Ⅰ・数A を1										計								200	100		200	200	200	100	1000				
	理	数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 } から1																													
	外	物, 化, 生 から2 英 を1 [5教科7科目]																													
保 健 学 科	前期 2月 25日	国	国 を1	国	国語総合(近代以降の文章)・ 現代文	センター試験	200	200	200	100	200		900																		
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経 } から2											外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中 } から1	個別 学力 検査	400		400			800									
		数	数Ⅰ・数A を1																				計								1700
			数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 } から1																												
理	物基, 化基, 生基 から2 物, 化, 生 又は から2	[5又は6教科8科目]																													
外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1																														
学 科	前期 2月 25日										国	国 を1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200		900									
											地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経 } から1											外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中 } から1	個別 学力 検査		400	400			800
		数	数Ⅰ・数A を1	計								1700																			
			数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 } から1																												
理	物, 化, 生 から2	[5教科7科目]																													
外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1																														

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。  
 2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。  
 3 ※印が付してある面接は、段階評価を行います。  
 4 表中の医学科前期日程の「A配点」は理科重視型の配点を、「B配点」は一般型の配点を示しています。  
 なお、「A配点」及び「B配点」は、受験者が予め選択するものではありません。  
 5 保健学科に志願する者は、文科系、理科系のいずれか一方を出願時に選択し、受験することになります。受験上の区分であり、高等学校等における文科系、理科系の区分と異なります。入学後の教育プログラムの配属にも関係しません。  
 6 保健学科については、文科系で受験した者と理科系で受験した者から、募集人員の約半数ずつを合格者とします。

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計
保健学科	前期 2月25日・26日	国 地歴・公民 数 理 外	国 国 を1	国語総合(近代以降の文章)・現代文 リーディング・ライティング, 独, 仏, 中 } から1	国 外 その他	センター試験	200	200	200	100	200		900
			倫・政経 } から2										
			数Ⅰ・数A を1	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中 } から1	その他	計	600	200	200	100	600		1700
		数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 } から1	面接										
			理 物基, 化基, 生基 から2 又は 物, 化, 生 から2	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中 } から1	その他	計	200	100	600	200	600		1700
		外 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [5又は6教科8科目]	面接										
			国 国 を1	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中 } から1	数 外 その他	センター試験	200	100	200	200	200		900
		地歴・公民 倫・政経 } から1	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)										
			数 数Ⅰ・数A を1	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中 } から1	その他	計	200	100	600	200	600		1700
		理 物, 化, 生 から2	数学Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 } から1										
			外 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [5教科7科目]	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中 } から1	その他	計	200	100	600	200	600		1700
		理 物, 化, 生 から2	数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 } から1										

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。  
2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。  
3 ※印が付してある面接は、段階評価を行います。  
4 保健学科に志願する者は、文科系、理科系のいずれか一方を出願時に選択し、受験することになります。受験上の区分であり、高等学校等における文科系、理科系の区分と異なります。入学後の教育プログラムの配属にも関係しません。  
5 保健学科については、文科系で受験した者と理科系で受験した者から、募集人員の約半数ずつを合格者とします。

### 【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日程	学科等	科目等	内 容	評 価
前期日程	医 学 科	面 接	個別面接を行い、医療人としての適性について複数の面接員により評価します。	段階評価
	保 健 学 科 作 業 療 法 学 専 攻			
後期日程	医 学 科	面 接	個別面接を行い、勉学意欲、志向、個性、協調性、社会常識などに関する医療人としての適性を総合的に評価します。	点数化して評価

【合否判定の基準】

日程	学 科 等	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	医 学 科	<p><b>※ 2段階選抜</b>            前期日程のみ、志願倍率が10倍を超える場合には、大学入試センター試験の成績により第1段階の選抜を実施することがあります。            第1段階選抜を行う場合は、【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄に掲げる大学入試センター試験の各教科・科目の配点合計(900点満点)により行い、合計点の上位から合格とします。</p> <p>大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点並びに個別学力検査等(面接)の評価で合否を判定し、下記(注)の場合を除いて総合点の上位から順次合格とします。            合格者の決定は、まず「A配点」(理科重視型)を用いて募集人員の1/2(募集人員が奇数の場合は端数を切り上げた人数)の合格者を決定し、次に「B配点」(一般型)を用いて残りの合格者を決定します。            それぞれの合格者を決定する際の合格最低点での同点者の取扱いは次のとおりとします。            ・「A配点」(理科重視型)では、個別学力検査の理科の得点が高い者、さらに同点の場合はセンター試験の理科の得点が高い者、さらに同点の場合は、個別学力検査の外国語の得点が高い者を合格とします。            ・「B配点」(一般型)では、個別学力検査の合計点が高い者、さらに同点の場合は、個別学力検査における外国語の得点が高い者、さらに同点の場合は個別学力検査における理科の得点が高い者を合格とします。</p> <p>面接は複数の面接員で医療人としての適性を評価し、A(入学させてもよい)、B(入学させたくない)の2段階評価を行います。</p> <p>(注)総合点の順位に関係なく不合格とする場合            ・個別学力検査のいずれかの科目の得点が、学科受験者の平均点の60%に満たない場合            ・面接員全員がB(入学させたくない)と評価した場合</p>
	保 健 学 科 看 護 学 専 攻 理 学 療 法 学 専 攻	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で合否を判定します。            個別学力検査のいずれかの科目の得点が、各専攻受験者の平均点の60%に満たない場合は、不合格とします。</p> <p>文科系及び理科系で受験した者から、専攻ごとに募集人員の約半数ずつを合格とします。            合格最低点での同点者は、合格とします。</p>
	保 健 学 科 作 業 療 法 学 専 攻	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点並びに個別学力検査等(面接)の評価で合否を判定し、下記(注)の場合を除いて総合点の上位から順次合格とします。            文科系及び理科系で受験した者から、募集人員の約半数ずつを合格とします。            合格最低点での同点者は、合格とします。            面接は複数の面接員で医療人としての適性を評価し、A(入学させてもよい)、B(入学させたくない)の2段階評価を行います。</p> <p>(注)総合点の順位に関係なく不合格とする場合            ・個別学力検査のいずれかの科目の得点が、専攻受験者の平均点の60%に満たない場合            ・面接員全員がB(入学させたくない)と評価した場合</p>
後期日程	医 学 科	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査等(面接)の総合点(以下総合点)で判定し、下記(注)の場合を除いて総合点の上位から順次合格とします。            合格最低点での同点者は、個別学力検査等(面接)の得点が高い者、さらに同点の場合は大学入試センター試験における外国語の得点が高い者、さらに同点の場合は大学入試センター試験における理科の得点が高い者を合格とします。            面接試験(個別面接)において、複数の面接員が、A(是非入学させたい)、B(できれば入学させたい)、C(できれば入学させたくない)、D(入学させたくない)の4段階評価を行い、評価Aを25点、評価Bを20点、評価Cを5点、評価Dを0点にそれぞれ換算し、面接員の合計点をもって個別学力検査等(面接)の得点とします。</p> <p>(注)総合点の順位に関係なく不合格とする場合            ・大学入試センター試験のいずれかの科目の得点が、学科受験者の平均点の60%に満たない場合            ・面接点が25点以下の場合</p>

# 歯学部

## 【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計	
歯学	前期 2月25日・26日	国	国	を1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200			900
		地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経	から1	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物	個別学力検査			400	400	400	※	1200	
		数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報	を1 から1	外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中	計	200	100	600	600	600			2100
歯学	後期 3月12日・13日	理	物, 化, 生	から2	その他	面接	センター試験	200	100	200	200	200		900	
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	その他	小論文	個別学力検査						450	300	750
			[5教科7科目]			面接	計	200	100	200	200	200	450	300	1650
口腔保健専攻	前期 2月25日・26日	国	国	を1	国	国語総合(近代以降の文章)・ 現代文	センター試験(注2)	① 200 ② 200 ③ 200	200 200 100	100 100 100	100 100 200	200 200 200			800
		地歴・公民(注1)	世B, 日B, 地理B, 倫・政経	から1 又は2	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・ 数学B(数列, ベクトル)	個別学力検査(注3)	(1)	200				200	200	600
		数	数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報	から1	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物	計	(2)			200		200	200	
口腔保健専攻	後期 3月12日	理(注1)	物基, 化基, 生基 物, 化, 生	から2 又は1又は2	外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中	センター試験(注4)	(1) ① 400 ② 400 ③ 400	200 200 100	100 100 100	100 100 200	400 400 400	200 200 200	1400	
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	その他	面接	(2) ① 200 ② 200 ③ 200	200 200 100	300 300 300	100 100 200	400 400 400		200 200 200		
			[5又は6教科6又は7科目]				(3) ① 200 ② 200 ③ 200	200 200 100	100 100 100	300 300 400	400 400 400		200 200 200		
口腔工学専攻	前期 2月25日・26日	国	国	を1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験(注4)	① 200 ② 200	100 100	100 200	200 100	200 200			800
		地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経	から1	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物	個別学力検査				200	100	200	※	500
		数	数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報	から1 又は2	外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中	計	① 200 ② 200	100 100	300 400	300 200	400 400			1300
口腔工学専攻	後期 3月12日	理	物, 化, 生	から1 又は2	その他	面接	センター試験(注4)	① 200 ② 200	100 100	100 200	200 100	200 200		800	
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	その他	面接	個別学力検査						200	200	
			[5教科6科目]				計	① 200 ② 200	100 100	100 200	200 100	200 200	200 200		1000

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。  
 2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。  
 3 ※印が付してある面接は、段階評価を行います。

- (注1) 大学入試センター試験の地歴・公民と理科の科目については、以下の3パターンのいずれかを満たすように受験していることが必要です。  
 ① 地歴及び公民については表中の4科目から2科目と、理科については物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目  
 ② 地歴及び公民については表中の4科目から2科目と、理科については物理、化学、生物から1科目  
 ③ 地歴及び公民については表中の4科目から1科目と、理科については物理、化学、生物から2科目

- (注2) 大学入試センター試験の地歴・公民、数学、理科で複数の科目を受験している場合、次の3パターンのいずれかで、最も高得点となる組合せを採用します(各科目の取扱いは、「実施教科・科目等に関する注意事項」で確認してください)。  
 ① 国語1科目、地歴・公民2科目、数学1科目、理科2科目(物理基礎、化学基礎、生物基礎から)、外国語1科目  
 ② 国語1科目、地歴・公民2科目、数学1科目、理科1科目(物理、化学、生物から)、外国語1科目  
 ③ 国語1科目、地歴・公民1科目、数学1科目、理科2科目(物理、化学、生物から)、外国語1科目  
 なお、配点欄の①②③は上記3パターンに対応しています。
- (注3) 前期日程の個別学力検査は、(1)[国語、外国語]、(2)[数学、外国語]、(3)[理科、外国語]の三つの組合せから出願時に一つを選択して、志願票及び受験票に記入してください。なお、「面接」は志願票等に記入する欄がありません。
- (注4) 大学入試センター試験の地歴・公民、数学、理科で複数の科目を受験している場合、次の2パターンのいずれかで、最も高得点となる組合せを採用します(各科目の取扱いは、「実施教科・科目等に関する注意事項」で確認してください)。  
 ① 国語1科目、地歴・公民1科目、数学1科目、理科2科目、外国語1科目  
 ② 国語1科目、地歴・公民1科目、数学2科目、理科1科目、外国語1科目  
 なお、配点欄の①②は上記2パターンに対応しています。

### 【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日 程	学 科 等	科 目 等	内 容	評 価
前 期 日 程	歯 学 科	面 接	歯科医学・医療や生命科学への関心、学習意欲、医療人として必要なコミュニケーション能力や協調性、問題解決能力などを総合的に評価します。	段階評価
			学習意欲、探求心、医療従事者に必要なコミュニケーション能力や協調性、問題解決能力及び社会常識等について総合的に評価します。	点数化して評価
			学習意欲、探求心、医療従事者に必要なコミュニケーション能力や協調性、問題解決能力及び社会常識等について総合的に評価します。	段階評価
後 期 日 程	歯 学 科	小論文	1問あるいは2問の設問に対して小論文を作成します。 日本語の表現能力を含む高校生としての基礎学力、論理的な思考力、豊かな感性に加え、歯科医師あるいは歯科医学の研究者・教育者に必要な、全人的なものの見方、倫理観などを総合的に評価します。	点数化して評価
		面 接	歯科医学・医療や生命科学への関心、学習意欲、医療人として必要なコミュニケーション能力や協調性、問題解決能力などを総合的に評価します。	
		面 接	学習意欲、探求心、医療従事者に必要なコミュニケーション能力や協調性、問題解決能力及び社会常識等について総合的に評価します。	

### 【合否判定の基準】

日 程	学 科 等	合 否 を 判 定 す る 基 準
前 期 日 程	歯 学 科	大学入試センター試験と個別学力検査の総合点で順位をつけます。 同点の場合は、個別学力検査の合計点の高い順、さらに同点の場合は、個別学力検査のうち、外国語の得点の高い順、さらに同点の場合は、個別学力検査等(面接)の評価を加味して順位をつけます。 なお、個別学力検査等(面接)においては、複数の面接員で歯科医療人としての適性を評価し、最終的にA(受入可)、B(受入不可)の評価を決定します。Bの場合は、大学入試センター試験と個別学力検査の総合点に関わらず不合格となります。
		大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点で順位をつけます。 合格最低点での同点者は合格とします。
		大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点で順位をつけます。 合格最低点での同点者は合格とします。 なお、個別学力検査等(面接)においては、複数の面接員で歯科医療人としての適性を評価し、最終的にA(受入可)、B(受入不可)の評価を決定します。Bの場合は、大学入試センター試験と個別学力検査の総合点に関わらず不合格となります。
後 期 日 程	歯 学 科	大学入試センター試験と個別学力検査等(小論文及び面接)の総合点で順位をつけます。 同点の場合は個別学力検査等の合計点の高い順、さらに同点の場合は個別学力検査等のうち、小論文の得点の高い順とします。
		大学入試センター試験と個別学力検査等(面接)の総合点で順位をつけます。 合格最低点での同点者は合格とします。

# 薬学部

## 【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	配点合計	
薬学 薬科学 薬科学科	前期 2月 25日	国	国	を1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200	900
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経	から1	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物							
		数	数Ⅰ・数A	を1	外	リーディング・ライティング, 独, 仏, 中	から1	個別学力検査		400	400	400	1200
			数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報	から1									
	理	物, 化, 生	から2										
	外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1										
		[5教科7科目]											
						計	200	100	600	600	600	2100	

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。  
 2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

## 【合否判定の基準】

日程	学科等	合否を判定する基準
前期日程	薬学科 薬科学科	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 個別学力検査のいずれかの科目の得点が、学科受験者の平均点の60%に満たない場合は、不合格とします。 合格最低点での同点者は、合格とします。

# 工学部

## 【実施教科・科目及び配点等】

類 (系)	区分・ 日程	大学入試センター試験 の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接	配点 合計		
第一類(機械システム工学系)	前期 2月 25日	国	国を1	数 理 外	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列,ベクトル)  物理基礎・物理, 化学基礎・化学  リーディング・ライティング, 独, 仏, 中	センター試験	200	100	200	200	200			900	
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経 }から1			を2	個別学力検査			600	600	400			1600
		数	数Ⅰ・数A を1 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 }から1			から1		計	200	100	800	800	600		
		理 外	物 を1 化 を1 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [5教科7科目]												
第二類(電気・電子・システム・情報系)		国	国を1	数 理 外	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列,ベクトル)  物理基礎・物理, 化学基礎・化学  リーディング・ライティング, 独, 仏, 中	センター試験	200	100	200	200	200			900	
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経 }から1			を2	個別学力検査			500	500	500			1500
		数	数Ⅰ・数A を1 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 }から1			から1		計	200	100	700	700	700		
		理 外	物, 化, 生, 地学 から2 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [5教科7科目]												
第三類(化学・バイオプロセス系)		国	国を1	数 理 外	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列,ベクトル)  物理基礎・物理, 化学基礎・化学  リーディング・ライティング, 独, 仏, 中	センター試験	200	100	200	200	200			900	
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経 }から1			を2	個別学力検査			400	400	300			1100
		数	数Ⅰ・数A を1 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 }から1			から1		計	200	100	600	600	500		
		理 外	物, 化, 生, 地学 から2 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [5教科7科目]												
第四類(建設・環境系)		国	国を1	数 理 外	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列,ベクトル)  物理基礎・物理, 化学基礎・化学  リーディング・ライティング, 独, 仏, 中	センター試験	200	100	200	200	200			900	
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経 }から1			を2	個別学力検査			400	400	400			1200
		数	数Ⅰ・数A を1 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 }から1			から1		計	200	100	600	600	600		
		理 外	物, 化, 生, 地学 から2 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [5教科7科目]												

(備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。  
 2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

類(系)	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計	
第一類(機械システム工学系)	後期 3月 12日	数	数Ⅰ・数A	を1	その他	面接	センター試験			200	200	200		600
			数Ⅱ・数B	を1			個別学力検査						100	100
			理 物	を1			計			200	200	200	100	700
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1										
			[3教科5科目]											
第二類(電気・電子・システム・情報系)		数	国	を1			センター試験	100		400	400	400		1300
			数Ⅰ・数A	を1			個別学力検査					100	100	
			数Ⅱ・数B	を1			計	100		400	400	400	100	1400
		理 物	を1											
		外	化, 生	から1										
			[4教科6科目]											
第三類(化学・バイオ・プロセス系)		数	数Ⅰ・数A	を1			センター試験			200	200	200		600
			数Ⅱ・数B	を1			個別学力検査					100	100	
			理 物	を1			計			200	200	200	100	700
		外	化, 生	から1										
			[3教科5科目]											
第四類(建設・環境系)							センター試験			200	200	200		600
							個別学力検査					100	100	
							計			200	200	200	100	700

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。  
2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日 程	類 (系)	科目等	内 容	評 価
後期日程	第 一 類 (機械システム工学系)	面 接	機械工学に対する意欲・志向について質問し、その応答から個性の豊かさ・適性などについて総合的に評価します。	点 数 化 して 評 価
	第 二 類 (電気・電子・システム・情報系)		科学技術への関心や論理的思考力、学習意欲、適性などに関して総合的に評価します。	
	第 三 類 (化学・バイオ・プロセス系)		勉学に対する意欲・志向についての質問、並びに数学、化学の簡単な口頭試問を行い、科学的思考力、対応の仕方・態度を通して総合的に評価します。	
	第 四 類 (建設・環境系)		数学、理科、外国語(英語)を含む簡単な質問を行い、論理的思考力、説明能力、適性などを総合的に評価します。	

【合否判定の基準】

日 程	類 (系)	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	第 一 類 (機械システム工学系)	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。
	第 二 類 (電気・電子・システム・情報系)	
	第 三 類 (化学・バイオ・プロセス系)	
	第 四 類 (建設・環境系)	
後期日程	第 一 類 (機械システム工学系)	大学入試センター試験及び個別学力検査等(面接)の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。
	第 二 類 (電気・電子・システム・情報系)	
	第 三 類 (化学・バイオ・プロセス系)	
	第 四 類 (建設・環境系)	

# 生物生産学部

## 【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・ 日程	大学入試センター試験 の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接	配点 合計		
生物 生産 学科	前期 2月 25日	国	国	を1	数 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200		900		
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫・政経	から1			理 物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学	個別学力検査			400	400	200		1000
		数	数Ⅰ・数A	を1					外 リーディング・ライティング, 独, 仏, 中	計	200	100	600	600	400
	後期 3月 12日	理	物, 化, 生, 地学	から2	その他 面接	センター試験	200	100			200	200	200		900
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1			個別学力検査							300	300
			[5教科7科目]					計	200	100	200	200	200	300	1200

(備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。

2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

## 【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日 程	学 科 等	科 目 等	内 容	評 価
後期日程	生物生産学科	面 接	生物生産学に対する関心や志向, 日頃の問題意識, 発想の豊かさ, 説明能力, 態度などを総合的に評価します。	点数化して評価

## 【合否判定の基準】

日 程	学 科 等	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	生物生産学科	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。
後期日程	生物生産学科	大学入試センター試験及び個別学力検査等(面接)の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

## 12 受験者の宿泊について

受験者の宿泊については、本学では斡旋しません。各自で手配してください。

## 13 受験者の注意事項

### (1) 試験日程

「前期日程」（18 ページ）及び「後期日程」（19 ページ）の個別学力検査等日程をよく確認してください。

また、試験当日までの天候等にも注意し、余裕をもって試験場へ到着できるようにしてください。

### (2) 受験教科・科目

志望する学部・学科等が指定したすべての教科・科目を受験しなければなりません。

一部の教科・科目を受験しなかった者は、受験を放棄したものとみなして欠席扱いとし、合格者選考の対象となりません。

### (3) 携行品

- ① 広島大学入学試験受験票、大学入試センター試験受験票、筆記用具及び時計を持参してください。筆記用具や時計などで机の上に置けるものについては、次ページの「(8) 受験上の注意事項」②を参照してください。
- ② 教育学部第四類（生涯活動教育系）健康スポーツ系コース及び音楽文化系コースの実技検査は上記以外に 32～34 ページの【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】でそれぞれ指示したものを持参してください。

### (4) 試験場・試験室

- ① 15 ページの「7 試験場案内」、16 ページの「東広島キャンパス試験場（東広島市鏡山一丁目）」及び17 ページの「霞キャンパス試験場（広島市南区霞一丁目2番3号）」により確認してください。
- ② 志願者数により試験場を変更することがあります。変更する場合は、受験票を発送する際、詳細を通知します。
- ③ 「前期日程」及び「後期日程」の各試験日前日の各キャンパス構内の下見は可能ですが、試験場の建物内へ入ることはできません。  
なお、各学部試験場には、試験前日の午前 10 時までに「受験者心得（試験場・試験室案内図等）」を掲示します。

### (5) 入学試験の実施が困難な場合、又は試験開始時刻を繰り下げる場合等について

天候の悪化、流行性の伝染病等により入学試験の予定どおりの実施が困難な場合、又は交通機関の混乱等により当初の試験開始時刻での実施が困難な場合は、以下のホームページ及び携帯ウェブサイトにて延期又は開始時刻繰り下げ等の対応をお知らせします。携帯電話、スマートフォン、パソコン等でご確認ください。

	広島大学公式ホームページ <a href="http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html">http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html</a>	 公式 HP	 携帯サイト
	広島大学公式携帯ウェブサイト <a href="http://www.hiroshima-u.ac.jp/m/">http://www.hiroshima-u.ac.jp/m/</a>		

また、以下のソーシャルメディア等でも情報を発信します。

広島大学公式 Twitter	広島大学公式 Facebook	広島大学入試 LINE@
		

### (6) 集合時刻・試験室への入退室

- ① 各教科の試験開始 30 分前までに試験場に集合してください。
- ② 各教科の試験開始 20 分前には試験室に入室し、監督者入室後は監督者の指示に従ってください。
- ③ 試験開始から試験終了（監督者が「退室許可」の指示等を出す）までは、退室を認めません。ただし、試験中の発病又はトイレ等のやむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。

## (7) 遅刻者

試験開始後 30 分を超えたときは、試験室に入室できません。  
この場合は、受験する学部の試験場本部に申し出てください。

## (8) 受験上の注意事項

- ① 試験室の所定の座席に着席後は、本学受験票及び大学入試センター試験受験票を、受験番号札の手前に置いてください。
- ② 机には、**本学受験票、大学入試センター試験受験票**、配付した問題紙等、**鉛筆**（和歌・格言等が印刷されているものは不可）、**シャープペンシル**、**消しゴム**、**鉛筆削り**（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）、**定規**、**コンパス**、**時計**（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものを除く）、**眼鏡**、**ハンカチ**、**ティッシュペーパー**（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、**目薬**のほかは置くことができません。これ以外の所持品を使用又は机上に置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。
- ③ **電卓**、**そろばん**、**グラフ用紙**等の補助具や、**電子辞書**、**携帯電話**、**スマートフォン**、**腕時計型端末**、**IC レコーダー**等の電子機器類は使用できません。試験時間中にこれらを使用すると**不正行為となります**。
- ④ 試験時間中に使用すると不正行為となる**電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。**  
なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話、スマートフォン等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、当該試験科目終了まで、試験場本部で預かります。
- ⑤ 耳せんは、監督者の指示が聞こえない場合があるので使用できません。
- ⑥ **漢字、英文字及び地図等がプリントされている服等は、着用しないでください。**着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- ⑦ 「座布団」「ひざ掛け」の使用を希望する場合は、監督者に申し出て許可を受けてから使用してください。

## (9) 不正行為

不正行為の取扱いについては、大学入試センター試験に準じて行います。

配付された問題紙等は、その試験時間が終了するまで、試験室から持ち出すことはできません。持ち出した場合は、不正行為となります。

不正行為があったときは、直ちに受験の中止と退室を命じ、その後の受験を認めません。

また、本学の当該試験日程で受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。

## (10) その他

- ① 試験当日は、本学構内の食堂、売店等の一部は営業する予定ですが、混雑が予想されますので、昼食等はなるべく持参してください。

なお、昼食を試験室内で取ることは構いませんが、弁当殻等は必ず持ち帰ってください。

- ② 受験に際しては、体調管理が大切です。特に近年問題となっている麻疹（はしか）やインフルエンザは感染力も非常に強く、予防のためには、ワクチン接種が効果的です。麻疹（はしか）にかかったことがなく、ワクチンを受けたことのない人は、かかりつけの医師にご相談ください。また、日頃から体調を整え、うがいや手洗いの励行などにも留意してください。

## 14 入学試験に関する問合せ

学部独自の出願に関する事項（インターネット出願を除く）、その他について照会するときは、出願する（した）学部の入試担当（裏表紙参照：法学部及び経済学部の夜間主コースは、各学部の昼間コース）へ照会してください。

なお、郵便での問合せには、返信用封筒（郵便番号、住所、氏名を明記し返信料分の切手を貼付）を同封してください。

## 15 入試情報サービス

出願状況、合格者の受験番号及び追加合格等の実施の有無等についてお知らせします。

本学ホームページのトップページに掲載する「お知らせ」をご覧ください。

広島大学ホームページ <http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>



## 16 合格者発表

下記の合格者発表日時に、全学部の合格者の受験番号を東広島キャンパス中央図書館前（裏表紙裏面の「広島大学位置図」を参照）に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」及び入学手続等の詳細を記載した「入学生の手引」等をレターパックプラス（対面で届けられ、受領印又は署名が必要な郵便）で郵送します。

なお、電話等による可否の問合せには応じません。

### 合格者発表日時

区 分	日 時
前期日程	平成 27 年 3 月 6 日（金） 12 時（予定）
後期日程	平成 27 年 3 月 20 日（金） 12 時（予定）

（注）1 法学部、経済学部の合格者の受験番号は、東千田キャンパスでも掲示します。

※ 広島市中区東千田町一丁目 1 番 89 号 裏表紙裏面の「広島大学位置図」を参照のこと。

2 医学部、歯学部、薬学部の合格者の受験番号は、霞キャンパスの医学部基礎・社会医学棟前にも掲示します。

※ 広島市南区霞一丁目 2 番 3 号 裏表紙裏面の「広島大学位置図」を参照のこと。

3 広島大学及び最寄りの JR 駅・バス停周辺での可否電報（電子メールを利用した可否連絡などの類似行為を含む）の予約等について、広島大学は一切関与していません。

### 合格者の情報提供

各日程の合格者発表後、本学ホームページで全学部の合格者の受験番号をお知らせします。

本学ホームページでの発表は、本学の情報提供の一環として行うものであり、公式の合格者発表は、合格通知書の郵送及び本学掲示板による掲示となります。

広島大学ホームページアドレス <http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>

#### 【掲載期間】

前期日程：平成 27 年 3 月 6 日（金）12 時から 3 月 13 日（金）午後 5 時まで

後期日程：平成 27 年 3 月 20 日（金）12 時から 3 月 26 日（木）午後 5 時まで

掲載期間中は、インターネット回線の混雑により本学ホームページに繋がりにくいことがあります。

また、掲載終了時間は多少前後することがあります。

## 17 入学手続

入学手続期間及び手続方法等、次の事項に十分注意して入学手続を完了してください。

### (1) 入学手続期間

区 分	日 時 等
前期日程	<p><b>平成 27 年 3 月 6 日（金）から 3 月 13 日（金）午後 5 時まで 郵送（必着）</b></p> <p>※ やむを得ない事情により 3 月 13 日（金）午後 5 時までに郵送による入学手続ができない場合に限り、3 月 13 日（金）午後 5 時までに合格した学部の入試担当（裏表紙参照：法学部及び経済学部の夜間主コースは、各学部の夜間主コース）に電話連絡の上、3 月 14 日（土）又は 3 月 15 日（日）の午前 9 時から午後 5 時までに、持参による入学手続を認めることがあります（郵送不可）。この場合、3 月 13 日（金）午後 3 時までに入学料を銀行等で納入しておく必要があります。</p>
後期日程	<p><b>平成 27 年 3 月 20 日（金）から 3 月 26 日（木）午後 5 時まで 郵送（必着）</b></p> <p>※ やむを得ない事情により 3 月 26 日（木）午後 5 時までに郵送による入学手続ができない場合に限り、3 月 26 日（木）午後 5 時までに合格した学部の入試担当（裏表紙参照：法学部及び経済学部の夜間主コースは、各学部の夜間主コース）に電話連絡の上、3 月 27 日（金）の午前 9 時から午後 5 時までに、持参による入学手続を認めることがあります（郵送不可）。この場合、3 月 26 日（木）午後 3 時までに入学料を銀行等で納入しておく必要があります。</p>

## (2) 入学手続書類送付先

裏表紙を参照してください。

※ 法学部及び経済学部の夜間主コースは出願書類の提出先と異なり、東千田地区支援室に送付することになりますので、注意してください。

問合せ先：

区分	担当	受付時間（土日・祝日を除く）
法学部・経済学部 夜間主コース	東千田地区支援室	午後1時から午後9時まで
その他の学部・学科等	各学部入試担当	午前9時から午後5時まで

## (3) 入学手続方法

合格した学部の入試担当（裏表紙参照）へ、入学手続期間内に以下の提出書類を書留速達郵便で郵送（必着）してください。

## (4) 提出書類

	提出書類	備 考
①	入学料振込証明書【C票】	「入学生の手引」（合格通知書に同封）添付の所定用紙
②	誓約書	「入学生の手引」添付の所定用紙
③	大学入試センター試験受験票	再発行を受けた場合は、再発行された受験票を提出
④	広島大学入学試験受験票	
⑤	写真票	「入学生の手引」添付の所定用紙 写真1枚「縦4cm×横3cm」（カラー、上半身、脱帽、正面向きで最近3か月以内に撮影したもの）を貼付 写真の裏面に受験番号、氏名を記入
⑥	外国語の履修に関する調査票	「入学生の手引」添付の所定用紙
⑦	卒業証明書、修了証明書又は 高等学校卒業程度認定試験 合格証明書	卒業見込み、修了見込み又は高等学校卒業程度認定試験を合格見込みで受験した者のみ提出
⑧	受験票返信用封筒	「入学生の手引」添付の所定用紙
⑨	その他	学部が指定する書類等

## (5) 納入金

区 分	金 額	支払い時期
入学料	282,000 円 (夜間主コースは 141,000 円)	入学手続時に支払い
授業料（年額）	535,800 円 (夜間主コースは 267,900 円)	5月・10月に半期分 を支払い (又は、5月に年額を 一括して支払い)

ただし、上記記載の金額は、平成26年4月現在のものです。

- (注)
- 1 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
  - 2 入学料の改定が行われた場合には、改定後の金額を納入することになります。
  - 3 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料を納入することになります。

<納入方法>

ア 入学料は、合格通知書送付時に同封する「入学生の手引」添付の振込用紙で、入学手続き期間中に、銀行振込してください。

イ 授業料は、入学後（平成 27 年 4 月下旬）に振込用紙を学資負担者宛に送付しますので、この振込用紙で銀行振込してください。

ウ 納入金の額及び具体的な納入方法等の詳細並びに入学料、授業料の免除及び徴収猶予については、合格通知書送付時に同封する「入学生の手引」でお知らせします。

## ※ 長期履修学生制度について

次の①～③のいずれかに該当する者を対象として、標準の修業年限を超えて一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修して卒業することができる制度があります。

- ① 職業を有し、かつ、就業している者（アルバイトとして就業する者を含む。）で、学修時間の確保が著しく困難であるもの
- ② 家庭において家事、育児及び介護を行う者で、学修時間の確保が著しく困難であるもの
- ③ 本学フェニックス入学制度により入学した者

この制度による授業料は、標準の修業年限分の授業料総額を計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で分割して納めることとなります。

なお、本制度適用の可否や長期履修期間の年限等については、各学部で異なりますので、志望する学部の入試担当（裏表紙参照：法学部及び経済学部の夜間主コースは、各学部の夜間主コース）に照会してください。

## (6) 入学手続きに関する注意事項

- ① 合格者のうち本学への入学の意志が無く、入学を辞退する場合は、「**入学辞退届**」（様式は任意ですが、受験した学部・学科（類）等の名称、受験番号、住所、氏名、入学を辞退する理由等を自筆で記入してください）を合格した学部の入試担当（裏表紙参照：法学部及び経済学部の夜間主コースは、各学部の夜間主コース）へ、郵送により、前期日程は平成 27 年 3 月 13 日（金）午後 2 時まで、後期日程は平成 27 年 3 月 26 日（木）午後 2 時までに提出してください。

なお、上記締切までに入学辞退届を郵送する時間的余裕がない場合は、合格した学部の入試担当（裏表紙参照：法学部及び経済学部の夜間主コースは、各学部の夜間主コース）へ電話連絡した後、「入学辞退届」を FAX にて速やかに送付した上で、本紙を速達で郵送してください。

- ② **入学手続き期間中に入学手続きを完了しない場合は、本学への入学を辞退したものと扱われます。**
- ③ 本学に入学手続きを完了した者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続きをすることはできません。  
また同様に、他の国公立大学に入学手続きを完了した者は、これを取り消して本学に入学手続きをすることはできません。
- ④ 省庁大学校に入校手続きを完了した後本学の一般入試に合格し、かつ、本学への入学意志のある者は、必ず省庁大学校に入学辞退の手続を行った上で、本学の入学手続きを行ってください。
- ⑤ 「前期日程」合格者が入学手続きを完了した場合は、「後期日程」を受験しても、当該大学の合格者にはなりません。

また、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、合否及び入学手続等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

- ⑥ 入学手続き完了後、高等学校等の課程を卒業（修了）しないなどの事由が生じた場合は、入学を取り消します。
- ⑦ 入学手続き完了後、理由の如何に関わらず入学を辞退する場合は、平成 27 年 3 月 31 日（火）午後 5 時までに必ず合格した学部の入試担当（裏表紙参照：法学部及び経済学部の夜間主コースは、各学部の夜間主コース）へその旨連絡してください。

なお、入学手続き完了後に入学を辞退した場合は、入学料の返還はできません。

また、平成 27 年 4 月 1 日（水）以降は授業料を支払った上で退学することになりますので、ご注意ください。

## 18 欠員補充

合格者又は入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、「追加合格」による欠員補充を行うことがあります。

また、必要に応じて、「欠員補充第2次募集」により欠員補充を行うこともあります。

### 追加合格又は欠員補充第2次募集実施の有無の情報提供

平成27年3月28日(土)から3月31日(火)まで本学ホームページで全学部・学科等の追加合格又は欠員補充第2次募集の有無をお知らせします。

ホームページアドレス <http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>

#### (1) 追加合格

事 項	内 容
実施予定学部	入学手続完了者が、入学定員に満たない学部・学科等
追加合格対象者	いずれの国公立大学にも入学手続をしていない者
実施予定期間	平成27年3月28日(土)から3月31日(火)まで インターネット出願で登録した「志願者住所・連絡先(合格通知等送付先)」又は志願票等記入による出願で提出した入学志願票の「志願者連絡先」の連絡先へ、電話等により直接本人に連絡します。 本学からの連絡が確実に受けられるよう所在を明らかにしておいてください。
入学手続	追加合格者の入学手続は、51ページからの「17 入学手続」に準じて行いますが、詳細は、追加合格通知の際に連絡します。 (注) 国公立大学に入学手続を完了した者は、これを取り消して本学への入学手続を行うことはできません。

#### (2) 欠員補充第2次募集

合格者又は入学手続完了者が入学定員に満たない学部・学科等を対象に、必要に応じて、「欠員補充第2次募集」を行うことがあります。

募集人員、出願に関する資格・期間・手続、選考方法及び入学手続等は、実施する場合に本学ホームページに掲載する「欠員補充第2次学生募集要項」により確認してください。

なお、実施する場合の平成27年度大学入試センター試験の利用教科・科目は、本学の各学部・学科等が指定した「前期日程」の教科・科目(ただし、工学部のみ「後期日程」の教科・科目)となります。

## 学部・学科等のアドミッション・ポリシー

広島大学では、学生の皆さん一人ひとりに応じたよりきめ細かい学習サポートを実現し、教育の質の向上、社会からの信頼に対応するため、「HiPROSPECTS® (到達目標型教育プログラム)」を実施しています。学部・学科等の下に主専攻プログラムを設け、学位の取得を目的として、教養教育及び専門教育を全学年間に一貫的及び調和的に複合させるように編成しています。

各学部・学科等のアドミッション・ポリシーは、主専攻プログラムのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、募集単位毎に設定されています。

学部	学科・類・コース・専攻		主専攻プログラム名	
総合科学部	総合科学科		総合科学プログラム	
文学部	人文学科		哲学・思想文化学プログラム	
			歴史学プログラム	
			地理学・考古学・文化財学プログラム	
			日本・中国文学語学プログラム	
			欧米文学語学・言語学プログラム	
教育学部	第一類 (学校教育系)	初等教育教員養成コース	初等教育教員養成プログラム	
		特別支援教育教員養成コース	特別支援教育教員養成プログラム	
	第二類 (科学文化教育系)	自然系コース	中等教育科学(理科)プログラム	
		技術・情報系コース	中等教育科学(数学)プログラム	
		社会系コース	中等教育科学(技術・情報)プログラム	
	第三類 (言語文化教育系)	国語文化系コース	中等教育科学(国語)プログラム	
		英語文化系コース	中等教育科学(英語)プログラム	
		日本語教育系コース	日本語教育プログラム	
	第四類 (生涯活動教育系)	健康スポーツ系コース	健康スポーツ教育プログラム	
		人間生活系コース	人間生活教育プログラム	
		音楽文化系コース	音楽文化教育プログラム	
	第五類 (人間形成基礎系)	造形芸術系コース	造形芸術教育プログラム	
		教育学系コース	教育学プログラム	
		心理学系コース	心理学プログラム	
	法学部	法学科		公共政策プログラム
ビジネス法務プログラム				
経済学部	経済学科		法政総合プログラム	
			現代経済プログラム	
理学部	数学科		経済・経営統合プログラム	
	物理科学科		数学プログラム	
	化学科		物理学プログラム	
	生物科学科		化学プログラム	
	地球惑星システム学科		生物学プログラム	
医学部	医学科		地球惑星システム学プログラム	
	保健学科		医学プログラム	
			看護学専攻	看護学プログラム
			理学療法学専攻	理学療法学プログラム
		作業療法学専攻	作業療法学プログラム	
歯学部	歯学科		歯学プログラム	
	口腔健康科学科		口腔保健学プログラム	
薬学部	薬学科		口腔工学専攻	
			口腔工学プログラム	
工学部	薬科学科		薬学プログラム	
	第一類 (機械システム工学系)		薬科学プログラム	
	第二類 (電気・電子・システム・情報系)		機械システム工学系プログラム	
	第三類 (化学・バイオ・プロセス系)		電気・電子・システム・情報系プログラム	
	第四類 (建設・環境系)		応用化学プログラム	
生物生産学部	生物生産学科		化学工学プログラム	
			生物工学プログラム	
			社会基盤環境工学プログラム	
			輸送機器環境工学プログラム	
			建築プログラム	
		生物圏環境学プログラム		
		水産生物学プログラム		
		動物生産科学プログラム		
		食品科学プログラム		
		分子細胞機能学プログラム		

(※) 次ページ以降に掲載しているバーコードを読み取ることにより、各プログラムの次の内容が掲載されているホームページを直接閲覧できます。

- ・ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、プログラムの到達目標)、
- ・カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)、
- ・プログラムの紹介と概要 ほか

なお、次の URL を入力し、該当プログラム名をクリックしての閲覧もできます。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/prog/syusenkou/> (注：いずれの通信費も、閲覧する方の負担となります)

# 総合科学部

## 学部のアドミッション・ポリシー

### (1) 教育理念

「学際性」「総合性」「創造性」を基本理念とし、総合科学的思考の涵養をめざす総合科学部では、以下に示す教育を行います。

1. 複数の学問分野にまたがる学際的領域にたいする知的関心を喚起する
2. 新たな学問分野の創造をめざす知的活動をうながす
3. 新しい知的状況に対応できる自主的・自立的な人間を養成する
4. 国際社会で活躍できる意欲あふれた人材を養成する

### (2) 教育プログラム

#### ① 教育目的

上記の理念を実現するために、以下の能力を育成することを教育目的とします。

1. 複数の学問分野が、現代の諸問題とどのように関連しているのかを理解できる能力
2. 多岐にわたる情報の分析を通して、それらの持つ意味や価値をみいだす能力
3. 様々な問題の総合的解決に向けて、自己の責任において判断し、行動できる能力
4. 異文化や他の学問分野を理解し、積極的にコミュニケーションを図り、プレゼンテーションを行う能力

#### ② 教育課程の特色

1 年次には、「総合科学へのいざない」「総合科学概論」を履修し、総合科学的思考の基本姿勢を育みます。総合科学部では、学問を体系的に学ぶために、3つの「教育領域(人間探究領域、自然探究領域、社会探究領域)」を設けています。2年次に1つの教育領域を選択し、その中の授業を中心に学習を進め専門性を深めます。また同時に、他の教育領域の授業も履修することで、学際的・総合的な知識や方法論、視座を修得します。教育領域内は別に、「学際科目」及び「専門共通科目」があります。学際科目では、学際性を有した研究テーマや分析手法などを具体的に学びます。また、専門共通科目では、実践的外国語運用能力を高めるとともに、科学リテラシーや研究倫理についての理解を深めます。

### (3) 求める学生像

総合科学部では、次のような学生を求めています。

1. 基礎的学力を幅広く身につけ、既存の学問分野の枠を超えて、より広い視野で世界をみようと考えている人
2. 知的好奇心に満ち、自ら問題を発見し、その問題の背景を理解し、問題解決の道を洞察しようとする意欲を持つ人
3. 他者を理解し自己を表現できる能力を身につけ、卒業後、地域、社会、国の境界を越えて活躍できる人

### (4) 入学者選抜の方針

#### 【一般入試(前期日程)】

文科系と理科系に分けて試験を行います。幅広い基礎的学力と論理的思考力に加え、文科系では外国語能力、読解力と表現力を、理科系では自然科学的思考力を持つ学生を選抜します(配点:センター試験 900 点, 個別学力検査等 1,200 点)。

#### 【一般入試(後期日程)】

文科系と理科系に分けて試験を行います。幅広い基礎的学力と論理的思考力に加え、文科系では外国語能力と人文科学的思考力を、理科系では外国語能力と自然科学的思考力を持つ学生を選抜します(配点:センター試験 900 点, 個別学力検査等 600 点)。

#### 【A〇入試(総合評価方式Ⅰ型)】

幅広い基礎的学力、論理的思考力、読解力と表現力に加え、旺盛な知的好奇心を持つ学生あるいは特定分野で特に優れた能力を持つ学生を選抜します(最終選考の配点:小論文 300 点, 面接 300 点)。

#### 【A〇入試(対象別評価方式 帰国生入試)】

幅広い基礎的学力、論理的思考力、読解力と表現力に加え、国際社会で活躍できる広い視野を持つ学生を選抜します(配点:小論文 300 点, 面接 200 点)。

#### 【A〇入試(フェニックス方式)】

読解力、論理的思考力と表現力に加え、生涯にわたって学び続ける意欲を持つ学生を選抜します(配点:小論文 300 点, 面接 200 点)。

#### 【私費外国人留学生入試】

一般入試(前期日程・後期日程)で実施する個別学力検査等の結果に、大学入試センター試験又は「日本留学試験及びTOEFL®テスト又はTOEIC®テスト」を加え、基礎的学力、英語能力と日本語能力を持つ学生を選抜します。

#### 【第3年次編入学試験】

基礎的学力と総合科学への強い知的関心を持つ学生を選抜します(配点:筆記試験 1 科目 100 点, 面接 100 点)。

学科・プログラム	バーコード
総合科学科 【総合科学プログラム】	

# 文学部

## 学部のアドミッション・ポリシー

### (1) 教育理念

広島大学文学部の教育理念は、主として人文科学の分野における幅広い基礎学力と専門知識を有し、鋭い感性と客観的視点に基づいて現代社会を的確に見据え、その発展に貢献できる人間性豊かな個性的人材を養成することです。

### (2) 教育プログラム

#### ① 教育目的

文学部は、人間、文化、歴史、それらを取り巻く環境について広く深く考察し、現実の課題に応えうる新しい知の探究に努めています。文学部の教育目的は、人文学的教養と総合的な人間力を身につけ、専門職業人や研究者として、ローカルにも、グローバルにも活躍できる人材を育成することにあります。

#### ② 教育課程の特色

文学部には哲学・思想文化学、歴史学、地理学・考古学・文化財学、日本・中国文学語学、欧米文学語学・言語学の5コースの下に16の専門分野があり、それぞれに独自の教育プログラムを設けています。1年次は主に教養科目を学びながら、後期には専門分野の入門講義を聴講し、2年次以降のコース選択に備えます。2年次、3年次と専門科目での学びを深め、テキストの読解力や考察力、思考力を養い、「本物の学問」を追究します。4年次の卒業論文は、これらの学びの集大成となります。

### (3) 求める学生像

文学部では、個性あふれる豊かな人間性を培い、人文学における新しい知の探究を通じて、学問を究めようとする人材を育成するために、次のような資質を備えた学生を求めています。

- ・ 論理的思考力、創造力、語学力など、人文学を学ぶために必要な基礎的能力を身につけている人
- ・ 柔軟で批判的な精神を持ち、主体的に学習や研究を行う意欲のある人
- ・ 原典に基づいて、人間、文化、歴史、環境について徹底的に考察したい人
- ・ 専門性を活かして世界に羽ばたきたいという意欲を持つ人

### (4) 入学者選抜の方針

#### 【一般入試(前期日程)】

- ・ 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、特に国語や外国語、地理歴史、公民に高い学力を有する人を選抜します。
- ・ 大学入試センター試験(国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語)、個別学力検査(国語、外国語)を課します。

#### 【一般入試(後期日程)】

- ・ 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、人文科学分野に強い関心を持つ人を選抜します。
- ・ 大学入試センター試験(国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語)、個別学力検査等(面接)を課します。

#### 【AO入試(総合評価方式Ⅲ型)】

- ・ 高等学校での基礎学力を身につけ、ゼミナール開設分野において特に高い学力や能力を有する人を選抜します。
- ・ 第1次選考は、理解力や論理的思考力を問う分野別のゼミナール(授業)と総合問題、第2次選考は、面接を課します。

#### 【AO入試(フェニックス方式)】

- ・ 50歳以上の中高年者で、専門教育を受けられる基礎学力や能力を有する人を選抜します。
- ・ 志望理由と基礎的な学力を確認するために面接を課します。

#### 【私費外国人留学生入試】

- ・ 専門教育を受けられる高い日本語能力や学力を有する留学生を選抜します。
- ・ 日本留学試験は日本語と総合科目、TOEFL®テスト又はTOEIC®テストの受験を要します。

#### 【第3年次編入学試験】

- ・ 3年次編入が可能な専門分野に関する基礎学力や能力を有する人を選抜します。
- ・ 専門分野別に専門科目と面接を課します。

学科・プログラム	バーコード	学科・プログラム	バーコード
人文学科 【哲学・思想文化学 プログラム】		人文学科 【日本・中国文学語学 プログラム】	
人文学科 【歴史学プログラム】		人文学科 【欧米文学語学・言語学 プログラム】	
人文学科 【地理学・考古学・文化財学 プログラム】			

## 学部のアドミッション・ポリシー

### (1) 教育理念

科学技術の飛躍的進歩、高度情報化、生涯学習社会の進展、さらには急速に進行する国際化など、人間を取り巻く社会的環境の変化の中で多様化するさまざまな教育諸課題を理論と実践の統合化によって学術的・総合的に探究するとともに、「学習者」の視点に立つ新しい教育諸科学の教育・研究を行い、21世紀にふさわしい学校教育や学習社会づくりに貢献できる、幅広い社会的視野と豊かな課題探究力を有する人材の育成をめざします。

### (2) 教育プログラム

#### ① 教育目的

教育学部は、教育諸問題を理論と実践の統合という視点から学際的、総合的に探究すると共に、「学習者」の視点に立つ新しい教育諸科学の教育・研究を行い、21世紀にふさわしい学校教育や学習社会づくりに貢献できる、幅広い社会的視野と豊かな課題探究力を有する指導的な人材の育成をめざします。

#### ② 教育課程の特色

教育学部では、学生の多様なニーズに応え、卒業後の幅広い進路に対応するために、豊富な教育プログラムを提供しています。どの教育プログラムを専攻するかは、所属する類・コースにより、入学と同時に決まります。

本学部では15の教育プログラムを組織し、各プログラムで到達目標を明確に定め、そこに到達できるように、入学から卒業まで各段階で目標の到達度をチェックします。第一類の教育プログラムでは、小学校、特別支援学校の教員を専門的に養成します。また、第二類から第五類の教育プログラムでは、卒業要件単位内で中学校・高等学校の教科の一種免許状が取得できます。さらに、いずれの教育プログラムを専攻した学生に対しても、教育に関する研究者及び高度専門職業人の育成において、全国屈指の実績を誇る大学院教育学研究科への進路が開かれています。

### (3) 求める学生像

教育学部では、21世紀にふさわしい学校教育の創造や生涯学習社会の構築に貢献できる人材の育成を目指しており、次のような学生を求めています。

1. 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、自ら考え、学ぶ意欲を持つ人
2. 広く人間の心や教育、又は初等・中等教育における各教科に強い興味・関心・情熱を持つ人
3. 自らの問題意識に基づいて、主体的に学習や研究を遂行し、物事に多面的、創造的にアプローチする人
4. 子どもを愛し、将来、教員になることを希望する人、又は大学院に進学し、研究者や専門家になることを希望する人

### (4) 入学者選抜の方針

#### 【一般入試(前期日程)】

- ・教育学部及び当該コースのアドミッション・ポリシーに沿った入学者を選抜するため、幅広い人材を対象に基礎的学力・技量等を測る試験を行います。
- ・大学入試センター試験では、高等学校で履修した教科・科目の達成度を評価するため、当該コースが指定する5教科又は6教科を課します。個別学力検査等では、当該コースの専門分野の学習に必要な論理的思考力等を含めた基礎学力又は技量等を評価するため、当該コースが指定する2教科又は実技を課します。

#### 【一般入試(後期日程)】

- ・教育学部及び当該コースのアドミッション・ポリシーに沿った入学者を選抜するため、幅広い人材を対象に基礎的学力・技量及び適性等を測る試験を行います。
- ・大学入試センター試験では、高等学校で履修した教科・科目の達成度を評価するため、当該コースが指定する5教科又は6教科を課します。個別学力検査等では、当該コースの専門分野の学習に必要な論理的思考力等を含めた基礎学力又は技量及び適性等を評価するため、当該コースが指定する小論文、面接、実技のいずれかを課します。

#### 【AO入試(総合評価方式Ⅰ型)】

- ・教育学部及び当該コースのアドミッション・ポリシーに沿った入学者を選抜するため、基礎的学力・技量及び適性等を測る試験を行います。
- ・個別試験では、当該コースの専門分野の学習に必要な論理的思考力等を含めた基礎学力又は技量に加えて、適性・意欲・関心等を評価するため、書類審査及び当該コースが指定する小論文又は筆記試験、面接、及びコースによっては実技を課します。

#### 【AO入試(総合評価方式Ⅱ型)】

- ・教育学部及び当該コースのアドミッション・ポリシーに沿った入学者を選抜するため、基礎的学力・技量及び適性等を測る試験を行います。
- ・個別試験では、当該コースの専門分野の学習に必要な論理的思考力等を含めた基礎学力に加えて、適性・意欲・関心等を評価するため、書類審査及び当該コースが指定する小論文及び面接を課します。大学入試センター試験では、高等学校で履修した教科・科目について、当該コースが示す基準に達しているかを測るため3教科、5教科又は6教科を課します。

#### 【AO入試(フェニックス入試)】

- ・教育学部及び当該コースのアドミッション・ポリシーに沿った入学者を選抜するため、満60歳以上の中高年者を対象に基礎的学力・技量及び適性等を測る試験を行います。
- ・試験では、当該コースの専門分野の学習に必要な論理的思考力等を含めた基礎学力又は技量に加えて、適性・意欲・関心等を評価するため、書類審査及び当該コースが指定する小論文、面接を課します。

#### 【私費外国人留学生入試】

- ・教育学部及び当該コースのアドミッション・ポリシーに沿った入学者を選抜するため、外国人を対象に基礎的学力・技量等を測る試験を行います。
- ・大学入試センター試験を受験する場合は、高等学校で履修した教科・科目の達成度を評価するため、当該コースが指定する5教科又は6教科を課し、日本留学試験を受験する場合は、日本語能力及び英語を含む基礎学力を評価するため、当該コースが指定する科目を課すと同時に、TOEFL®テスト又はTOEIC®テストを課します。個別学力検査等では、当該コースの専門分野の学習に必要な論理的思考力等を含めた基礎学力又は技量等を評価するため、当該コースが指定する2教科、小論文、面接又は実技を課します。

#### 【第3年次編入学試験】

- ・教育学部及び技術・情報系コースのアドミッション・ポリシーに沿った入学者を選抜するため、主に短期大学・高等専門学校等卒業者又は卒業見込の者を対象に基礎的学力及び適性等を測る試験を行います。
- ・試験では、コースの専門分野の学習に必要な論理的思考力等を含めた基礎的学力に加えて、関心・学習意欲等を評価するため、書類審査及び面接を行います。

募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)

類・コース・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
第一類(学校教育系) 初等教育教員養成コース <b>【初等教育教員養成プログラム】</b>	初等教育教員養成プログラムでは、小学校教員としての実践的指導力の習得に必要な幅広い基礎学力を持つとともに、子どもを愛する心と教育への情熱を持ち、問題意識が旺盛で向上心に富む学生の入学を期待しています。 特に、下記のいずれか一つ以上に該当する学生を求めています。 (1) 子どもの成長・発達に強い関心を持ち、その分野での専門性を高めることのできる意欲と能力を持つ人 (2) 小学校の諸教科等の学習が支援できる基礎的能力を身につけており、その上に得意分野を持つ人 (3) 学校行事や課外活動、社会的活動等に積極的に参加し、社会的貢献等の実績を持つ人	
第一類(学校教育系) 特別支援教育教員養成コース <b>【特別支援教育教員養成プログラム】</b>	特別支援教育教員養成プログラムでは、豊かな人間的教養を備えると同時に、幅広い知識を統合して問題解決を図ることができ、複雑化する現代社会の中にある特別支援教育に貢献できる人材の育成を目指しており、次のような学生を求めます。 (1) 特別支援学校教員として社会に貢献したいという強い信念を持ち、その実現に向けて豊かな人間性と幅広い教養、専門的知識・技能を身につけようとする努力し、5領域の特別支援学校教諭免許状取得に真摯に取り組む人 (2) 特別支援教育をはじめとする幅広い事柄に対する知的好奇心に満ち、自ら問題を発見し、その問題の背景を理解し、問題解決の道を洞察しようとする意欲を持つ人 (3) 高等学校までの基礎的学力を幅広く身につけ、教育の諸課題に関する意識を持ち、論理的思考力・課題解決のための建設的な意見や企画力を有する人 (4) 他者を理解し自己を表現できる能力を身につけ、卒業後、地域・社会・国で活躍できる人	
第二類(科学文化教育系) 自然系コース <b>【中等教育科学(理科)プログラム】</b>	中等教育科学(理科)プログラムでは、カリキュラムを履修できる人材として、自然に対する豊かな感性を基盤として理科と理科教育に対する強い興味関心を有し、理科に関連する基礎的・基本的学力と表現力を身につけた次のような学生を求めます。 (1) 将来、中学校・高等学校又は生涯学習を含む理科教育の場での活躍を目指す人 (2) 将来、大学院に進学して科学教育学・科学教育方法学あるいは科学教育内容学(物理学教育、化学教育、生物学教育、地学教育)に関する研究者となることを目指す人	
第二類(科学文化教育系) 数理系コース <b>【中等教育科学(数学)プログラム】</b>	中等教育科学(数学)プログラムでは、カリキュラムを履修できる人材として、豊かな人間的教養を備えるとともに、幅広い知識・技能を活用して物事を発展的に活用して物事を発展的に活用して社会に貢献しようとする人材の育成を目指しています。そのために、次のような学生を求めます。 (1) 高等学校までの教科内容を広く深く理解しつつも、その教科の枠にとらわれず、より広い視野で数学をはじめとする学問を学び、将来の幅広い教育活動に活かそうと考えている人 (2) 批判的に考える態度を持っており、自ら設定する問いに対して理論的・実践的な視点から考察し、得られた解決を次の問いの解決へ活用していかようとする人 (3) 自己を表現する能力、他者を理解しようとする態度を身に付けており、卒業後、地域社会あるいは国際的な社会で活躍していかようとする人	
第二類(科学文化教育系) 技術・情報系コース <b>【中等教育科学(技術・情報)プログラム】</b>	中等教育科学(技術・情報)プログラムでは、幅広い基礎学力を有するとともに、人間的な資質に優れ、ものづくりと情報技術を融合させる分野に強い関心を持って挑戦できる、次のいずれかに該当する人材を求めています。 (1) 中学校や高等学校において技術教育、情報教育、工業教育に携わる教員を目指す人 (2) 民間企業における技術者、企業内教育専門家をを目指す人 (3) 大学院に進学し、技術・情報の教育や専門科学領域に関する研究を推進する人	
第二類(科学文化教育系) 社会系コース <b>【中等教育科学(社会・地理歴史・公民)プログラム】</b>	中等教育科学(社会・地理歴史・公民)プログラムでは、カリキュラム・ポリシーを理解し実践した上で、深い教養を備えた豊かな人間性を涵養すると同時に、幅広い知識を統合して問題解決を図ることができ、国際社会にも貢献できるような人材の育成を目指しており、次のような学生を求めます。 (1) 中学校社会科、高等学校地理歴史科・公民科の教員を目指す人 (2) 上記の教員免許状を取得したうえで、さらに、学芸員、社会教育主事などの資格も取得し、生涯学習の支援・指導に携わることを目指す人 (3) 卒業後、大学院に進学するか、実社会において、中等社会系教科に関する教育・研究の専門家を目指す人 (4) 上記の目標を目指すため、地理学、歴史学、倫理学、法学、経済学などの人文・社会科学と中等社会系の社会認識教育学を中心に学問的基盤を身につけ、複雑な人文・社会現象を独創的な視点で解明し、斬新な教育方法を確立していかようという意欲を有している人 (5) 本プログラムが求めている人材の内容に関連した研究・活動などの業績・学習成果を有している人	
第三類(言語文化教育系) 国語文化系コース <b>【中等教育科学(国語)プログラム】</b>	中等教育科学(国語)プログラムでは、カリキュラムを履修できる人材として、次のような学生を求めています。 (1) 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、自ら考え、学ぶ意欲を持つ人 (2) 自らの問題意識に基づいて、主体的に学習や研究を遂行し、物事に多面的、創造的にアプローチする人	

類・コース・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
第三類(言語文化教育系) 英語文化系コース <b>【中等教育科学(英語)プログラム】</b>	中等教育科学(英語)プログラムでは、豊かな人間的教養を備えると同時に、幅広い知識を統合して問題解決を図ることができ、グローバル社会に貢献できる人材の育成を目指しており、次のような学生を求めます。 (1) 高等学校までの基礎的・基本的な学力を幅広く身につけた人 (2) 英語を的確に理解でき、適切に運用できる一定程度の英語コミュニケーション能力を身につけている人 (3) 既存の学問分野の枠を越えて、より広い視野で世界や日本を見ようとする人 (4) 自らの問題意識に基づいて主体的に学び、論理的に表現できる人 (5) 中等教育の英語科教員を目指す人、また、広く英語を用いてグローバル社会に貢献しようとする人	
第三類(言語文化教育系) 日本語教育系コース <b>【日本語教育プログラム】</b>	日本語教育プログラムでは、カリキュラム・ポリシーにもとづく教育課程を履修できる人材として、次のような学生を求めます。 (1) 日本語を的確に理解し、適切に運用できる人 (2) 自分の頭で考え、自分のことばで語り、主体的にコミュニケーションできる人 (3) 日本語だけでなく外国語に対して深い関心と高い能力がある人 (4) 異文化交流の経験を持ち、異文化に対する受容・適応能力が高い人 (5) 日本語を教えることの意義をよく理解し、情熱をもって取り組むことができる人	
第四類(生涯活動教育系) 健康スポーツ系コース <b>【健康スポーツ教育プログラム】</b>	健康スポーツ教育プログラムでは、健康や運動・スポーツの指導や研究に強い関心と意欲をもつ人材として、次のような学生を求めています。 (1) 中学校又は高等学校の保健体育科の教員を目指す人 (2) 競技スポーツや生涯スポーツ、健康づくりの分野における指導者を目指す人 (3) 将来、大学院に進み、健康やスポーツに関する教育・研究の専門家を目指す人	
第四類(生涯活動教育系) 人間生活系コース <b>【人間生活教育プログラム】</b>	人間生活教育プログラムでは、人間生活教育学、生活経営学、人間発達科学、住居学、食物学、アパレル科学など人間生活の向上・発展に貢献する専門科学の研究や教育に関心を持ち、主体的・意欲的に問題を探究できる学生、あるいはこれらを基盤にして学校教育に活かそうとする次のような学生を求めています。 (1) 中学校及び高等学校の家庭科の教員をめざす人 (2) 新たな発想をもって、人間生活に関する教育的課題や学問的課題の解決について考えることのできる人 (3) 将来、大学院に進み、プロフェSSIONALとして人間生活に関する教育や専門科学の研究に携わろうとしている人	
第四類(生涯活動教育系) 音楽文化系コース <b>【音楽文化教育プログラム】</b>	音楽文化教育プログラムでは、豊かな人間的教養を備えると同時に、幅広い知識と技能を統合して問題解決を図ることができ、国際社会に貢献できる人材の育成を目指しており、次のような学生を求めます。 (1) 幼児から高齢者までを対象とした総合的な音楽教育に強い関心を持ち、将来、特に中・高等学校音楽科教員、あるいは生涯教育の指導者になることを希望している人 (2) 現代の多様な音楽文化の発展や教育的分野の状況に強い関心を持ち、将来、音楽文化教育・社会教育等の専門的な指導者になろうという意欲をもつ人 (3) 将来、大学院に進学して音楽教育学等の研究者、又は、器楽、声楽、作曲等の専門家となり、これらの分野の発展に貢献したい人	
第四類(生涯活動教育系) 造形芸術系コース <b>【造形芸術教育プログラム】</b>	造形芸術教育プログラムでは、特に次のような学生を求めています。 (1) 中等教育における造形芸術教育に強い関心を持ち、教員をめざす意欲と能力を十分に持っている人 (2) 生涯にわたって造形芸術の活動をし続ける人々を支援する指導者として、社会に貢献することに強い希望を持っている人 (3) 造形芸術のさまざまな分野に興味を持ち、幅の広い視野を持った造形作家、デザイナー、造形芸術理論の専門家をめざしている人 (4) 将来大学院に進み、さまざまな教育の場において、より専門的な造形芸術の教育・研究に携わることをめざしている人	
第五類(人間形成基礎系) 教育学系コース <b>【教育学プログラム】</b>	教育学プログラムでは、次のような人材を求めます。 (1) 教育界が抱えている多くの問題を解決しようとする志のある人 (2) 教育学を学ぶための基礎的な学力として、日本語及び外国語の読解力・表現力を有し、社会や人間、文化等に関わる高校段階までの幅広い教科の学習内容を確実に習得した人 (3) 卒業後、教職、教育行政職(公務員)、国際的な教育開発の実践家など教育科学の専門性を生かせる職業に就こうとする人、さらに博士課程後期に進学し全国の大学の教育学部の教員として「先生の先生」になろうとする人	
第五類(人間形成基礎系) 心理学系コース <b>【心理学プログラム】</b>	心理学プログラムでは、カリキュラムを履修できる人材として、次のような人材を求めます。 (1) 心理学を学ぶための基礎的な学力として、日本語及び外国語の読解力・表現力、社会現象や自然・生命現象などの理解力が必要であるため、幅広い教科で十分な学力を備えている人 (2) 現代社会における、心や行動に関する問題に積極的に関心を持ち、豊かな知識と深い洞察力に基づいて主体的・独創的に探究を進め、心や行動に関する問題の解決に関わろうとする人 (3) 卒業後、心理学の専門分野をさらに深めるために大学院に進学し、研究者や高度専門職業人をめざす人	

## 学部のアドミッション・ポリシー

### (1) 教育理念

法学部の教育理念は、健全な社会的関心と一定の法的素養(リーガルマインド)を備えた人材を社会に送り出すために、多様な分野で応用できる基礎力として三つの力を養成することにあります。

- ・ 幅広い視野で社会問題を発見する力
- ・ 法制度の体系的理解に基づいて問題を分析する力
- ・ 論理的思考の下で具体的解決を提案する力

この理念を実現するために、法学部では、法学・政治学・社会学分野の専門教育科目及び教養教育科目を提供するとともに、これらと有機的に関連する諸分野の科目履修を可能とし、学生の自主性を尊重しつつ、自由闊達な気風のもとに4年間一貫の学部教育を行います。

### (2) 教育プログラム

#### ① 教育目的

法学部の教育プログラム(昼間コース:公共政策, ビジネス法務, 夜間主コース:法政総合)では、将来官公庁, NPO, 民間企業等において活躍することをめざす学生を対象として、法的素養に基づいて高い実務能力を発揮することができる人材を育成することを教育目的としています。具体的には次の能力を身につけることをめざします。

- ・ 幅広い視野から社会問題を発見することができる
- ・ 法制度の体系的理解に基づき、法・政治過程の動態や企業が抱える諸問題をグローバルな視点から分析することができる
- ・ 論理的思考の下で具体的解決を提案することができる

#### ② 教育課程の特色

1年次には基盤科目や専門基礎科目を履修し、法学部提供のプログラムへと導入します。2年次には法律系及び政治・社会系基礎科目の履修や「基礎演習」(昼間コース)、一部の「専門演習」(夜間主コース)への参加を通してプログラムの到達目標を達成するための基礎固めをします。3・4年次には「専門演習」に参加するとともに、各分野の応用科目を履修し、応用能力を涵養します。4年次には「専門演習」におけるゼミ論の作成や統合科目(昼間コース)における論文作成を通して、各プログラムで身につけた知識・技能・能力を統合し、課題解決能力を育成します。

法学部の卒業要件となる124単位のうち、専門教育科目と教養教育科目の他に「自主選択枠」を設け、学生各自の関心と必要に応じて多様な科目を履修することができるようにして、学生の自主性を尊重しています。また、夜間主コースは学生の勤務実態や授業時間帯の制約など様々な制限があるため、外国語科目の要修得単位数の減、履修年次の制限の緩和、「自主選択枠」の拡大など、柔軟に履修できるように配慮しています。

### (3) 求める学生像

法学部では、次のような学生を求めています。

- ・ 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くしっかりと身につけ、特に国語や社会、外国語に高い学力を有する人
- ・ 人間と社会への深い関心と幅広い理解力を備え、現実に生じている社会の諸現象にさまざまな疑問を抱き、その背景を知りたい、解決策を探ってみたいと思う人、他者の意見を聞くことができ、語り合う過程で新たなものを発見しうと思う人
- ・ 将来、官公庁、民間企業などで活躍することを希望する人、法科大学院に進学して法曹をめざす人、又は大学院に進学し研究者や専門家になることを希望する人

### (4) 入学者選抜の方針

#### 【一般入試(前期日程)】

- ・ 大学入試センター試験(5又は6教科7科目)、個別学力試験(昼間コースは国語・外国語、夜間主コースは国語)により「求める学生像」にそった学生を選抜します。

#### 【一般入試(後期日程)】

- ・ 大学入試センター試験(3教科3科目)、個別学力検査(総合問題)により「求める学生像」にそった学生を選抜します。

#### 【AO入試(総合評価方式Ⅱ型)】

- ・ 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くしっかりと身につけ、特に国語や社会、外国語に高い学力を有する人を選抜します。

#### 【AO入試(対象別評価方式 社会人入試)】

- ・ 社会人として人間と社会への深い関心と幅広い理解力を備えた人を選抜します。
- ・ 法学部で学んだ高度の専門的知識を持って、将来、職場や地域で活躍しようとする意欲と力を備えた学生を選抜します。

#### 【AO入試(フェニックス入試)】

- ・ 法学部で学ぶことの意義、勉学に対する意欲、意向等について論文・評論等を題材とする小論文で評価し、併せて社会科学系の学問を学ぶ上で必要な基礎的学力をみます。

#### 【私費外国人留学生入試】

- ・ 本学が指定する試験等及び口述試験の結果により、日本語会話能力、日本語読解力のある学生を選抜します。

#### 【第3年次編入学試験】

- ・ 昼間コースは小論文、外国語の合計点及び口述試験の評価を、夜間主コースは小論文の得点と口述試験の評価を総合して評価し、法学部で学ぶことの意義、勉学に対する意欲・志向の高い人を選考します。

募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)

学科・コース・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
法学科 昼間コース <b>【公共政策プログラム】</b> <b>【ビジネス法務プログラム】</b>	公共政策プログラム及びビジネス法務プログラムでは、次のような学生を求めています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くしっかりと身につけ、特に国語や社会、外国語に高い学力を有する人</li> <li>・ 人間と社会への深い関心と幅広い理解力を備え、現実生じている社会の諸現象にさまざまな疑問を抱き、その背景を知りたい、解決策を探ってみたいと思う人、他者の意見を聞くことができ、語り合う過程で新たなものを発見しうると思う人</li> <li>・ 将来、官公庁、民間企業などで活躍することを希望する人、法科大学院に進学して法曹をめざす人、又は大学院に進学し研究者や専門家になることを希望する人</li> </ul>	 公共政策  ビジネス法務
法学科 夜間主コース <b>【法政総合プログラム】</b>	法政総合プログラムでは、次のような学生を求めています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くしっかりと身につけ、特に国語や社会、外国語に高い学力を有する人</li> <li>・ 社会人として人間と社会への深い関心と幅広い理解力を備え、現実生じている社会の諸現象にさまざまな疑問を抱き、その背景を知りたい、解決策を探ってみたいと思う人、他者の意見を聞くことができ、語り合う過程で新たなものを発見しうると思う人</li> <li>・ 将来、法学部で学んだ高度の専門知識をもって職場や地域社会で活躍することを希望する人、法科大学院に進学して法曹をめざす人、又は大学院に進学し研究者や専門家になることを希望する人</li> </ul>	

## 学部のアドミッション・ポリシー

### (1) 教育理念

広島大学経済学部及び前身の政経学部の卒業生の多くは、現在、経済界・官界等実社会において指導的役割を担っています。これら卒業生の活躍は、政経学部設立当初からの徹底した少人数教育による「豊かな人間性」を培う教育が結実したものと自負しています。本学部では、こうした成果を踏まえ、今後も少人数教育を学部教育の柱として堅持していきます。

また、「豊かな人間性」は、異なったバックグラウンドを持つ学生同士の交流を通じても養われるとの認識のもとに、広島大学経済学部では、他の学部に先んじて多様な入試を実施しています。さらに、現在の変動の時代に即して、いかなる急激な変化にも対処し得る、基礎力ならびに応用力の修得を、教育における理念・目標としています。

### (2) 教育プログラム

#### ① 教育目的

昼間コース「現代経済プログラム」は、経済理論、金融・ファイナンス、経済史、経済政策など、主に経済学に関する専門的知識を習得し、応用することによって、現代社会の様々な経済問題を発見し、解決するために必要な理論的・実証的な経済分析能力を養成することを目標とするプログラムです。

夜間主コース「経済・経営統合プログラム」は、経済学、経営学、会計学、情報科学などの社会科学の総合的な素養を習得することで、現代社会が抱える複雑な諸問題を積極的に発見し解決できる人材、幅広い分野で活躍が期待できる人材の養成を目標としています。

また、社会人を受け入れることにより、理論と実践の知的融合の場を作り出し、常に現実的な問題意識と新鮮な視点を持つ学際的・実践的な人材の養成を行います。

#### ② 教育課程の特色

各プログラムにおいては、現実経済と対比した数学的経済モデルによる分析と現実からのフィードバックを含む学習、語学・情報リテラシー、論理的な分析能力、コミュニケーション能力の養成に重点を置いています。また、専門教育の一環として3年次以降の少人数教育に8人程度の演習と卒業論文指導を提供しており、卒業論文は必修(昼間コース)となっています。3年次の夏には実社会との接点を求める学生の要望に応えるため、さらに出口対策として企業・官庁におけるインターンシップへの参加を促しています。語学力向上のためには、TOEIC®対策の講義が2科目提供されており(昼間コース)、さらに日本企業が規模・資本と技術面での優位性を活かして海外に事業展開を行うことが多くなっている今日、学部学生の留学経験の重要性が増してきていることから、本学の各種の海外派遣プログラム(START・HUSA・ss\_sv、等)への学生の積極的な参加を奨励しています(短期留学に対する3万円、より長期の留学に対する10万円の助成金を学部の任意団体から交付しているのもその一環です)。情報リテラシー対策は、1年次の教養ゼミに始まり、主として演習・卒業論文指導において主体的に取り組むことが多く、学部内の学生用計算機室には表計算及び各種統計・計量ソフトが設置されていて、自由に使用することができる環境となっています。

### (3) 求める学生像

経済学部では、卒業後、次のような分野での活躍を目指す学生を求めています。

1. 官公庁や企業での活躍を目指す学生
2. 先端領域のビジネス分野でビジネスモデルの開発や起業を目指す学生
3. グローバル経済の分析や予測を、数理的分析手法を駆使して行うエコノミストやコンサルタントを目指す学生
4. 地球規模の問題をグローバルな視点から政策立案し、その政策実行のリーダーを目指す学生
5. 従来にない独創的な理論の構築を目指し、深い思索と幅広い視点から学問研究に従事しようとする学生

上記の各分野に共通して求められる能力や資質は、「問題発見・解決能力」及び「自己革新能力」です。基礎学力に加えて自発的・積極的に関わってきた活動歴や経験と論理的思考によって培われる能力や資質です。

また、社会のニーズに対応した様々な選抜方法により学生を受け入れています。

### (4) 入学者選抜の方針

#### 【一般入試(前期日程)】

- ・ 昼間コースは経済学を学ぶための基礎学力をもち、問題解決能力のある人、夜間主コースでは経済学、経営学を学ぶための基礎学力をもち、現実の経済経営問題に興味のある人を求めます。大学入試センター試験(5又は6教科8科目)、個別学力試験(昼間コースは数学・外国語、夜間主コースは外国語)により選考します。

#### 【一般入試(後期日程)】

- ・ 昼間コースは経済学を学ぶための基礎学力をもち、問題解決能力のある人、夜間主コースでは経済学、経営学を学ぶための基礎学力をもち、現実の経済経営問題に興味のある人を求めます。大学入試センター試験(5又は6教科8科目)、個別学力検査等(小論文)により選考します。

#### 【AO入試(総合評価方式Ⅱ型)】

- ・ 昼間コースは経済学を学ぶための基礎学力を持っている人、夜間主コースは経済学、経営学を学ぶための基礎学力を持っている人を求めます。出願書類、小論文、面接、大学入試センター試験の結果を総合的に判断し選考します。

#### 【AO入試(対象別評価方式 社会人入試)】

- ・ 社会人として培った多様な活動や経験を基にして、経済学や経営学に関する専門的知識と教養を身につけたいという強い勉強意欲と熱意をもつ人を対象とします。

小論文及び面接の総合点で選考します。

#### 【AO入試(フェニックス入試)】

- ・ 高齢化が進む現代社会において、中高年の方が長年にわたり蓄積されてきた知識・経験を基に、経済学や経営学に関する専門的知識と教養を学ぶことによって、生涯にわたって学び続けることの意義を見出すことのできる人を対象とします。

小論文及び面接の総合点で選考します。

#### 【私費外国人留学生入試】

- ・ 経済学部は、基礎学力、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力、自己革新能力、学習意欲を有している人を求めます。
- ・ 本学が指定する試験等、面接及び書類審査を総合して選考します。

**【第3年次編入学試験】**

- ・ 経済学部は、基礎学力、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力、自己革新能力、学習意欲を有している人を求めます。
- ・ 推薦入試は口述試験及び出願書類を、一般入試は学力試験、口述試験及び出願書類を総合して選考します。

**募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)**

学科・コース・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
経済学科 昼間コース <b>【現代経済プログラム】</b>	現代経済プログラムでは、卒業後、次のような分野での活躍を目指す学生を求めています。 1. 官公庁や企業での活躍を目指す学生 2. 先端領域のビジネス分野でビジネスモデルの開発や起業を目指す学生 3. グローバル経済の分析や予測を、数理的分析手法を駆使して行うエコノミストやコンサルタントを目指す学生 4. 地球規模の問題をグローバルな視点から政策立案し、その政策実行のリーダーを目指す学生 5. 従来にない独創的な理論の構築を目指し、深い思索と幅広い視点から学問研究に従事しようとする学生	
経済学科 夜間主コース <b>【経済・経営統合プログラム】</b>	経済・経営統合プログラムでは、卒業後、次のような分野での活躍を目指す学生を求めています。 1. 官公庁や企業での活躍を目指す学生 2. 先端領域のビジネス分野でビジネスモデルの開発や起業を目指す学生 3. グローバル経済の分析や予測を、数理的分析手法を駆使して行うエコノミストやコンサルタントを目指す学生 4. 地球規模の問題をグローバルな視点から政策立案し、その政策実行のリーダーを目指す学生 5. 従来にない独創的な理論の構築を目指し、深い思索と幅広い視点から学問研究に従事しようとする学生 6. 社会人として培った多様な活動や経験を基にして、経済学や経営学に関する専門的知識と教養を身につけたいという強い勉学意欲と熱意をもつ学生 7. 経済学や経営学に関する専門的知識と教養を学ぶ事によって、生涯にわたって学び続けることの意義を見出すことのできる学生	

# 理学部

## 学部のアドミッション・ポリシー

### (1) 教育理念

自然科学は、人間が本質的に持つ知的好奇心に根ざした学問であると共に、人類の発展や人類共通の課題解決のよりどころとなる学問です。

広島大学理学部は、総合研究大学である広島大学において、自然科学の分野で世界を先導する役割を担っています。我々はその責務を果たすため、自然の真理の探究や新たな知の創造を目指した世界トップレベルの研究と教育を展開し、その成果を通じて社会に貢献します。そのためには、秀れた人材の育成が不可欠であり、自然科学の基礎を身につけ、論理的思考や総合的判断力を持つ人材の養成を行います。そして、高い国際性を併せ持ち、研究者・技術者・教育者など様々な分野の第一線で活躍できる人材を輩出することを目指します。

### (2) 教育プログラム

#### ① 教育目的

本学部の学士課程教育では、自然界に働く普遍的な法則や基本原理の解明を目指した教育研究活動を通じて、自然科学の基礎を十分に修得させ、真理探究への鋭い感性と総合的判断力を培う教育を行います。またその結果、国際性を兼ね備え、社会のさまざまな分野で活躍できる人材の養成を目指します。

卒業生の進路として、大学や国公立研究機関の研究者、企業で働く研究者や技術者、専門的な知識と技能を備えた教育者など、高度な総合的能力を持つ人材の育成に努めます。こうした人材の育成には、大学院でのさらなる教育が必要な場合が多いため、本学士課程では、大学院での先進的な研究と教育へスムーズに取り組めるよう配慮したプログラムを編成しています。

#### ② 教育課程の特色

本学部では、広島大学の学士課程教育の根幹をなす主専攻プログラムを各学科単位で掲げ、学生の多様な興味に対応した教育を行っています。各主専攻プログラムでは、自然科学の諸分野の基礎を学ぶと共に、各分野の最先端の研究への橋渡しとなる専門的な内容も学びます。

いずれのプログラムも、基礎から発展的内容まで段階的に学べるよう配慮されたカリキュラムを備えており、受講科目は、学年の進行と共に、教養コア科目、基盤科目、専門基礎科目、専門科目と発展していきます。また実習・実験科目を多く開講すると共に、各専門分野での英語教育も行います。また、すべてのプログラムで、卒業論文の作成が必修となっています。これらを有機的に関連させた主専攻プログラムを修了することにより、学生は、自然科学の基礎を身につけ、論理的思考力や実践力を涵養し、高い国際性を兼ね備えた人材へと成長することができます。

### (3) 求める学生像

理学部では、自然の真理解明のための基礎的知識、基本的手法と技術、論理的思考力を培い、幅広い科学的素養を身につけた人材の育成を目指しており、次のような学生を求めています。

1. 自然科学に関する基礎的な知識と理解力を備えており、特に数学と理科に高い学力を有する人。また、語学力(英語)と発表能力にも優れた人
2. 自然界への知的好奇心に満ち、課題の発見と解決に積極的に取り組み、真理解明への探究心の旺盛な人。より高度な専門知識と技術を身につけて創造性を発揮する勉学意欲にあふれている人
3. 将来、修得した科学的素養を活かして社会において指導的役割を果たすことを目指す人。さらに大学院に進学して専門性と独創性を磨き、研究者・技術者・教育者になることを希望する人

なお、本学部を受験する人は、高等学校教育課程の以下の教科・科目を学習していることが望まれます。

学科	十分な学習が望まれる教科・科目等
数学科	数学
物理科学科	数学, 物理
化学科	化学を含む理科 2 科目
生物科学科	生物
地球惑星システム学科	理科 2 科目(必ずしも地学である必要はありません)

### (4) 入学者選抜の方針

上記「求める学生像」に沿った学生を選抜することを目的とします。

#### 【一般入試(前期日程)】

- ・ 幅広い基礎知識を身につけ、理数系科目及び外国語について十分な学力を有する人を選抜します。
- ・ 大学入試センター試験(5教科7科目)及び個別学力検査(数学, 理科, 外国語)により選抜します。

#### 【一般入試(後期日程)】

- ・ 大学入試センター試験(3教科4科目, 化学科は, 3教科5科目)及び個別学力検査等(数学, 総合問題, 理科, 面接など)により選抜します。
- ・ 基礎知識を幅広く身につけるとともに、専門分野への関心の高さと勉学に対する意欲のある人を選抜します。

#### 【AO入試(総合評価方式I型)】

- ・ 十分な学力を身につけ、明確な志望動機があり、専門分野への興味と勉学に対する意欲のある人を選抜します。

#### 【私費外国人留学生入試】

- ・ 本学が実施する一般入試(前期日程・後期日程)の個別学力検査等の結果と、「大学入試センター試験」又は「日本留学試験及び TOEFL®テスト又は TOEIC®テスト」の結果を総合的に判断し、基礎的学力とともに、英語能力と日本語能力を持つ学生を選抜します。

### 【第3年次編入学試験】

- ・筆記試験、面接及び学業成績の結果、TOEIC®の成績などにより、総合的に選抜します。
- ・専門分野に関わる基礎的な学力を有するとともに、これまでに培った知識、能力を基礎として、さらなる学習に積極的に取り組むことができる人を選抜します。

### 募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)

学科・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
数学科 【数学プログラム】	数学プログラムでは、次のような学生を求めています。 (1) 個性豊かで探究心に満ち、数学に対する勉学意欲にあふれた人 (2) 数学における基礎的な知識・思考力・センス・表現力を備えている人	
物理科学科 【物理学プログラム】	物理学プログラムでは、次のような学生を求めています。 (1) 基礎学力を備え、科学的好奇心に富む、探究心や勉学意欲の強い人 (2) 科学的基礎知識と課題取り組みへの科学的思考法を学び、それを社会人として生かしたい人 (3) 物理学の勉学を基に、広い意味での科学者として自らを磨くために、将来、大学院に進学を希望する人	
化学科 【化学プログラム】	化学プログラムでは、大学において化学を学ぶために必要な基礎学力を有し、 (1) 真理を探究することの好きな人 (2) 好奇心の旺盛な人 (3) 化学の好きな人 (4) 新しいことに挑戦したい人 を求めています。	
生物科学科 【生物学プログラム】	生物学プログラムでは、大学において生物学を学ぶために必要な基礎学力を有し、 (1) 生命現象に関する課題を主体的に探究し、解決する熱意を持つ人 (2) 将来研究者あるいは高度な専門性を持つ技術者として社会で活躍することを目指す人 を求めています。 また、生物学を学ぶために必要な英語力を身につけておくことが望ましいです。	
地球惑星システム学科 【地球惑星システム学プログラム】	地球惑星システム学プログラムでは、学士課程において得た基礎知識及び専門知識から、問題発見そして解決へと導ける能力を持つ先駆者の人材の育成を目指しています。そのため、以下のような学生を求めています。 (1) 基礎学力を備え、幅広い分野の科学的好奇心に富み、探究心や勉学意欲の強い人 (2) 地球惑星科学の分野で国際的に活躍したい人 (3) 学士課程で得られた総合的な知識・経験と論理的思考を基に技術者・教育者として活躍したい人 (4) 地球惑星システム学の勉学を基に、広い意味での科学者として自らを磨くために、大学院に進学を希望する人	

## 学部のアドミッション・ポリシー

### (1) 教育理念

医学・医療、保健、福祉の実践者にふさわしい豊かな人間性と幅広い教養を身につけ、専門職となるための基礎的知識、技能、態度を習得し、さらには科学的思考力と創造性に富み、地域の医療にも関心が深く、かつ国際性豊かな人材を育成することを共通の理念としています。

### (2) 教育プログラム

豊かな人間性と幅広い教養を持ち、人の命と健康を守るという使命感を持った医学、看護学、理学療法学、作業療法学領域の能力に優れた医療人を育成し、社会に貢献できる人材を送りだします。

#### ① 教育目的

1. 豊かな人間性と幅広い教養を身につけるために、幅広い学問に触れ、多様な文化や価値観を学びます。
2. 基本的診療能力と、全人的医療の実践のために専門職としてとるべき態度を身につけます。
3. 医学・医療、保健・福祉の実践において必要となる問題抽出能力、理解・分析力、そして問題解決能力を身につけます。
4. 学術的・総合的な学問を学び、医学・医療の基礎的及び応用的な研究の発展に寄与できる柔軟な発想と創造性を身につけます。
5. 医療、保健・福祉に関わる行政制度や社会保障・医療経済の仕組み、医療に関わる法制度、及び地域医療を取り巻く社会環境について学びます。
6. 国際化・情報化に対応して、外国語によるコミュニケーション能力と豊かな情報活用能力を身につけます。
7. 以上、すべての項目について、生涯にわたって学習する習慣を身につけます。

#### ② 教育課程の特色

1. 医学部には2つの学科(医学科、保健学科)と4つの主専攻プログラム(医学プログラム、看護学プログラム、理学療法学プログラム、作業療法学プログラム)があり、医学・医療、保健・福祉の専門職にふさわしい専門知識・技能、人間性、教養を培い、高度専門職・医療人や研究者を養成するためのプログラムを展開しています。
2. 医学部・薬学部合同の早期体験実習やPBLチュートリアルを取り入れた合同教養ゼミを行うとともに、それぞれの学科での他職種交流プログラムを通じて、今後ますます重要となるチーム医療に対応した教育を行っています。
3. 国際交流に不可欠な英語によるコミュニケーション能力を養成し、海外協定校を活用した実習等を通じて、国際的活動を目指すグローバル人材の養成に努めるとともに、地域医療への関心と理解を促進するプログラムも実施しています。
4. それぞれの分野における研究マインドの涵養に努め、将来の大学院進学への導きを行っています。

### (3) 求める学生像

医学部では、人と関わり、人の健康のために学び、働く人となる意欲と、各学科・専攻で行われる専門教育を修了するための学力と適性を備えた人を求めています。

### (4) 入学者選抜の方針

#### 【一般入試(前期日程)】

- ・ 社会に貢献できる医療人を目指す受験者を対象に、大学入試センター試験及び個別学力検査等により選考します。

#### 【一般入試(後期日程)】

- ・ 社会に貢献できる医療人を目指す受験者を対象に、大学入試センター試験及び面接により選考します。

#### 【AO入試(総合評価方式Ⅱ型)】

- ・ (医学科) 医学研究者志向をもった受験者を対象に、書類審査、小論文及び面接を行い、大学入試センター試験の結果により選考します。
- ・ (保健学科) 保健・医療・福祉の分野に強く関心を持ち、それぞれの専攻で学びたい意欲を持った受験者を対象に、書類審査、小論文及び面接を行い、大学入試センター試験の結果により選考します。

#### 【推薦入試】

- ・ 将来広島県又は岡山県の地域医療に強い関心を持ち、地域に定着する意思を持つ受験者を対象に、書類審査及び面接を行い、大学入試センター試験の結果により選考します。

#### 【私費外国人留学生入試】

- ・ 保健・医療・福祉の分野に関心を持ち、日本で強く学びたい意欲を持った留学生を対象に、学力試験と日本語コミュニケーションを含めた面接により選考します。

募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)

学科・専攻・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
医学科 <b>【医学プログラム】</b>	医学プログラムでは、次のような学生を求めています。 (1) 人間が好きで、人の痛みに共感できる人 (2) 生命科学に深い関心がある人 (3) 客観的な理解力と判断力を持ち、積極的に行動できる人 (4) 高等学校で学習するすべての教科の学力を幅広く身につけ、特に理科や英語において高い学力を有する人 (5) 高いコミュニケーション能力を持ち、周囲の人と良好な関係を築き、協調して働くことができる人 (6) 医療を通して地域社会に貢献しようとする意欲と情熱のある人	
保健学科 看護学専攻 <b>【看護学プログラム】</b>	看護学プログラムでは、次のような学生を求めています。 (1) 保健医療に関心を持ち、柔軟で幅広い視野を持って広く社会に貢献することを希望する人 (2) 高等学校までの学習と経験から、幅広い基礎学力と豊かな人間性を身につけている人 (3) 社会の一員としての良識と高い倫理観・責任感を備え、他者への思いやりがある人 (4) 探究心が旺盛で、社会から積極的に学び、自己の能力を開拓する努力を惜しまない人 (5) 困難や問題に遭遇しても、冷静に、かつ前向きに対処しようとする創造性とチャレンジ精神に富む人 (6) 協調性とコミュニケーション能力に優れ、積極的に他者と助け合いながら、人生を切り開こうとする人	
保健学科 理学療法学専攻 <b>【理学療法学プログラム】</b>	理学療法学プログラムでは、次のような学生を求めています。 (1) 障害を持った方々の「心」を察することのできる人 (2) 何事に対しても積極的かつ意欲的に取り組み、最後までやり遂げる気持ちを持ち続ける人 (3) 他人のことに耳を傾け、豊かなコミュニケーション能力を身につけながらチームワークを図り、ともに成長しようと努力する人 (4) 得られた知識をもとに物事を科学的に捉え、将来、保健・医療・福祉の発展に尽そうという意欲を持つ人 (5) 理学療法の実践を通して社会へ貢献し、奉仕しようとする意欲に満ち溢れた人	
保健学科 作業療法学専攻 <b>【作業療法学プログラム】</b>	作業療法学プログラムでは、次のような学生を求めています。 (1) 作業療学分野での研究者、教育者又は行政職、あるいは国内のみならず国際的な指導的臨床実践者として、社会に貢献しようとする意欲と情熱のある人 (2) 社会の一員としての良識を持って行動する人 (3) 高いコミュニケーション能力を持ち、周囲の人と良好な関係を築き、協調して働くことができる人 (4) 積極的に学び、自己の能力を開拓する努力を惜しまない人 (5) 困難や問題に遭遇しても、冷静に、かつ前向きに対処しようとする人	

## 学部のアドミッション・ポリシー

### (1) 教育理念

21世紀の歯科医療人に求められるのは、急速な生命科学の進歩を理解し、生物学的根拠に基づく個体を対象とした病因の特定と、それを標的とした予防・診断・治療を開発し実践できる人材です。広島大学歯学部では、高度な学識と医療技術、科学的探究心を身につけさせ、豊かな人間性を培った21世紀の医療分野で活躍する歯科医療人を育成します。そして、歯科医学、歯科医療、口腔保健及び福祉の分野において、人と社会のために貢献し国際的に活躍できる人材を輩出します。

### (2) 教育プログラム

#### ① 教育目的

歯科医学、口腔保健学、口腔工学分野のリーダーを養成し、先端的歯科医療、地域医療、口腔保健医療を推進する教育者・研究者を日本のみならず国際社会に送りだします。

#### ② 教育課程の特色

3つの主専攻プログラム(歯学プログラム、口腔保健学プログラム、口腔工学プログラム)が協働して、生命科学に立脚し、エビデンスに基づいた歯科医療を全身との関わりの中で行うことができるバイオデンティスト(歯科医師)、患者の口腔状態を適切に管理することで全身の健康維持を図ることができるオーラルヘルスマネージャー(歯科衛生士)、置換再生医療(CAD/CAM や組織工学)を行う為の先進的な歯科医用工学技術を身につけたオーラルエンジニア(歯科技工士)を育成するために特色ある教育を実践します。

1. 基礎歯科医学教育と臨床歯科医学教育を連携させたバイオデンタル教育を実践します。
2. 英語・日本語2か国語教育を導入し、国際社会で活躍すべく歯科医療人育成教育を実践します。
3. バイオデンティスト、オーラルヘルスマネージャー、オーラルエンジニアの連携はもとより、医師を含めた医療関連職種とのチーム医療の実践教育を推進し、地域社会で活躍する歯科医療人の育成教育を実践します。
4. 海外医療支援活動を支援し、海外留学支援制度を整備するとともに、海外姉妹校との学生交流をとおして、国際交流を基盤とした国際人育成教育を実践します。

### (3) 求める学生像

歯学部では、入学段階において、将来医療人となるに十分な豊かな人間性を備えていると同時に、専門職医療人として高度な学識と医療技術を身につけるための科学的探究心をもち、幅広い知識を統合して問題解決を図ることができ、国際社会で活躍する強い意志を持った学生を求めます。

### (4) 入学者選抜の方針

#### 【一般入試(前期日程)】

##### ① 目的及び対象としている受験層

- ・ 歯学科では、大学で学ぶために必要な基礎学力を備える豊かな人間性を持つ受験者を対象に、筆記試験(大学入試センター試験と個別学力検査)と面接試験により入学者選抜を行います。
- ・ 口腔健康科学科口腔保健学専攻では、大学で学ぶために必要な基礎学力と豊かな人間性を備え、将来、口腔保健学分野で活躍する意欲がある受験者を対象に、筆記試験(大学入試センター試験と個別学力検査)と面接試験により入学者選抜を行います。
- ・ 口腔健康科学科口腔工学専攻では、大学で学ぶために必要な基礎学力と豊かな人間性を備え、将来、口腔工学分野で活躍する意欲がある受験者を対象に、筆記試験(大学入試センター試験と個別学力検査)と面接試験により入学者選抜を行います。

##### ② 実施教科・科目・配点等

- ・ 歯学科では、大学入試センター試験(5教科7科目、900点)、個別学力検査(数学、理科、外国語、1200点)及び面接により「求める学生像」にそった学生を選抜します。なお、面接試験においては複数の面接員で歯科医療人としての適正等を評価し入学の可否を決定します。
- ・ 口腔健康科学科口腔保健学専攻では、大学入試センター試験(5又は6教科6又は7科目、800点)、個別学力検査(国語・数学・理科から1、外国語、400点)及び面接(200点)により「求める学生像」にそった学生を選抜します。
- ・ 口腔健康科学科口腔工学専攻では、大学入試センター試験(5教科6科目、800点)、個別学力検査(数学、理科、外国語、500点)及び面接により「求める学生像」にそった学生を選抜します。なお、面接試験においては複数の面接員で歯科医療人としての適正等を評価し入学の可否を決定します。

#### 【一般入試(後期日程)】

##### ① 目的及び対象としている受験層

- ・ 歯学科では、大学で学ぶために必要な基礎学力を備え、将来バイオデンティストとして国際社会で研究者・教育者・医療者をめざす意欲あふれる豊かな人間性を備えた受験者を対象に、大学入試センター試験に加え小論文と面接試験により入学者選抜を行います。
- ・ 口腔健康科学科口腔工学専攻では、大学で学ぶために必要な基礎学力と豊かな人間性を備え、口腔工学分野で活躍する意欲がある受験者を対象に、大学入試センター試験と面接試験により入学者選抜を行います。

##### ② 実施教科・科目・配点等

- ・ 歯学科では、大学入試センター試験(5教科7科目、900点)、小論文(450点)及び面接(300点)により「求める学生像」にそった学生を選抜します。なお、小論文や面接試験においては、学習意欲や国際社会で活躍する意欲、医療人としての適正等を点数化して評価します。
- ・ 口腔健康科学科口腔工学専攻では、大学入試センター試験(5教科6科目、800点)及び面接(200点)により「求める学生像」にそった学生を選抜します。

#### 【AO入試(総合評価方式Ⅱ型)】

##### ① 目的及び対象としている受験層

- ・ 歯学科では、高等学校の学習成績が良好で、合格した場合必ず入学することを確約できる学生を対象に入学者選抜をおこない、将来バイオデンティストとして国際社会で研究者・教育者・医療者をめざす意欲あふれる豊かな人間性を備えた学生を選抜します。

- ・ 口腔健康科学科口腔保健学専攻では、高等学校の学習成績が良好で、合格した場合必ず入学することを確約できる学生を対象に入学選抜を行い、将来、オーラルヘルスマネージャー、歯科衛生士、養護教諭をめざす意欲にあふれ、豊かな人間性を備えた学生を選抜します。
- ・ 口腔健康科学科口腔工学専攻では、高等学校の学習成績が良好で、合格した場合必ず入学することを確約できる学生を対象に入学選抜を行い、将来、オーラルエンジニア、歯科技工士、メディカルアーティストをめざす意欲にあふれ、豊かな人間性を備えた学生を選抜します。

② 実施教科・科目・配点等

- ・ 歯学科では、出願書類(200点)、小論文(500点)、面接(500点)及び大学入試センター試験(5教科7科目、900点の内、概ね合格基準点 650 点以上であることが必要)の結果を総合して、「求める学生像」にそった学生を選抜します。
- ・ 口腔健康科学科口腔保健学専攻では、出願書類(200点)、小論文(500点)、面接(500点)及び大学入試センター試験(5又は6教科6又は7科目、800点の内、概ね合格基準点 500 点以上であることが必要)の結果を総合して、「求める学生像」にそった学生を選抜します。
- ・ 口腔健康科学科口腔工学専攻では、出願書類(200点)、小論文(500点)、面接(500点)及び大学入試センター試験(5教科6科目、800点の内、概ね合格基準点 500 点以上であることが必要)の結果を総合して、「求める学生像」にそった学生を選抜します。

【私費外国人留学生入試】

① 目的及び対象としている受験層

- ・ 歯学科では、大学で学ぶために必要な基礎学力・英語力を備え、歯科臨床で必要となる日本語の基礎能力に優れ、将来バイオデンティストとして国際社会で研究者・教育者・医療者をめざす意欲あふれる豊かな人間性を備えた学生を選抜します。
- ・ 口腔健康科学科口腔保健学専攻では、豊かな人間性を備えるとともに、大学で学ぶために必要な基礎学力・英語力・日本語力を有し、将来、口腔保健学分野で活躍する意欲がある学生を選抜します。
- ・ 口腔健康科学科口腔工学専攻では、豊かな人間性を備えるとともに、大学で学ぶために必要な基礎学力・英語力・日本語力を有し、将来、口腔工学分野で活躍する意欲がある学生を選抜します。

② 実施教科・科目・配点等

- ・ 「大学入試センター試験」又は「日本留学試験及び TOEFL®テスト又は TOEIC®テスト」のいずれかの成績と個別学力検査、面接及び書類審査の結果を総合して、「求める学生像」にそった学生を選抜します。

募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)

学科・専攻・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
歯学科 【歯学プログラム】	<p>歯学プログラムでは、豊かな人間的教養を備えると同時に、幅広い知識を統合して問題解決を図ることができ、地域社会や国際社会に貢献できる人材の育成を目指しています。そこで、「歯学プログラム」を履修できる人材として、次のような学生を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 高等学校までの基礎的学力を幅広く身につけ、既存の学問分野の枠を越えて、より広い視野で世界を見よと考えている人</li> <li>(2) 知的好奇心に満ち、自ら問題を発見し、その問題の背景を理解し、問題解決の道を洞察しようとする意欲を持つ人</li> <li>(3) 入学段階で人としての豊かな感性、倫理観、協調性、相互扶助の精神にたけ、人体特に口腔や顔面に対して人一倍関心がある人</li> <li>(4) 将来、歯科医療人として地域や社会のリーダーとなり、あるいは国際社会をリードする生命学者や国際医療人となり活躍することを目指す人</li> </ol>	
口腔健康科学科 口腔保健学専攻 【口腔保健学プログラム】	<p>口腔保健学プログラムでは、専門職医療人として高度な学識と医療技術、科学的探究心及び豊かな人間性を培い、歯科医学・医療・口腔保健及び福祉の分野において、人と社会のために貢献する人材の育成を目指しており、次のような学生を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 高等学校での基礎的・基本的な学力を、幅広くきちんと身につけている人</li> <li>(2) 下記のいずれかにはまる人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口腔健康科学分野の教育者となる熱意がある</li> <li>・ チーム医療の一員として活躍する意欲がある</li> <li>・ 新しい学問である「口腔健康科学」を切り拓く意欲がある</li> </ul> </li> <li>(3) 将来、歯学、医学、保健学及び福祉に関する知識並びに技術を統合した口腔健康科学の確立と高度専門化及び体系化、あるいは国際的な口腔健康科学の教育研究拠点の構築のために活躍する歯科衛生士あるいは養護教諭になることを目指す人</li> </ol>	
口腔健康科学科 口腔工学専攻 【口腔工学プログラム】	<p>口腔工学プログラムでは、専門職医療人として高度な学識と医療技術、科学的探究心及び豊かな人間性を培い、歯科医学・医療・口腔保健及び福祉の分野において、人と社会のために貢献する人材の育成を目指しており、次のような学生を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 高等学校での基礎的・基本的な学力を、幅広くきちんと身につけている人</li> <li>(2) 下記のいずれかにはまる人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口腔健康科学分野の教育者となる熱意がある</li> <li>・ チーム医療の一員として活躍する意欲がある</li> <li>・ 新しい学問である「口腔健康科学」を切り拓く意欲がある</li> </ul> </li> <li>(3) 将来、歯学、医学、保健学及び福祉に関する知識並びに技術を統合した口腔健康科学の確立と高度専門化及び体系化、あるいは国際的な口腔健康科学の教育研究拠点の構築のため、オーラルエンジニアとして活躍できる医療マインドを持った企業人、歯科技工士、メディカルアーティストになることを目指す人</li> </ol>	

# 薬学部

## 学部のアドミッション・ポリシー

### (1) 教育理念

「人類の健康増進と福祉の実践者にふさわしい豊かな人間性と幅広い教養を身につけ、専門職となるための基礎的知識、技能及び態度を修得することにより、科学的思考力と創造性を発揮し得る人材を育成すること」を学部教育の理念としています。

### (2) 教育プログラム

#### ① 教育目的

上記の理念を実現するために、以下の能力を育成することを教育目標とします

- ・ 薬学部で学ぶ学問領域を科学的に理解することが出来る能力
- ・ 薬学・医療の進歩と改善を目指して、研究を遂行する意欲と問題発見・解決を行う能力
- ・ 人の命と健康な生活を守る使命感・責任感及び倫理観を有する能力
- ・ 薬学領域の様々な問題点をグローバルな視点から分析することができる能力

#### ② 教育課程の特色

薬学部では膨大な学問領域を、専門基礎科目、専門科目に分けて体系的に学べるように工夫しています。また、実験実習を必修にしていることで、講義のみではなくより深く理解できるように配慮しています。3年次には患者志向型合宿勉強会を実施し、医療系学部として使命感、倫理観を育てています。3年次後期から卒業研究を行い、薬学研究の実践を行うことで研究マインドの育成を行っています。

### (3) 求める学生像

薬学部では、次のような学生を求めています。

1. 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、特に数学・英語・理科に高い学力を有する人
2. 化学や生命科学を積極的に学ぼうとする人。医療や薬を必要とする人たちの立場を真に理解し、医療の質の向上と薬学研究の進歩発展に貢献したいと考える人
3. 大学院に進学して最先端の創薬科学を学び、国際的にも活躍できる創薬研究者・技術者・次世代医療開発者、高度医療情報提供者、環境・衛生技術者等の職能人となることを志す人。あるいは、高度な知識と技術を身につけ、チーム医療の中で科学的観点から意見が言える専門性の高い薬剤師となることを志す人

### (4) 入学者選抜の方針

#### 【一般入試(前期日程)】

- ・ 幅広い基礎知識を身につけ、理数系科目及び外国語について十分な学力を有する人を選抜します。
- ・ 大学入試センター試験(5教科7科目)及び個別学力検査(数学, 理科, 外国語)により選抜します。

#### 【AO入試(総合評価方式Ⅱ型)】

- ・ 1次選考では出願書類, 最終選考では面接及び大学入試センター試験(5教科7科目で概ね700点以上)の結果を総合して、「求める学生像」にそった学生を選抜します。

#### 【私費外国人留学生入試】

- ・ 幅広い基礎知識を身につけ、理数系科目及び外国語について十分な学力を有する人を選抜します。
- ・ 「大学入試センター試験(5教科7科目)」又は「日本留学試験及びTOEFL®テスト又はTOEIC®テスト」及び個別学力検査(数学, 理科, 外国語)により選抜します。

## 募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)

学科・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
薬学科 【薬学プログラム】	<p>薬学プログラムでは、人類の健康増進と福祉の実践者にふさわしい豊かな人間性と幅広い教養を身につけ、基礎的知識、技能及び態度を修得することにより、科学的思考力を備え優れた医療人となり得る人材を育成することを目指しており、次のような学生を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、特に数学・英語・理科に高い学力を有する人</li> <li>(2) 医療や薬を必要とする人たちの立場を真に理解し、医療の質の向上と薬学研究の進歩発展に貢献したいと考える人</li> <li>(3) 高度な知識と技術を身につけ、チーム医療の中で科学的観点から意見が言える専門性の高い薬剤師となることを志す人</li> </ol>	
薬科学科 【薬科学プログラム】	<p>薬科学プログラムでは、人類の健康増進と福祉の実践者にふさわしい豊かな人間性と幅広い教養を身につけ、基礎的知識、技能及び態度を修得することにより、科学的思考力と創造性を発揮し得る人材を育成することを目指しており、次のような学生を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、特に数学・英語・理科に高い学力を有する人</li> <li>(2) 化学や生命科学を積極的に学ぼうとする人。医薬品の創製と薬学研究の進歩発展に貢献したいと考える人</li> <li>(3) 大学院に進学して最先端の創薬科学を学び、国際的にも活躍できる創薬研究者・技術者・次世代医療開発者、高度医療情報提供者、環境・衛生技術者などの職能人となることを志す人</li> </ol>	

# 工学部

## 学部のアドミッション・ポリシー

### (1) 教育理念

工学の目的は、具現化の探求です。すなわち、自然との調和の中で、社会における要請や課題を解決するための具体的方策を科学的な知識・技術に基づいて検討し、実現することです。

工学部は、工学上の学術や技術に関する教育研究を推進し、工学の目的を達成するための基礎能力・応用能力とともに社会性や自律性を備えた人材を育成して豊かな社会を作り、さらには人類の平和、発展や存続に貢献することを目的としています。特に、環境問題等の社会的課題を敏感に察知し、高度情報化等の進歩に的確に対応し、かつ、成果を内外に正しく発信できるコミュニケーション能力を備えた研究者・技術者の育成を目指しています。

### (2) 教育プログラム

#### ① 教育目的

工学部では、我が国の工学に関わる人材養成、基礎教育の場として、次に示す教育の目的・目標を定めています。

##### ■ 工学部の教育目的

1. 工学の目的を理解させ、社会性、自立性を養うこと
2. 工学に必要な基礎的知識を習得させること
3. 工学に携わる能力を身につけさせること
4. 工学を継承、発展させる人材を育成すること

##### ■ 工学部の教育目標

1. 人・社会・自然と工学の関わりを重視する教育の実施
2. 論理的思考力、解析・統合能力の養成
3. 確実な基礎に立つ総合力の養成
4. 広い視野、柔軟な適応力や想像力の養成、及び自己啓発・研鑽意欲の醸成
5. 高度情報化への適応
6. コミュニケーション能力の向上

#### ② 教育課程の特色

工学部では、類制度を採用しており、第一類から第四類までの4つの類組織があり、それぞれの類の中にはいくつかの課程(プログラム)があります。

これは、初めから専門分野に分けることによる知識の細分化・断片化の弊害をなくし、進歩・発展の著しい工業化社会に対応して、広い視野と基礎学力を身につけた技術者と高いレベルの自主的研究能力をもつ人材を養成することを目的として、類制度を導入しています。

この目的を達成するために工学部では、工学に関する基礎知識を重視しつつ、専門科目の特定の狭い分野に偏らないような複合型のカリキュラムを用意しています。

学生は、入学直後は類共通の授業を受け、その後、課程(プログラム)に配属され、より専門的な教育を受けることになります。

### (3) 求める学生像

工学部では、工学を培い、工学を通じて人の社会のために働く人材の育成を目指しており、次のような学生を求めています。

1. 基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、特に理科や数学に高い学力を有する人
2. 工学に興味を持ち、これを学ぶことに意欲を有する人
3. 工学を通じて社会に貢献することを目標とする人

#### 大学入学までに身につけておくべき教科・科目等 [工学部のすべての類に共通]

各高等学校が定める教育課程表に従い、すべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさないように履修していることが望まれます。特に、工学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学、理科、英語に関しては、下記の科目の内容を理解していることが望まれます。

数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B

理科については、物理基礎・物理、化学基礎・化学

英語については、リーディング、ライティング

### (4) 入学者選抜の方針

#### 【一般入試(前期日程)】

- ・ 大学教育を行う上で必要となる学力に関連して、主に高等学校等で培われる教科・科目の学力を受験者がどれだけ身につけているかを測ります。
- ・ 大学入試センター試験(5教科7科目)及び個別学力検査(数学、理科、外国語)により、「求める学生像」に沿った学生を選抜します。

#### 【一般入試(後期日程)】

- ・ 大学教育を行う上で必要となる学力に関連して、主に高等学校等で培われる教科・科目の学力を受験者がどれだけ身につけているかを測ります。
- ・ 大学入試センター試験(第一類・第三類・第四類は3教科5科目、第二類は4教科6科目)及び個別学力検査等(面接)により、「求める学生像」に沿った学生を選抜します。

#### 【AO入試(総合評価方式Ⅰ型)】

- ・ 志望する類の学問領域への関心、工学部で学びたいという意欲、学ぶための必要な学力等を重視して評価します。
- ・ 出願書類、小論文試験及び面接試験を総合して、「求める学生像」に沿った学生を選抜します。

#### 【AO入試(総合評価方式Ⅱ型)】

- ・ 志望する類の学問領域への関心、工学部で学びたいという意欲、学ぶための必要な学力等を重視して評価します。

- ・ 出願書類, 小論文試験, 面接試験及び大学入試センター試験を総合して, 「求める学生像」に沿った学生を選抜します。
- 【私費外国人留学生入試】**
- ・ 大学教育を行う上で必要となる学力を受験者(外国人留学生)がどれだけ身につけているかを測ります。
  - ・ 「大学入試センター試験」又は「日本留学試験及び TOEFL®テスト又は TOEIC®テスト」のいずれか及び個別学力検査(前期日程のみ), 書類審査及び面接を総合して, 「求める学生像」に沿った学生を選抜します。
- 【第3年次編入学試験】**
- ・ 工学部の専門教育を行う上で必要となる学力を受験者がどれだけ身につけているかを測ります。
  - ・ 筆記試験(第一類のみ), 面接及び出願書類を総合して, 「求める学生像」に沿った学生を選抜します。

**募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)**

類・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
第一類 (機械システム工学系) <b>【機械システム工学系プログラム】</b>	機械システム工学系プログラムでは, 工学部共通の求める学生像に準じて, 以下のような学生を求めています。 (1) 機械システム工学を学ぶために十分な学力があり, 特に数学, 理科(物理, 化学), 英語に高い学力を有し, できれば実用英語技能検定において高い等級又は TOEIC®等において高スコアを有する人 (2) 自らの問題意識に基づいて主体的に学習し, 様々な課題に対して多面的及び創造的に取り組む人 (3) 機械システムエンジニアとして国際的な活躍を希望する人, 又は先端領域の研究者や専門家になることを希望する人	
第二類 (電気・電子・システム・情報系) <b>【電気・電子・システム・情報系プログラム】</b>	電気・電子・システム・情報系プログラムでは, 電気・電子・システム・情報工学を通じて, 人と社会のために働く人材の育成を目指しています。基礎学力を身につけた人で, 特に次のような学生を求めています。 (1) 科学的現象に特に興味を持ち, これまでに深く掘り下げて学習した経験がある人 (2) モノ作りが好きで, これまでに何かを創意工夫して作った経験がある人 (3) 集積回路やコンピュータハードウェアに興味があり, これらを設計開発したいと考えている人 (4) 複雑な現象を数学的に表現・分析することに興味がある人 (5) 自分のアイデアをソフトウェアなどによって実現することに興味がある人 (6) TOEIC®, 実用英語技能検定等において好成绩を修めた優れた語学力を有しており, 第二類に関連する分野で国際的に活躍することを目指している人	
第三類 (化学・バイオ・プロセス系) <b>【応用化学プログラム】</b> <b>【化学工学プログラム】</b> <b>【生物工学プログラム】</b>	応用化学プログラム, 化学工学プログラム, 生物工学プログラムでは, 化学・バイオ・プロセス分野の幅広い基礎学力を培い, 新技術を通じて人と社会のために働く人材の育成を目指しています。以下のような学生を求めています。 (1) 化学・物理・生物を学ぶために必要な基礎学力があり, 下記のいずれかに該当する人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資源・新エネルギーの開発とその有効利用技術の開発や環境保全に携わる意欲を持つ</li> <li>・ 人類の生活を豊かにする新しい機能材料や化学物質を発見・発明することに関心を持つ</li> <li>・ 動植物・微生物を利用したバイオテクノロジーにより社会に貢献する意欲を持つ</li> <li>・ 医薬・食品・プラスチックの製造に関わる化学装置の開発・設計に携わる意欲を持つ</li> </ul> (2) 将来, 化学・バイオ・プロセス分野の専門知識を生かして国内・国際社会において指導的な役割を担うことを希望する人, 又は大学院に進学し化学・バイオ・プロセス分野の先進的な研究者や専門家になることを希望する人	 応用化学  化学工学  生物工学
第四類 (建設・環境系) <b>【社会基盤環境工学プログラム】</b> <b>【輸送機器環境工学プログラム】</b> <b>【建築プログラム】</b>	社会基盤環境工学プログラム, 輸送機器環境工学プログラム及び建築プログラムでは, 高い倫理感と強い使命感とを有し, 安全, 快適で環境に優しい国土, 生活空間, 輸送機器の計画, 創造, 維持, 再生を通して, 広く社会に貢献しうる人材の育成を目指しており, 次のような学生を求めています。 (1) 高等学校での基礎的, 基本的な学力を幅広くきちんと身につけ, 特に, 理科や数学に高い学力, 能力を有する人 (2) 建築, 社会基盤, 輸送機器環境のいずれかの分野に興味を持ち, これを学ぶことに意欲を有する人 (3) 建築, 社会基盤, 輸送機器環境のいずれかの分野を通して, 社会に貢献することを目指す人	 社会基盤環境工学  輸送機器環境工学  建築

# 生物生産学部

## 学部のアドミッション・ポリシー

### (1) 教育理念

生物生産学部は、人類の持続的生存と福祉の向上に貢献できる人材を養成するため、次の理念を基に教育・研究を行います。

- ・ 生物圏の環境保全
- ・ 環境に調和した食料の生産
- ・ 健康で豊かな食の創成
- ・ 生物資源に関わる知の創造
- ・ 地域と国際社会への貢献

### (2) 教育プログラム

#### ① 教育目的

生物生産学部は、環境と調和した持続可能な食料生産及び生物資源の活用を目指し、生物及び環境に関わる農学領域の知の継承と創造を通して教育研究を行うことにより、この領域の科学的知識と地球規模の広い視野をもって活躍し、社会に貢献し得る人材を養成することを目的とします。

#### ② 教育課程の特色

生物生産学部には生物圏環境学、水産生物学、動物生産科学、食品科学、分子細胞機能学の5コースがあり、それぞれに独自の教育プログラムを設けています。

1年次及び2年次前期までは主に教養科目を学びながら、生物生産学入門などの「専門基礎科目」や生物生産学に関連する実験や実習などを履修します。そして、2年次後期以降のコース選択に備えます。2年次後期には、5つのコースの一つに分属され、各コースが開講する教育プログラムの下で、専門分野について、深く学びます。4年から研究室での活動が本格化し、研究成果を卒業論文として完成させます。その過程において、問題の発掘と解決の能力を養い、それを表現するプレゼンテーション能力などを身につけます。

### (3) 求める学生像

生物生産学部では、環境と調和した持続可能な食料生産や生物資源の有効利用に関する教育・研究を行っています。こうした分野で深い科学的知識と広い視野をもって社会のために働く人材の育成を目指しており、次のような学生を求めています。

- ・ 高等学校での基礎的な学力を幅広く身につけ、特に理数科目に高い学力を有する人
- ・ 食料や環境に関して問題意識が高い人
- ・ 将来、食料や環境に係わる仕事に就いて地域や国際社会で活躍する志を持つ人

### (4) 入学者選抜の方針

#### 【一般入試(前期日程)】

- ・ 高等学校等において基礎学力を幅広く身につけている人を選抜します。
- ・ 大学入試センター試験(5教科7科目)及び個別学力検査(数学・理科・外国語)の総合点で判定します。

#### 【一般入試(後期日程)】

- ・ 高等学校等において基礎学力を幅広く身につけている人を選抜します。
- ・ 大学入試センター試験(5教科7科目)、及び個別学力検査(面接)の総合点で判定します。

#### 【AO入試(総合評価方式Ⅱ型)】

- ・ 基礎的な学力を幅広く身につけた上で、以下のいずれかに該当する人を選抜します。
  - ・ 高等学校において水産、農業及び食品製造などを学び、さらにその分野を探究したい
  - ・ 理数科目が特に得意である
  - ・ 自然科学などの分野において活発な研究活動を行い、その成果を挙げた
  - ・ ボランティア、クラブ及び生徒会などの活動において積極的に活躍した
  - ・ 生物チャレンジで優秀な成績を収めた
- ・ 食料や環境に関して問題意識が高く、陸や海などのフィールドで物事を創造的に探求する行動力がある人を選抜します。
- ・ 将来、食料や環境に係わる仕事に就いて地域や国際社会で活躍する志を持つ人、あるいは食料や環境の分野で大学院に進学し研究者や専門家になることを希望する人を選抜します。
  - ・ 第1次選考 出願書類を総合して判定します。
  - ・ 第2次選考 A型・C型…セミナーと面接の総合点で判定します。  
B型…面接の点数で判定します。
  - ・ 最終選考 大学入試センター試験の得点が合格基準点以上である場合最終合格者となります。

#### 【AO入試(フェニックス方式)】

- ・ 基礎学力を幅広く身につけており、それに加え勉学への強い意欲を持つ満50歳以上の人を選抜します。
- ・ 面接により段階評価を行い、志望理由書を含めて総合的に判定します。

#### 【私費外国人留学生入試】

- ・ 基礎学力を幅広く身につけており、一定の日本語・英語能力を備えた日本国籍を有しない人を選抜します。
- ・ 「大学入試センター試験」又は「日本留学試験及びTOEFL®テスト又はTOEIC®テスト」のいずれかの得点と個別学力検査の得点で総合的に判定します。

#### 【第3年次編入学試験】

- ・ 出身学校において専門を学ぶのに必要な基礎学力を修得し、明確な目的意識と強い学習意欲を持つ人を選抜します。
- ・ 英語(TOEFL®テスト又はTOEIC®テストのスコア証明書)、小論文及び面接の結果から総合的に判定します。

募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)

学科・プログラム	バーコード	学科・プログラム	バーコード
生物生産学科 【生物圏環境学プログラム】		生物生産学科 【食品科学プログラム】	
生物生産学科 【水産生物科学プログラム】		生物生産学科 【分子細胞機能学プログラム】	
生物生産学科 【動物生産科学プログラム】			

# 学生生活のサポート

## 経済支援について

学生が経済事情に関わらず、安心して修学することができるよう、さまざまな経済支援制度を整備しています。

### (1) 入学料免除・徴収猶予制度／授業料免除制度／広島大学修学継続奨励金制度

入学料免除・徴収猶予制度	授業料免除制度	広島大学修学継続奨励金制度
入学前一年以内に特別な事情により、入学料の支払いが困難となった場合に、本人からの申請に基づき、入学料の支払いを免除又は入学料の徴収を一定期間猶予する制度です。	経済的事情等により、授業料の支払いが困難な場合に、本人からの申請に基づき、授業料の全額又は半額を免除する制度です。	各学期の授業料免除申請者のうち、授業料免除基準に適合しながら予算の都合により不許可となった人に、当該学期分授業料の半額相当額を支給する制度です。

※入学料及び授業料の免除等の選考は、本学の定める基準(学力・経済的困窮度)を満たしている人について、ご家庭の経済状況等により、困窮度の高い人から順に予算の範囲内で行います。

### (2) フェニックス奨学制度

学力が優秀でありながら、経済的理由により大学進学が困難な人を支援するため、本学独自の奨学制度を設けています。詳細は次ページを参照してください。

区 分	内 容
採用人数	新入生 10 名程度
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金給付(月額 10 万円)</li> <li>・入学料全額免除</li> <li>・在学中の授業料全額免除</li> <li>・本学の大学院に進学した場合は、奨学生として継続支援</li> </ul>
申請資格	AO 入試(総合評価方式Ⅱ型)又は一般入試(前期日程)の受験者のうち、 ①学力の基準 及び ②経済的困窮度の基準 をともに満たす人

### (3) 奨学金

経済的理由により、修学の継続が困難な学生は、奨学金貸与又は給付制度に申請することができます。奨学金には、「日本学生支援機構」、「地方公共団体」、「民間財団」によるものがあります。

本学では、現在約 4 割の学生が日本学生支援機構奨学金の貸与を受けています。

#### ① 日本学生支援機構奨学金

種 別	貸与月額
第一種(無利子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅通学 30,000 円・45,000 円から選択</li> <li>・自宅外通学 30,000 円・51,000 円から選択</li> </ul>
第二種(有利子※)	30,000 円・50,000 円・80,000 円・100,000 円・120,000 円から選択

※ 卒業又は退学後に、貸与額に対して利息(上限年利 3%で、利率固定型・利率見直し型を選択)がつきます。

#### ② その他の奨学金

広島大学では、地方公共団体や民間財団による奨学金を取り扱っています。受給資格や貸与・給付金額などの情報は、本学ホームページをご覧ください。

<各種問合せ先>		
広島大学教育・国際室 学生生活支援グループ	〒739-8514 東広島市鏡山一丁目 7 番 1 号	
入学料免除・授業料免除・フェニックス奨学制度・広島大学学生健康保険組合などのご相談	TEL 082-424-6168	FAX 082-424-6159
奨学金のご相談	TEL 082-424-6169	E-mail gkeizai-group@office.hiroshima-u.ac.jp

経済支援に関する本学ホームページ

 <b>もみじ MOMIJI</b> (学生生活のサポート)	<a href="https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/financial.html">https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/financial.html</a>	
---	---	---

# 広島大学フェニックス奨学制度

入学料  
全額免除

&

在学中の授業料  
全額免除

&

月額 10 万円の  
奨学金給付

「広島大学フェニックス奨学制度」は、学力が優秀でありながら経済的理由により大学進学が困難な人を支援するための、広島大学独自の奨学制度です。

## 1.概要等

支援内容・・・入学料全額免除，在学中の授業料全額免除，奨学金の給付（月額10万円）

採用人数・・・学部新入生10人程度

※本学の大学院へ引き続き進学した場合は，奨学生として支援を継続します。

※在学期間中は，本学が定める成績基準を満たす必要があります。

## 2.申請方法

対象・・・次の入学試験の志願者のうち，「3.選考基準」に掲げる2つの基準を満たす方

AO入試（総合評価方式Ⅱ型） または 一般入試（前期日程）

※本制度を希望する方は，お電話で申請書類をご請求の上，次の期限までに申請手続きを行ってください。

申請書類配付期間：平成27年1月5日（月）～平成27年1月22日（木）

申請手続期限：AO入試（総合評価方式Ⅱ型）志願者 平成27年1月30日（金）

一般入試（前期日程）志願者 平成27年2月4日（水）

※申請には源泉徴収票や確定申告書など年収を証明する書類等が必要ですので，早めにご準備ください。

## 3.選考基準

選考方法・・・本制度に申請された方のうち，「2.申請方法」に掲げた本学入学試験により合格し，以下の2つの基準を満たした方の中から10人程度を奨学生として選考します。

### ・成績優秀者の基準

大学入試センター試験得点が，志願する学部・学科等の大学入試センター試験配点合計の80%以上

### ・経済的困窮度の基準

経済的困窮度は，前年（平成26年1月～12月分）の総収入金額を対象とし，世帯員全員の年収・所得の合計金額から，家族構成や家庭事情等に応じて定めている特別控除額を差し引いた金額が，本学で定めた収入基準額以下であることが必要です。

### 【収入・所得の上限の目安】

収入の種類	給与所得（年金を含む）（年収） （「源泉徴収票」の支払金額）		給与所得以外（年収） （「確定申告書」の所得金額（税込））	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外
通学形態 世帯人数 3人	202万円	265万円	80万円	124万円
〃 4人	244万円	307万円	109万円	153万円
〃 5人	304万円	367万円	151万円	195万円

ホームページでもご確認いただけます。 <https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/keizaishien/phoenix.html>

### 【問合せ・申請書類請求先】

広島大学 教育・国際室 学生生活支援グループ

〒739-8514 東広島市鏡山一丁目7番1号 TEL: 082-424-6168, 6163 FAX: 082-424-6159



## 学生宿舎及び住居について

### (1) 池の上学生宿舎について（東広島市のみ設置。広島市には設置していません）

#### ① 所在地等

〒739-0046 東広島市鏡山二丁目 812 番地の 62

#### ② 応募資格

平成 27 年 4 月入学の学部学生（編入学生を含む）、大学院学生のうち、もともと経済的な通常の経路・方法によりその通学時間が片道概ね 2 時間を超え、かつ、経済的に困窮していると認められる者

※ 外国人留学生で入居希望の方は別途選考となりますので、教育・国際室学生生活支援グループ（留学生支援担当）(TEL 082-424-6181)まで問合せてください。

#### ③ 募集人員等

宿 舎 区 分	男子学生宿舎 (Aタイプ)	男子学生宿舎 (Bタイプ)	学生宿舎新館 (Cタイプ)	女子学生宿舎 (Dタイプ)
入 居 定 員	292 名	100 名	100 名	200 名
日本人募集人員	約 130 名	約 25 名	男子のみ約 30 名	約 70 名
寄 宿 料 (月 額)	7,500 円	4,700 円	15,000 円	4,700 円
共 通 経 費 (月 額)	1,400 円	1,500 円	700 円	1,500 円
設 備	・Aタイプ: (個室)ベッド(棚付)・机・椅子・エアコン・ミニキッチン等 (各階共用)洗濯室・浴室・トイレ・談話室(2・4階)			
	・B・Dタイプ: (個室)ベッド・机・椅子・エアコン・書籍棚・洗面・トイレ等 (各階共用)洗濯室・浴室・談話室・補食室			
	・Cタイプ: (個室)ベッド・机・椅子・エアコン・ミニキッチン・ 洗面・風呂・トイレ 3 点ユニット (各階共用)洗濯室			

入居許可期間は、平成 27 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 24 日までです。

募集人員等の内容は、平成 26 年 10 月時点での予定です。本学生募集要項発表後に変更となる場合がありますので、内容は入居者募集要項でご確認ください。学生宿舎の共用箇所（廊下、階段、浴室、トイレ等）の清掃及びゴミの収集分別は入居者自身で行いますので、ご了承ください。

#### ④ 入居者募集要項の請求方法等

「入居者募集要項」は、広島大学池の上学生宿舎ホームページよりダウンロードしてください。

(平成 26 年 12 月中旬掲載予定)

<b>広島大学 池の上学生宿舎 ホームページ</b>	<a href="http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/nyugaku/gakuhinado/gakuseisyukusya/">http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/nyugaku/gakuhinado/gakuseisyukusya/</a>	
------------------------------------	---	---

インターネットの環境がない方は、郵便番号・住所・氏名を明記し、140 円分の切手を貼付した返信用封筒(角形 2 号、縦 33.2 cm×横 24 cm)を送付し請求してください。封筒の表に「平成 27 年 4 月入学用池の上学生宿舎入居者募集要項の請求」と朱書してください。

＜入居者募集要項請求先及び選考書類提出先＞	
広島大学教育・国際室 学生生活支援グループ(学生宿舎担当)	〒739-8514 東広島市鏡山一丁目 7 番 1 号 TEL 082-424-6147

#### ⑤ 選考書類の提出期間及び選考結果について

ア 選考書類提出期間は、平成 27 年 1 月 19 日(月)から 2 月 6 日(金)まで(必着)です。

イ 選考結果について、「前期日程」は 3 月 9 日(月)、「後期日程」は 3 月 20 日(金)に本学ホームページにてお知らせします。

### (2) 住居について

#### ① 東広島市内の概要等

東広島市内には広島大学指定下宿(アパート・マンション等)が約 8,000 室あり、毎年 3 月に大学構内にて下宿・アパートの紹介を行っています。東広島市では、1Kもしくは 1DKタイプがほとんどで、6 畳から 10 畳・台所・バス・トイレ・エアコン(一部を除く)付きで、家賃は 25,000 円～45,000 円程度です。

#### ② 広島市内の概要等

広島市内では、1Kもしくは 1DKタイプのアパート等なら、6 畳から 8 畳・台所・バス・トイレ・エアコン(一部を除く)付きで、家賃は 30,000 円～80,000 円程度までいろいろあります。

## 入学志願票等記入上の注意

【志願票等記入による出願】で出願する場合の入学志願票等の記入はこの学生募集要項を熟読し、各事項に留意し「記入例」を参照の上、**太ワクの中のみ**記入してください。

- **黒のボールペン（摩擦熱等の温度変化で筆跡が透明化するペンは使用不可）**を用い、文字は楷書で丁寧に記入してください。
- 志望学部・学科等の選択教科・科目等については、出願後の変更を認めませんので、誤りのないよう記入してください。
- 受験票、写真票及び大学入試センター試験成績請求票を切り離さないでください。
- **誤って記入した場合は、二重線を引き、余白部分に訂正してください。**  
**訂正印は不要で、文字がマスからはみ出してもかまいません。**  
なお、修正液及び修正テープ等は使用しないでください。

### 入学志願票

入学志願票は、コンピュータ処理の原票とするため、記入するカタカナ、コード番号、数字等は、1コマに1字ずつ正確に記入してください。

#### ○「志望学部」欄

(記入例)

後期日程

志望学部	教育 学部	学科 第 四 類 (生涯活動教育系) 人間生活系 コース		専攻
	法学部及び経済学部の志願者のみ、出願するコースの数字を○で囲んでください。	昼間コース 1	夜間主コース 2	

- 1 教育学部の志願者は、志望するコースまで必ず記入してください。
- 2 医学部保健学科及び歯学部口腔健康科学科の志願者は、志望する専攻まで必ず記入してください。
- 3 法学部及び経済学部の志願者は、該当するコースの数字を○で囲んでください。

#### ○「氏名、性別、生年月日、満年齢」欄

(記入例)

氏 名	広 大 学				性別	生 年 月 日			満年齢	
	センター試験受験票の氏名と左記の氏名の漢字が異なる場合、置換を希望する漢字を記入してください。 (例) 崎→崎				④	⑤	⑥			平成27年 4月1日 現在
フリガナ (カタカナ)③	ヒロダイ マナブ				男 女	年 号	年	月	日	
					① 2	② H S	0 8	0 5	2 2	1 8

- 1 氏名欄に記入した氏名は、入学した場合に証明書等の記載データとしても使用します。大学入試センター試験受験票の漢字氏名と記入した漢字氏名が異なる場合、置換を希望する漢字（以下注も参照）を該当欄に記入してください。

(例) 「高崎 学」の場合、高→高、崎→崎 と欄内に記入してください。

- 2 フリガナ欄は、カタカナで1コマ1字ずつ記入してください。濁点「゛」半濁点「゜」は、1コマを使用し、姓と名の間を1コマあけてください。氏名が長くて記入できない場合は、書けるところまで書いてあとは打ち切ってください（以下注も参照）。
- 3 性別欄は、該当する数字を○で囲んでください。
- 4 生年月日の年号欄は、該当する記号を○で囲んでください。
- 5 満年齢欄は、平成27年4月1日現在で記入してください。

(注) 氏名又はフリガナについて、**本学のコンピュータ処理において表記できない文字については、文字が置換えられるか、カタカナ等で表記される場合があります。**  
また、字数制限により、すべての表記ができない場合があります。

○「出願資格」欄

(記入例)

出 願 資 格	出身学校 都道府県	広島 都 道 府 県		フリガナ	かみ や												出身学校名	国立 公立 私立	鏡 山	高等学校 中等教育学校 学 校		
	高等学校若しくは中等教育学校卒業者(卒業見込者を含む)										左記以外の出願資格						高等卒業年 資格取得年					
	課 程			学 科							卒業見込・ 卒業の別		外国 の学 校等	在 外 教 育 施 設	専 修 等 学 校 課 程	文 部 科 学 大 臣 の 指 定 学 校	高 等 学 校 卒 業 程 度 認 定 試 験	高 専 3 年 修 了 他	平	昭	年 号	年
	全 日 制	定 時 制	通 信 制	普 通 科	理 数 科	農 業 科	工 業 科	商 業 科	総 合 学 科	1 外 の 学 科	卒 業 見 込	卒 業	1	2	3	4	5	6	成	和	2	7
①	2	3	①	2	3	4	5	6	7	①	2	1	2	3	4	5	6	Ⓜ	Ⓢ			

- 1 「高等学校若しくは中等教育学校卒業者(卒業見込者を含む)」, 「左記以外の出願資格」欄は, 該当する数字を○で囲んでください(大学入学資格検定合格者は「高等学校卒業程度認定試験」欄に該当します)。
- 2 「高等卒業年, 資格取得年」欄は, 該当する記号を○で囲み, その年を記入してください。

○「系別, 受験科目」欄

(記入例)

前期日程

後期日程

系 別 ⑭	受 験 科 目	国 語	数 学	理 科				外 国 語				実 技			論 文	系 別⑭ (総合科学部, 教育学部第一類及び医学部保健学科の志願者のみ, 出願する系別の数字を○で囲んでください) 文科系 理科系 ① 2	
		⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘		
		国語総合・現代文・古典	数学A・数学B・数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ	数学A・数学B・数Ⅰ・数Ⅱ	物理基礎・物理	化学基礎・化学	生物基礎・生物	地学基礎・地学	ライティング	ドイツ語	フランス語	中国語	音楽	美術	体育		小 論
		1	②			○	○	○									

- 1 系別は, 「前期日程」の総合科学部, 教育学部第一類及び医学部保健学科の志願者のみ, 並びに「後期日程」の総合科学部, 教育学部第一類及び経済学部経済学科昼間コースの志願者のみ, 文科系・理科系の別に該当する数字を, それぞれ○で囲んでください。
- 2 受験科目は, 受験する科目名の空欄に○印を記入してください。

○「大学入試センター試験」欄

(記入例)

大学入試センター試験												
試験場コード						受験番号						発行回数
④⑥						④⑦						④⑧
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	I	

「大学入試センター試験」欄は, 「平成27センター試験成績請求票」の試験場コード, 受験番号, 発行回数を記入してください。

○「志願者連絡先」，「上記以外の連絡先」欄

(記入例)

志願者 連絡先	住所	〒 739-8511 東広島市鏡山1-3-2	電話	( 082 ) *** - 4567
			FAX	( 082 ) *** - 1234
			携帯	090 - **** - 1111
			メール <small>(パソコン又は携帯)</small>	manabuh@*****.ne.jp
上記以外の 連絡先 <small>(志願者連絡先 以外に、4月上旬 まで連絡が取れ る連絡先)</small>	住所	〒 108-0023 東京都港区芝浦3-3-6	氏名	千田 霞
			電話	( 03 )**** - 1234
			FAX	( 03 )**** - 5678
			携帯	080 - **** - 9012
メール <small>(パソコン又は携帯)</small>	kasumis@*****.ne.jp			

- 1 志願者へ確実に連絡できるように正確に記入してください。  
また、「上記以外の連絡先」欄は、緊急連絡又は3月28日以降の欠員補充実施の場合にも必要としますので、「志願者連絡先」欄以外に確実に連絡が取れる連絡先を、必ず記入してください。
- 2 「上記以外の連絡先」欄記載の内容が「志願者連絡先」欄と同じ場合は、「同上」と記入してください。
- 3 メール欄に記載されたメールアドレスは、電話・FAX・携帯に連絡が取れない場合で、緊急に連絡が必要な場合にのみ、使用することがあります。
- 4 出願後に住所又は電話番号等を変更した場合は、速やかに出願した学部の入試担当（裏表紙参照：法学部及び経済学部の夜間主コースは、各学部の昼間コース）に連絡してください。

○「大学入試センター試験受験教科・科目確認届」欄

(前期日程記入例：総合科学部総合科学科 理科系の場合)

大学入試センター試験受験教科・科目確認届												
【前期日程用】大学入試センター試験受験教科・科目チェック確認表（学生募集要項84・85又は88・89ページ参照）で、志願する学部・学科等が定めている大学入試センター試験の利用教科・科目について、正しく受験していることを確認し、その確認した志望学部・学科等の記号を下の確認欄から選び○で囲んでください。												
確認欄	A	ⓑ	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L

(後期日程記入例：工学部第二類の場合)

大学入試センター試験受験教科・科目確認届															
【後期日程用】大学入試センター試験受験教科・科目チェック確認表（学生募集要項86・87又は90・91ページ参照）で、志願する学部・学科等が定めている大学入試センター試験の利用教科・科目について、正しく受験していることを確認し、その確認した志望学部・学科等の記号を下の確認欄から選び○で囲んでください。															
確認欄	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	Ⓢ	ソ

- 1 志願する学部・学科等が定めている大学入試センター試験の受験を要する教科・科目について、間違いなく受験していることを、各日程用の「大学入試センター試験受験教科・科目チェック確認表」（学生募集要項84～91ページ参照）で確認し、その確認した志望学部・学科等の該当する記号を○で囲んでください。
- 2 出願受付後に、志願する学部・学科等が指定した平成27年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目の不足等（地理歴史・公民及び理科において、2科目を受験した場合、第1解答科目を各学部・学科等が指定した科目の中から選択していなければ、出願無資格となります）による出願無資格者であることが判明した者は、個別学力検査等の受験はできません。  
この場合には入学検定料の一部を返還することとなります。出願資格を満たしていないことが判明次第、本人へ通知します。

# 受験票

(記入例)

## 前期日程

1	②
文科系	理科系
<small>(総合科学部、教育学部第一類及び医学部保健学科の志願者のみ、出願する系列の数字を○で囲んでください)</small>	
系別	

受 験 科 目	○																				
	国語総合・近代以降の文章・現代文	国語総合・現代文・古典	数学Ⅰ・数学Ⅱ 数学Ⅲ・数学Ⅳ 数学Ⅴ(数Ⅰベクトル)	数学Ⅰ・数学Ⅱ 数学Ⅲ・数学Ⅳ 数学Ⅴ(数Ⅰベクトル)	物理基礎・物理	化学基礎・化学	生物基礎・生物	地学基礎・地学	ライティング・ライティング	ドイツ語	フランス語	中国語	音楽	美術	体育	小論文					
	国語	数	学		理 科				外 国 語				実 技		小論文						

## 注意事項

- 1 本受験票は、試験当日必ず携帯してください。
- 2 平成27年度大学入試センター試験受験票もあわせて携帯してください。
- 3 受験票は、合格後入学手続きに必要としますので、絶対に紛失しないでください。
- 4 各教科の試験開始30分前までに試験場に集合してください。

※上記受験科目欄は、受験者全員が必ず記入してください。

氏名	広 大 学		受験番号	
学部	医	学部	法学部及び経済学部の志願者のみ、出願するコースの数字を○で囲んでください。	昼間コース 1 夜間主コース 2
学科等	保健	学科	看護学	専攻 コース
	第 類 (		系)	

## 後期日程

氏名	広 大 学		受験番号	
学部	医	学部	法学部及び経済学部の志願者のみ、出願するコースの数字を○で囲んでください。	昼間コース 1 夜間主コース 2
学科等	医	学科		専攻 コース
	第 類 (		系)	

- 1 系別は、「前期日程」の総合科学部、教育学部第一類及び医学部保健学科の志願者のみ、文科系・理科系の別に、該当の数字を○で囲んでください。
- 2 受験科目は、受験する科目名の空欄に○印を記入し、入学志願票の「受験科目」欄と一致しているか確認してください。
- 3 法学部及び経済学部の志願者のみ、出願するコースの数字を○で囲んでください。
- 4 教育学部の志願者は、志望するコースまで必ず記入してください。
- 5 医学部保健学科及び歯学部口腔健康科学科の志願者は、志望する専攻名まで必ず記入してください。

## 写真票

(記入例)

後期日程

学 部	医 学部	法学部及び経済学部の志願者のみ、出願するコースの数字を○で囲んでください。	昼間コース 1 夜間主コース 2	<b>写真貼りつけ欄</b>  注 意 ・上半身、脱帽、正面向きで最近（3か月以内にカラー又は白黒で）撮影したもの（縦4cm×横3cm） ・裏に氏名・学部・学科等を記入
学 科 等	医 学科	専 攻	第 類 ( 系 )	
氏 名	広 大 学			

- 1 法学部及び経済学部の志願者のみ、出願するコースの数字を○で囲んでください。
- 2 教育学部の志願者は、志望するコースまで必ず記入してください。
- 3 医学部保健学科及び歯学部口腔健康科学科の志願者は、志望する専攻名まで必ず記入してください。
- 4 写真は、上半身、脱帽、正面向きで最近（3か月以内にカラー又は白黒で）撮影したもの（縦4cm×横3cm）で、裏に氏名・学部・学科等を記入し、はがれないように貼りつけてください。

## 大学入試センター試験成績請求票 (大学入試センター試験「受験案内」参照)

前	平成27センター試験成績請求票 国公立前期日程用
貼 り つ け 欄	

後	平成27センター試験成績請求票 国公立後期日程用
貼 り つ け 欄	

- 1 貼りつけ欄の枠に合わせて、はがれないように全面に糊づけし、貼りつけてください。
- 2 「前期日程」に出願する場合は、「前」国公立前期日程用を使用してください。
- 3 「後期日程」に出願する場合は、「後」国公立後期日程用を使用してください。
- 4 大学入試センター試験成績請求票の再発行を受けた場合は、再発行後の成績請求票を貼りつけてください。

(注) 成績請求票を貼りつけていない場合及び指定のものと異なる成績請求票を貼りつけている場合の入学志願票は、無効となります。注意してください。

**【前期日程用】新教育課程履修者のみ該当  
大学入試センター試験受験教科・科目チェック確認表**

学部・学科等	教科	確認欄	科	目	記号
総合科学部 (総合科学科 文科系)	国語			国語を受験した。	A
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	} から2科目を受験した。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。		
			「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup>	から1科目を受験した。	
	理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目又は物理, 化学, 生物, 地学から2科目を受験した。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			

学部・学科等	教科	確認欄	科	目	記号
総合科学部 (総合科学科 理科系) 教育学部 (第二類 自然系コース, 数理系コース, 技術・情報系コース) 工学部 (第二類) (第三類) (第四類)	国語			国語を受験した。	B
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	} から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。		
			「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup>	から1科目を受験した。	
	理科		物理, 化学, 生物, 地学から2科目を受験した。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			

学部・学科等	教科	確認欄	科	目	記号
教育学部 (第一類 初等教育教員養成コース 文科系, 特別支援教育教員養成コース 文科系) (第二類 社会系コース) (第三類 国語文化系コース, 英語文化系コース, 日本語教育系コース) (第四類 人間生活系コース) (第五類 教育学系コース, 心理学系コース)	国語			国語を受験した。	C
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, ※現代社会, 「倫理, 政治・経済」	} から2科目を受験した。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。		
			「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup>	から1科目を受験した。	
	理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目又は物理, 化学, 生物, 地学から2科目を受験した。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			

学部・学科等	教科	確認欄	科	目	記号
教育学部 (第一類 初等教育教員養成コース 理科系, 特別支援教育教員養成コース 理科系) 理学部 (数学科) (物理科学科) (化学科) (生物科学科) (地球惑星システム学科) 生物生産学部 (生物生産学科)	国語			国語を受験した。	D
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 現代社会, 「倫理, 政治・経済」	} から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。		
			「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup>	から1科目を受験した。	
	理科		物理, 化学, 生物, 地学から2科目を受験した。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			

学部・学科等	教科	確認欄	科	目	記号
教育学部 (第四類 健康スポーツ系コース, 音楽文化系コース, 造形芸術系コース)	国語			国語を受験した。	E
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	} から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup>		
	理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目又は物理, 化学, 生物, 地学から2科目を受験した。		
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		

学部・学科等	教科	確認欄	科	目	記号
法学部 (法学科昼間コース) (法学科夜間主コース)	国語			国語を受験した。	F
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, ※現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」	} から2科目を受験した。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup>		
	理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目又は物理, 化学, 生物, 地学から2科目を受験した。		
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		

(注1) 数学の「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者に限ります。

(注2) ※印を付している公民欄については, 公民を2科目選択することはできません。

**【前期日程用】新教育課程履修者のみ該当**  
**大学入試センター試験受験教科・科目チェック確認表**

学部・学科等	教科	確認欄	科	目	記号
<b>文学部</b> (人文学科)  <b>経済学部</b> (経済学科昼間コース) (経済学科夜間主コース)	国語			国語を受験した。	G
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, ※現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」	} から2科目を受験した。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。		
			「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目又は物理, 化学, 生物, 地学から2科目を受験した。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			

学部・学科等	教科	確認欄	科	目	記号
<b>医学部</b> (医学科) (保健学科 看護学専攻 <b>理科系</b> , 理学療法学専攻 <b>理科系</b> , 作業療法学専攻 <b>理科系</b> )  <b>歯学部</b> (歯学科)  <b>薬学部</b> (薬学科) (薬科学科)	国語			国語を受験した。	H
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	} から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。		
			「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理科		物理, 化学, 生物から2科目を受験した。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			

学部・学科等	教科	確認欄	科	目	記号
<b>医学部</b> (保健学科 看護学専攻 <b>文科系</b> , 理学療法学専攻 <b>文科系</b> , 作業療法学専攻 <b>文科系</b> )	国語			国語を受験した。	I
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	} から2科目を受験した。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。		
			「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から2科目又は物理, 化学, 生物から2科目を受験した。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			

学部・学科等	教科	確認欄	科	目	記号
<b>歯学部</b> (口腔健康科学科 口腔保健学専攻)	国語			国語を受験した。	J
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	} から1又は2科目を受験した(2科目を受験して1科目のみ利用する場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から2科目又は物理, 化学, 生物から1又は2科目を受験した(新教育課程の基礎を付していない2科目を受験して1科目のみ利用する場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。		
	数学		「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup>	} から1科目を受験した。	
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		

学部・学科等	教科	確認欄	科	目	記号
<b>歯学部</b> (口腔健康科学科 口腔工学専攻)	国語			国語を受験した。	K
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	} から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup>		
	理科		物理, 化学, 生物から1又は2科目を受験した(2科目を受験して1科目のみ利用する場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。		
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		

学部・学科等	教科	確認欄	科	目	記号
<b>工学部</b> (第一類)  (注)第二類, 第三類, 第四類 は「B」です。	国語			国語を受験した。	L
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	} から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。		
			「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理科		物理を受験した。 化学を受験した。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			

(注1) 数学の「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者に限ります。

(注2) ※印を付している公民欄については, 公民を2科目選択することはできません。

**【後期日程用】新教育課程履修者のみ該当  
大学入試センター試験受験教科・科目チェック確認表**

学部・学科等	教科	確認欄	科	目	記号
総合科学部 (総合科学科 文科系)	国語		国語	を受験した。	ア
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	} から2科目を受験した。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。		
	理科		「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		
総合科学部 (総合科学科 理科系) 教育学部 (第二類 自然系コース, 数理系コース, 技術・情報系コース)	国語		国語	を受験した。	イ
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	} から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。		
	理科		「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		
教育学部 (第一類 初等教育教員養成コース 文科系, 特別支援教育教員養成コース 文科系) (第二類 社会系コース) (第四類 人間生活系コース) (第五類 教育学系コース, 心理学系コース)	国語		国語	を受験した。	ウ
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, ※現代社会, 「倫理, 政治・経済」	} から2科目を受験した。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。		
	理科		「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		
教育学部 (第一類 初等教育教員養成コース 理科系, 特別支援教育教員養成コース 理科系) 生物生産学部 (生物生産学科)	国語		国語	を受験した。	エ
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 現代社会, 「倫理, 政治・経済」	} から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。		
	理科		「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		
教育学部 (第四類 健康スポーツ系コース, 音楽文化系コース, 造形芸術系コース)	国語		国語	を受験した。	オ
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	} から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup>		
	理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目又は物理, 化学, 生物, 地学から2科目を受験した。		
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		
法学部 (法学科昼間コース) (法学科夜間主コース)	国語		国語	を受験した。	カ
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」	} から1科目を受験した(地歴・公民は第1解答科目として受験した科目であること)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup>		
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		

(注1) 数学の「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者に限ります。

(注2) ※印を付している公民欄については, 公民を2科目選択することはできません。

**【後期日程用】新教育課程履修者のみ該当**  
**大学入試センター試験受験教科・科目チェック確認表**

学部・学科等	教科	確認欄	科 目	記号	
理学部 (数学科) (物理科学科) (地球惑星システム学科)	数 学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。	ク	
			「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理 科		物理, 化学, 生物, 地学から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。		
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		
理学部 (化学科)	数 学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。	ケ	
			「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理 科		物理, 化学, 生物, 地学から2科目を受験した。		
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		
医学部 (医学科)	国 語		国語を受験した。	コ	
	地 歴 ・ 公 民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」		から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。
		数 学			
			「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理 科		物理, 化学, 生物から2科目を受験した。		
	外国語		英語を受験した。		
歯学部 (歯学科)	国 語		国語を受験した。	サ	
	地 歴 ・ 公 民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」		から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。
		数 学			
			「数学Ⅱ・数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理 科		物理, 化学, 生物から2科目を受験した。		
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		
歯学部 (口腔健康科学科 口腔工学専攻)	国 語		国語を受験した。	シ	
	地 歴 ・ 公 民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」		から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。
		数 学			
	理 科		物理, 化学, 生物から1又は2科目を受験した(2科目を受験して1科目のみ利用する場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。		
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		
工学部 (第一類)	数 学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。	ス	
			「数学Ⅱ・数学B」を受験した。		
	理 科		物理を受験した。		
			化学を受験した。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			
工学部 (第二類)	国 語		国語を受験した。	セ	
	数 学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。		
			「数学Ⅱ・数学B」を受験した。		
	理 科		物理を受験した。		
			化学, 生物から1科目を受験した。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			
工学部 (第三類) (第四類)	数 学		「数学Ⅰ・数学A」を受験した。	ソ	
			「数学Ⅱ・数学B」を受験した。		
	理 科		物理を受験した。		
			化学, 生物から1科目を受験した。		
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		

(注1) 数学の「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者に限ります。

**【前期日程用】旧教育課程履修者のみ該当  
大学入試センター試験受験教科・科目チェック確認表**

学部・学科等	教科	確認欄	科	目	記号
総合科学部 (総合科学科 文科系)	国語		国語を受験した。		A
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	} から2科目を受験した。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。		
	数学		「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目又は物理, 化学, 生物, 地学から2科目, 若しくは旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから1科目を受験した(旧教育課程の2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			
総合科学部 (総合科学科 理科系) 教育学部 (第二類 自然系コース, 数理系コース, 技術・情報系コース) 工学部 (第二類 第三類 第四類)	国語		国語を受験した。		B
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	} から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。		
	数学		「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理科		物理, 化学, 生物, 地学から2科目, 又は旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから2科目を受験した。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			
教育学部 (第一類 初等教育教員養成コース 文科系, 特別支援教育教員養成コース 文科系) (第二類 社会系コース) (第三類 国語文化系コース, 英語文化系コース, 日本語教育系コース) (第四類 人間生活系コース) (第五類 教育学系コース, 心理学系コース)	国語		国語を受験した。		C
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, ※現代社会, 「倫理, 政治・経済」	} から2科目を受験した。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。		
	数学		「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目又は物理, 化学, 生物, 地学から2科目, 若しくは旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから1科目を受験した(旧教育課程の2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			
教育学部 (第一類 初等教育教員養成コース 理科系, 特別支援教育教員養成コース 理科系) 理学部 (数学科) (物理科学科) (化学科) (生物科学科) (地球惑星システム学科) 生物生産学部 (生物生産学科)	国語		国語を受験した。		D
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 現代社会, 「倫理, 政治・経済」	} から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。		
	数学		「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理科		物理, 化学, 生物, 地学から2科目, 又は旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから2科目を受験した。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			
教育学部 (第四類 健康スポーツ系コース, 音楽文化系コース, 造形芸術系コース)	国語		国語を受験した。		E
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	} から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup>		
	理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目又は物理, 化学, 生物, 地学から2科目, 若しくは旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから1科目を受験した(旧教育課程の2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。		
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		
法学部 (法学科昼間コース) (法学科夜間主コース)	国語		国語を受験した。		F
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, ※現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」	} から2科目を受験した。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup>		
	理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目又は物理, 化学, 生物, 地学から2科目, 若しくは旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから1科目を受験した(旧教育課程の2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。		
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		

(注1) 数学の「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者に限ります。

(注2) ※印を付している公民欄については, 公民を2科目選択することはできません。

**【前期日程用】旧教育課程履修者のみ該当  
大学入試センター試験受験教科・科目チェック確認表**

学部・学科等	教科	確認欄	科 目	記号
<b>文学部</b> (人文学科) <b>経済学部</b> (経済学科昼間コース) (経済学科夜間主コース)	国語		国語を受験した。	G
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, ※現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」 } から2科目を受験した。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。 「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。	
	理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目又は物理, 化学, 生物, 地学から2科目, 若しくは旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから1科目を受験した(旧教育課程の2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。	

学部・学科等	教科	確認欄	科 目	記号
<b>医学部</b> (医学科) (保健学科 看護学専攻 <b>理科系</b> , 理学療法学専攻 <b>理科系</b> , 作業療法学専攻 <b>理科系</b> ) <b>歯学部</b> (歯学科) <b>薬学部</b> (薬学科) (薬科学科)	国語		国語を受験した。	H
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」 } から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。 「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。	
	理科		物理, 化学, 生物から2科目, 又は旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰから2科目を受験した。	
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。	

学部・学科等	教科	確認欄	科 目	記号
<b>医学部</b> (保健学科 看護学専攻 <b>文科系</b> , 理学療法学専攻 <b>文科系</b> , 作業療法学専攻 <b>文科系</b> )	国語		国語を受験した。	I
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」 } から2科目を受験した。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。 「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。	
	理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から2科目又は物理, 化学, 生物から2科目, 若しくは旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰから1科目を受験した(旧教育課程の2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。	

学部・学科等	教科	確認欄	科 目	記号
<b>歯学部</b> (口腔健康科学科 口腔保健学専攻)	国語		国語を受験した。	J
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」 } から1又は2科目を受験した(2科目を受験して1科目のみ利用する場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から2科目又は物理, 化学, 生物から1又は2科目, 若しくは旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰから1又は2科目を受験した(新教育課程の基礎を付していない科目又は旧教育課程の2科目を受験して1科目のみ利用する場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> } から1科目を受験した。	
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。	

学部・学科等	教科	確認欄	科 目	記号
<b>歯学部</b> (口腔健康科学科 口腔工学専攻)	国語		国語を受験した。	K
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」 } から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> } から1又は2科目を受験した。	
	理科		物理, 化学, 生物から1又は2科目, 若しくは旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰから1又は2科目を受験した(2科目を受験して1科目のみ利用する場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。	

学部・学科等	教科	確認欄	科 目	記号
<b>工学部</b> (第一類)  (注)第二類, 第三類, 第四類 は「B」です。	国語		国語を受験した。	L
	地歴・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」 } から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	数学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。 「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。	
	理科		物理又は旧教育課程の物理Ⅰを受験した。 化学又は旧教育課程の化学Ⅰを受験した。	
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。	

(注1) 数学の「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者に限ります。

(注2) ※印を付している公民欄については, 公民を2科目選択することはできません。

## 【後期日程用】旧教育課程履修者のみ該当 大学入試センター試験受験教科・科目チェック確認表

学部・学科等	教 科	確認欄	科 目	記号	
<b>総合科学部</b> (総合科学科 <b>文科系</b> )	国語		国語を受験した。	<b>ア</b>	
	地 歴 ・ 公 民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。		} から2科目を受験した。
			「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理 科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目又は物理, 化学, 生物, 地学から2科目, 若しくは旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから1科目を受験した(旧教育課程の2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			
<b>総合科学部</b> (総合科学科 <b>理科系</b> )  <b>教育学部</b> (第二類 自然系コース, 数理系コース, 技術・情報系コース)	国語		国語を受験した。	<b>イ</b>	
	地 歴 ・ 公 民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。		} から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。
			「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理 科		物理, 化学, 生物, 地学から2科目, 又は旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから2科目を受験した。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			
<b>教育学部</b> (第一類 初等教育教員養成コース <b>文科系</b> , 特別支援教育教員養成コース <b>文科系</b> ) (第二類 社会系コース) (第四類 人間生活系コース) (第五類 教育学系コース, 心理学系コース)	国語		国語を受験した。	<b>ウ</b>	
	地 歴 ・ 公 民		世界史B, 日本史B, 地理B, ※現代社会, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。		} から2科目を受験した。
			「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理 科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目又は物理, 化学, 生物, 地学から2科目, 若しくは旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから1科目を受験した(旧教育課程の2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			
<b>教育学部</b> (第一類 初等教育教員養成コース <b>理科系</b> , 特別支援教育教員養成コース <b>理科系</b> )  <b>生物生産学部</b> (生物生産学科)	国語		国語を受験した。	<b>エ</b>	
	地 歴 ・ 公 民		世界史B, 日本史B, 地理B, 現代社会, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。		} から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。
			「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理 科		物理, 化学, 生物, 地学から2科目, 又は旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから2科目を受験した。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			
<b>教育学部</b> (第四類 健康スポーツ系コース, 音楽文化系コース, 造形芸術系コース)	国語		国語を受験した。	<b>オ</b>	
	地 歴 ・ 公 民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup>		} から1科目を受験した。
	理 科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目又は物理, 化学, 生物, 地学から2科目, 若しくは旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから1科目を受験した(旧教育課程の2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			
<b>法学部</b> (法学科昼間コース) (法学科夜間主コース)	国語		国語を受験した。	<b>カ</b>	
	地 歴 ・ 公 民		世界史B, 日本史B, 地理B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup>		} から1科目を受験した(地歴・公民は第1解答科目として受験した科目であること)。
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		
<b>文学部</b> (人文学科)  <b>経済学部</b> (経済学科昼間コース <b>文科系</b> ) (経済学科夜間主コース <b>理科系</b> ) (経済学科夜間主コース)	国語		国語を受験した。	<b>キ</b>	
	地 歴 ・ 公 民		世界史B, 日本史B, 地理B, ※現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。		} から2科目を受験した。
			「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。		
	理 科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目又は物理, 化学, 生物, 地学から2科目, 若しくは旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから1科目を受験した(旧教育課程の2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。		
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			

(注1) 数学の「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者に限ります。

(注2) ※印を付している公民欄については, 公民を2科目選択することはできません。

**【後期日程用】旧教育課程履修者のみ該当  
大学入試センター試験受験教科・科目チェック確認表**

学部・学科等	教科	確認欄	科	目	記号
理学部 (数学科) (物理科学科) (地球惑星システム学科)	数 学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。		ク
	理 科		物理, 化学, 生物, 地学から1科目, 又は旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。		
				外国語	
理学部 (化学科)	数 学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。	「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 工業数理基礎 <sup>(注)</sup> , 簿記・会計 <sup>(注)</sup> , 情報関係基礎 <sup>(注)</sup> から1科目を受験した。	ケ
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		
				医学部 (医学科)	
地 歴 ・ 公 民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。		
					数 学
理 科		物理, 化学, 生物から2科目, 又は旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰから2科目を受験した。			
			外国語		
歯学部 (歯学科)	国 語		国語を受験した。		サ
	地 歴 ・ 公 民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	理 科		物理, 化学, 生物から2科目, 又は旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰから2科目を受験した。		
				外国語	
歯学部 (口腔健康科学科 口腔工学専攻)	国 語		国語を受験した。		シ
	地 歴 ・ 公 民		世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	から1科目を受験した(2科目を受験した場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。	
	理 科		物理, 化学, 生物から1又は2科目, 若しくは旧教育課程の物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰから1又は2科目を受験した(2科目を受験して1科目のみ利用する場合は, 学部・学科等の指定する科目を第1解答科目として受験した)。		
				外国語	
工学部 (第一類)	数 学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。 「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」を受験した。		ス
	外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。		
数 学		「数学Ⅰ・数学A」又は旧教育課程の「旧数学Ⅰ・旧数学A」を受験した。 「数学Ⅱ・数学B」又は旧教育課程の「旧数学Ⅱ・旧数学B」を受験した。			
			理 科		物理又は旧教育課程の物理Ⅰを受験した。 化学, 生物から1科目, 又は旧教育課程の化学Ⅰ, 生物Ⅰから1科目を受験した。
外国語		英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。			
			工学部 (第三類 第四類)	数 学	
理 科		物理又は旧教育課程の物理Ⅰを受験した。 化学, 生物から1科目, 又は旧教育課程の化学Ⅰ, 生物Ⅰから1科目を受験した。			
				外国語	

(注1) 数学の「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者に限ります。

## 平成27年度広島大学学生募集に伴う 試験成績(個人情報)の開示について

- 1 下表に示す個人に関する入試情報(以下「個人情報」という)は、平成 27 年度学生募集に伴う本学の一般入試(前期日程、後期日程)を**受験した者(以下「開示申請者」という)に限り開示します。**

項 目	開 示 内 容
試 験 成 績	一般入試(前期日程・後期日程) 得 点 大学入試センター試験科目別、個別学力検査等科目別得点(合計点を含む)及び総合点 (本学傾斜配点により表示) 評 価 各試験科目等の評価(段階区分評価を含む) 順 位 募集単位の順位

- 2 試験成績(個人情報)の開示に関する手続の流れは次のとおりです。
- (1) 「広島大学入試個人情報開示申請書」を次のいずれかの方法で入手してください。
- ① 広島大学ホームページ(<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>)の「入学案内」→「入試情報」→「その他のご案内」→「入学試験成績の開示・申請」の「申請書様式」をダウンロードし、A4 サイズでプリントアウトしてください。
  - ② 返信用封筒(長形 3 号定形封筒(12cm×23.5cm)に受験者本人の郵便番号、住所、氏名を明記し、82 円分の切手を貼ったもの)を同封し、「広島大学入試個人情報開示申請書請求」と明記の上、本学入学センターに請求してください。
- (2) 「広島大学入試個人情報開示申請書」に必要事項を記入した後、以下の書類を同封の上、郵送により本学入学センターへ申請してください。
- 申請期間:平成 27 年 4 月 1 日から平成 27 年 5 月 31 日(消印有効)まで**
- ① 必要事項をすべて記入した「広島大学入試個人情報開示申請書」
  - ② 平成 27 年度広島大学受験票(コピー不可。開示の際、同封して返却します)  
 なお、紛失等により提出できない場合は、平成 27 年度大学入試センター試験受験票(コピー不可)など、当該開示請求者が当該保有個人情報の本人であることを確認できるものでも構いません。  
 この場合は、必ず申請前に、以下の問合せ先にご相談ください。
  - ③ 返信用封筒(長形 3 号定形封筒(12cm×23.5cm)に受験者本人の郵便番号、住所、氏名を明記し、392 円分の切手を貼ったもの)  
 なお、開示申請者が提出した申請書等に不備があるときは、修正を求めることがあります。
- (3) 入学センターでは、入試個人情報開示申請書を受理した日から 30 日以内(\*1)に、広島大学入試個人情報開示決定通知書を開示申請者本人へ簡易書留(\*2)により通知します(返信用封筒使用)。
- \*1 **送付開始日は、平成 27 年 4 月 17 日(金)以降**となります。
- \*2 簡易書留郵便は配達時に不在の場合、郵便局に一定期間保管されます。郵便局が受取方法等を記した配達時不在連絡票を郵便受けに入れていきますので、直接、郵便局に問合せを受け取ってください。  
 なお、郵便局での保管期間(おおむね 1 週間)を過ぎると広島大学に返送されてしまいますので注意してください。

＜試験成績(個人情報)の開示に関する申請及び問合せ先＞	
広島大学入学センター(注)	〒739-8511 東広島市鏡山一丁目 3 番 2 号 Tel 082-424-4656

(注) 一般入試(前期日程、後期日程)の試験成績の開示に関する申請及び問合せは入学センターに限ります。  
 受験した学部では受け付けません。

### 独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律に基づく開示請求及び問合せ先等

上記の入試個人情報の開示のほか、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律に基づく個人情報の開示請求制度により行うこともできます。

本制度の詳細は、本学ホームページ「トップページ」→「法人情報」→「個人情報保護」→「個人情報の開示請求制度」([http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/houjin/kojinjyohohogo/p\\_t5dntp.html](http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/houjin/kojinjyohohogo/p_t5dntp.html))を参照ください。

＜開示請求及び問合せ先＞	
広島大学財務・総務室総務グループ	〒739-8511 東広島市鏡山一丁目 3 番 2 号 Tel 082-424-5014

平成 27 年度広島大学 実技検査種目届【前期】日程

教育学部第四類(生涯活動教育系) 健康スポーツ系コース

受験番号			氏名			性別	男・女
種目届	①(1種目選択)		②(2種目選択)		③(1種目選択)		
	<input type="checkbox"/> 器械運動 <input type="checkbox"/> 陸上競技 <input type="checkbox"/> 水泳		<input type="checkbox"/> バレーボール <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="checkbox"/> サッカー <input type="checkbox"/> テニス(ソフトテニスを除く)		<input type="checkbox"/> 柔道 <input type="checkbox"/> 剣道 <input type="checkbox"/> ダンス		

受験する種目を、32 ページの実技の「内容」欄に記載されている種目のうちから選択し、「種目届」欄の□にレを記入してください。  
 なお、②は2種目選択する必要があります。

切り取り線

平成 27 年度広島大学 実技検査種目届【前期】日程

教育学部第四類(生涯活動教育系) 音楽文化系コース

受験番号			氏名			性別	男・女
種目届	<input type="checkbox"/> ②A.演奏(声楽又は器楽)		(声 種: _____)(楽器名: _____) (作曲者名: _____) (曲 名: _____)				
	<input type="checkbox"/> ②B.作曲						

- 1 受験する種目を、33 ページの実技の「内容」欄に記載されている種目のうちから選択し、「種目届」欄の□にレを記入してください。
- 2 ②A.演奏(声楽又は器楽)を選択した場合は、声種又は楽器名、受験する曲の作曲者名及び曲名を記入し、楽譜を提出してください。  
 なお、声楽で受験する場合は実際に演奏する調の楽譜(ピアノ伴奏付)、器楽のうち管弦打楽器で受験する場合はパート譜のみ提出してください(楽譜には氏名、高校名等、個人が特定される内容は記入しないでください)。

切り取り線

平成 27 年度広島大学 実技検査種目届【後期】日程

教育学部第四類(生涯活動教育系)

受験番号			氏名			性別	男・女
種目届	健康スポーツ系コース			造形芸術系コース			
	<input type="checkbox"/> 陸上競技		<input type="checkbox"/> 柔道	<input type="checkbox"/> 絵画(鉛筆による石膏像デッサン(幾何形体を含まない))			
	<input type="checkbox"/> バレーボール		<input type="checkbox"/> 剣道	<input type="checkbox"/> 彫刻(粘土による立体表現)			
	<input type="checkbox"/> バスケットボール		<input type="checkbox"/> ダンス	<input type="checkbox"/> デザイン(ポスターカラーによる平面構成)			
<input type="checkbox"/> サッカー		<input type="checkbox"/> 水泳	<input type="checkbox"/> 工芸(透明水彩絵具による色彩表現)				
音楽文化系コース							
<input type="checkbox"/> ②A.演奏(声楽又は器楽)		(声 種: _____)(楽器名: _____) (作曲者名: _____) (曲 名: _____)					
<input type="checkbox"/> ②B.作曲							

- 1 健康スポーツ系コースの志願者は、受験する種目を、33 ページの実技の「内容」欄に記載されている種目のうちから1種目のみ選択し、「種目届」欄の□にレを記入してください。
- 2 音楽文化系コースの志願者は、受験する種目を、34 ページの実技の「内容」欄に記載されている種目のうちから選択し、「種目届」欄の□にレを記入してください。  
 ②A.演奏(声楽又は器楽)を選択した場合は、声種又は楽器名、受験する曲の作曲者名及び曲名を記入し、楽譜を提出してください。  
 なお、声楽で受験する場合は、実際に演奏する調の楽譜(ピアノ伴奏付)、器楽のうち管弦打楽器で受験する場合は、パート譜のみ提出してください(楽譜には、氏名、高校名等、個人が特定される内容は記入しないでください)。
- 3 造形芸術系コースの志願者は、受験する分野を、34 ページの実技の「内容」欄に記載されている分野のうちから1つのみ選択し、「種目届」欄の□にレを記入してください。



受験番号	※記入しないでください。
------	--------------

## 平成 27 年度広島大学 実技実績調査書

(個別学力検査【後期日程】教育学部第四類(生涯活動教育系)健康スポーツ系コースの志願者のみ、全員提出してください。)

志願者氏名	
-------	--

高等学校在学中の競技履歴※	1 有	2 無
※ 1に○をした場合は、(注)をよく確認の上、以下の項目を記入し、提出してください。		
2に○をした場合は、以下の項目の記入は不要です。志願者氏名を記入しているか確認し、提出してください。		

受験種目 (選択した種目に、○をしてください)	陸上競技・バレーボール・バスケットボール・サッカー・柔道・剣道・ダンス・水泳			
1 出場大会名	2 出場 学年	3 専門種目 ポジション	4 成績	5 記録
			( )	
			( )	
			( )	

6 特記事項	
--------	--

この実技実績は、33 ページの表に示された種目のみが対象となります。  
 また、記入にあたっては、以下の(注)をよく読んで正しく記入してください。  
 なお、(注)の1 から6 は、上の表の欄1から6 にそれぞれ対応しています。

**(注)**

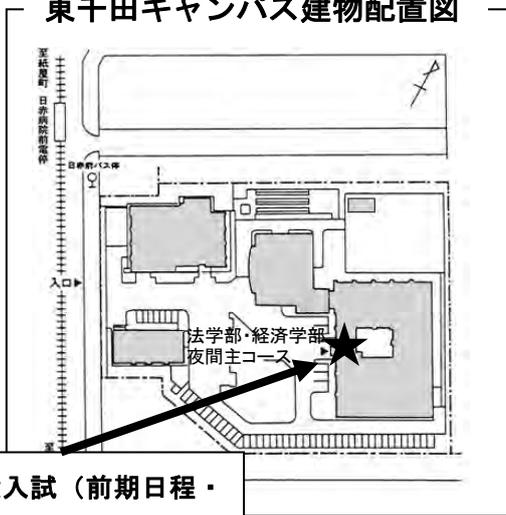
- 1 高等学校在学中、本人が出場し、競技(プレー)した大会の中で、もっとも評価できるものについて、3 つまで選び、その正式大会名を記入してください。  
 ただし、陸上競技の場合はトラック競技(リレーを除きます。)及びフィールド競技、水泳の場合は競泳(リレーを除きます。)を対象とします。  
 また、本人が当該大会に登録されていても、実際に競技(プレー)しなかった試合は除きます。
- 2 「1」で記入した大会に出場した学年を記入してください。
- 3 個人競技の例として、「水泳・自由型 100m」、「柔道・階級○○級」等を記入してください。  
 また、団体競技や団体戦の例として、「フォワード」、「ガード」、「先鋒」、「大将」等を記入してください。
- 4 「第○位」、「決勝トーナメント○回戦敗退ベスト○○」等を具体的に記入してください。  
 また、出場チーム数・人員数等も記入してください。
- 5 タイム、得点等を記入してください。
- 6 特記事項の欄には、団体競技で個人として優秀な成績をおさめた者の場合、その内容(選抜選手、候補選手、強化選手等)を具体的に記入してください。  
 また、その他の場合、公認のベスト記録、ランキング、段位、表彰等について記入してください。
- 7 記入した実技実績を証明する資料(公式試合における本人の出場記録、公式記録あるいは大会報告書、表彰状、新聞記事、スポーツ専門雑誌記事、競技団体の機関誌等)のコピーを必ず添付してください。  
 なお、成績・記録を証明する資料がない場合、本人の競技履歴とはみなされないので注意してください。



# 広島大学位置図



## 東千田キャンパス建物配置図



一般入試（前期日程・後期日程）合格者発表  
掲示板設置場所  
（法学部、経済学部の  
合格者のみ）

## 東広島キャンパス建物配置図



一般入試（前期日程・後期日程）  
合格者発表掲示板設置場所  
（全学部の合格者）

## 霞キャンパス建物配置図



一般入試（前期日程・後期日程）  
合格者発表掲示板設置場所  
（医学部、歯学部、薬学部の  
合格者のみ）



広島大学

建学の精神

自由で平和な一つの大学

大学の理念

平和を希求する精神  
新たなる知の創造  
豊かな人間性を培う教育

地域社会・国際社会との共存  
絶えざる自己変革

学部等照会先

東広島キャンパス 受付時間 午前9時から午後5時まで(土日・祝日を除く)

総合科学部	〒739-8521	東広島市鏡山一丁目7番1号	TEL.082-424-6315
文学部	〒739-8522	東広島市鏡山一丁目2番3号	TEL.082-424-6613
教育学部	〒739-8524	東広島市鏡山一丁目1番1号	TEL.082-424-6725
法学部(昼間コース)	〒739-8525	東広島市鏡山一丁目2番1号	TEL.082-424-7215
経済学部(昼間コース)	〒739-8525	東広島市鏡山一丁目2番1号	TEL.082-424-7217
理学部	〒739-8526	東広島市鏡山一丁目3番1号	TEL.082-424-7315
工学部	〒739-8527	東広島市鏡山一丁目4番1号	TEL.082-424-7524
生物生産学部	〒739-8528	東広島市鏡山一丁目4番4号	TEL.082-424-7915

霞キャンパス 受付時間 午前9時から午後5時まで(土日・祝日を除く)

医学部	〒734-8553	広島市南区霞一丁目2番3号	TEL.082-257-5049
歯学部	〒734-8553	広島市南区霞一丁目2番3号	TEL.082-257-5614
薬学部	〒734-8553	広島市南区霞一丁目2番3号	TEL.082-257-5777

東千田キャンパス 受付時間 午後1時から午後9時まで(土日・祝日を除く)

法学部(夜間主コース)	〒730-0053	広島市中区東千田町一丁目1番89号	TEL.082-542-6998
経済学部(夜間主コース)	〒730-0053	広島市中区東千田町一丁目1番89号	TEL.082-542-6961

【入学センター】 〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL.082-424-6174, 4656

受付時間 午前9時から午後5時まで(土日・祝日を除く)  
※東広島市外からは、すべて市外局番をダイヤルしてください。

広島大学ホームページ

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>

広島大学入試情報(インターネット出願窓口)

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/>